

【行政】地域別計画のふりかえり

用和小学校区

後期基本計画の内容					施策担当課による後期計画の総括				地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
						施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して				
①地域でのふれあい交流があり、災害に備えるまち	用和小学校区では、小学校区集会所を活動拠点に地域住民が主体となって、市民スポーツ祭やふれあいまつりなど住民どうしの交流の催しや一人暮らし高齢者の給食会などの地域福祉活動を行っています。しかし、近年新しい住宅の建設により人口は増加傾向ですが、そのためには自治振興委員会等とともに町会加入促進に取り組み、地域コミュニティの強化や健康づくり等地域活動への参画につなげて、地域活動の担い手を発掘・育成していく必要があります。また、校区まちづくり協議会を中心に防災物品の整備や自主防災訓練が実施されており、今後とも地域と連携した防災対策に取り組み、災害に備えるまちをめざします。	2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	・地域のまちづくり ・防災 ・健康づくり	毎年、定期的に自主防災訓練を開催しました。消火訓練、負傷者訓練等実践的内容を取り入れて、住民の防災意識を高めました。	①安全・安心のまちづくり ②高齢者・障がい者に優しい地域のまち
		10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○			
		13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	住民どうしの支えあい豊かになるために、地域福祉の担い手となる人材育成や、学習会などの開催により住民参加の促進に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○			
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	地域拠点施設職員の配置等人員体制強化により、地域のまちづくり活動を下支えできた。	地域活動の参加者及び担い手(特に若い世代に向けた)を増やす取り組みを引き続き支援していく必要がある。	○	○	○			
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	地域のふれあい交流事業や安心安全の取り組みに校区内の大学ボランティア等の協力・連携を進めることができた。	商店街やNPO団体等市民活動団体との連携強化のため、地域への積極的な情報提供や支援に取り組む必要がある。	○	○	○			
②子どもたちが健やかに育つまち	用和小学校区では、登下校時の子ども見守り活動など子どもたちの安全確保をはじめ、民生委員・児童委員による子育て支援活動など、地域ぐるみで子どもを育む取り組みを行っています。しかし、近年児童虐待やいじめ問題など子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。今後も地域と行政等とが連携して、育児相談や食育の推進など子どもの健全な育成のための取り組みを進め、子どもたちが健やかに育つまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			・地域のまちづくり ・健康づくり ・子育て	校区内危険個所に防犯カメラを設置し、街頭犯罪防止や交通事故防止に取組みました。	③子どもが健やかな子育て支援のまち
		10	疾病予防と健康づくりの推進	健康で文化的な生活と豊かで活力ある社会の実現のために、家庭、保育所、学校園、地域などが連携して食育を推進します。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○			
		23	知徳体のバランスのとれた小中学生の育成	健康で文化的な生活と豊かで活力ある社会の実現のために、家庭、保育所、学校園、地域などが連携して食育を推進します。	各学年、食に関する目標を設定し、給食や委員会活動、教科とも関連させながら食育を推進しました。	今後も児童が食事や給食などを通して、バランスよく食べる食習慣を育むとともに、給食試食会の開催や給食だよりを発行する等、食育に関する指導を推進していきます。	○	○	○			
		19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。						
		22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの安全確保の取り組みや、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○			
		40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のバトリールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○					

【行政】地域別計画のふりかえり

長池小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標	
①誰もが安全で安心して住み続けられるまち	長池小学校区では、狭い生活道路が多く、災害発生時には避難や救助などを行う上で課題があります。また、近年、街頭犯罪や交通事故、詐欺などの被害も発生しています。今後も地域と行政、関係機関が連携し、防犯防災対策や交通安全啓発、消費者問題対策等に取り組み、誰もが安全で安心して住み続けられるまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	○			防犯カメラの設置調整や防犯灯補助金の申請補助等を行い、安全安心なまちづくりを進めることができました。また防災訓練への参加啓発や災害図上訓練用の地図を作成する等地域の防災力向上に協力する取組みを進めることができました。	・地域のまちづくり ・防災	校区内の危険個所に防犯カメラを設置しました。 毎年定期的に自主防災訓練を開催することにより、防災意識の向上と地域の団結力強化を図りました。特に校区内には狭隘な道路が多く、災害時の安全な避難経路を普段から確認しておく必要があることから、災害図上訓練(DIG)を取り入れ、危険個所(倒壊しそうな建物・氾濫しそうな水路など)や救護施設の箇所などの情報を共有することにより、災害対応力・防災力強化につなげました。	①誰もが安全安心して住み続けられるまち	
		2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○					○
		5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○					○
		7	消費者の保護と自立を支援する取り組み	消費者トラブルを未然に回避するために、消費生活問題に関する講座などを開催し、消費者教育を推進します。	地域等からの要望に対応する相談体制については構築できている。	出張講座についての認知度を上げていく必要がある。	○						
②子どもたちが健やかに育ち、子育てのしやすいまち	長池小学校区では、通学路の見守りなど子どもたちの安全確保の取り組みをはじめ、0歳から就園前までの子どもと保護者を対象として月1回開催される子うさぎ教室での子育て支援活動など地域ぐるみで子どもたちを育む活動を行っています。しかし、近年児童虐待やいじめ問題など子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。今後とも、家庭・学校・地域が連携しながら子どもたちが健やかに育つまちをめざします。	22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの安全確保の取り組みや、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	○	○	○	・プレマ・親子交流事業や地域主催の子うさぎ教室等の子育て支援事業に協力するとともに、危険な通学路への対策など子育てしやすいまちづくり活動を支援しました。	・地域のまちづくり ・子育て	就園前のお子さんとその保護者を対象に子うさぎ教室を開催し、子どもの健全な成長促進を図るとともに子育て中の親御さんへの相談を実施しました。 育成会と連携し、「子どもふれあいまつり」を復活させて、子どもたちの交流の場づくりを進めました。	②子どもが健やかに育ち、子育てのしやすいまち	
		40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						
③緑ヶ丘コミュニティセンターを中心とした生涯学習活動や地域活動が活発なまち	長池小学校区では、緑ヶ丘コミュニティセンターにおいて、毎月一人暮らし高齢者を対象にしたふれあい給食サービスや年に一度いきいきサロンを開催するなど校区内の高齢者のふれあい交流事業を展開しています。また、緑ヶ丘コミュニティセンターでは子どもから高齢者まで幅広い年代の方が参加できる事業や生涯学習活動が展開されています。しかし、コミュニティセンターは場所が分かりにくいなどの課題もあります。今後もコミュニティセンターを拠点に生涯学習活動や健康づくり、地域活動が活発なまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着。	○	○	○	・コミセンで開催される一人暮らし高齢者給食会に毎回保健師を招いて健康講演の実施につなげました。 ・コミセン運営協議会と連携し、歴史講座などの生涯学習やグラウンドゴルフ、クロリティといった気軽に取り組めるスポーツを通じた健康増進の取組みを進めました。	・健康づくり ・生涯学習	地区福祉委員会と連携し、「長池いきいきサロン」を開催し、高齢者の生きがい創出を図りました。	③緑ヶ丘コミセンを中心とした生涯学習や地域活動が活発なまち	
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	高齢者が自らの生きがいを見い出し、社会参加を図ることができるように、生きがいづくりの支援および情報の提供などにより、地域で活躍する高齢者の活動を支援します。	高齢クラブと連携した地区敬老祝寿事業を実施し、地域で活躍する高齢者の活動の支援を行った。	高齢クラブの加入率は減少傾向にあり、加入率向上に向けた取り組みが必要である。	○	○					○
		28	生涯学習の取り組み	身近な地域拠点であるコミュニティセンターにおいて生涯学習の場を提供します。	地区生涯学習推進事業として、コミセン運営協議会に委託し、各コミセンで講座や現代的課題講座を開催しました。	各地区で開催される講座は、絵画や陶芸など趣味の分野での自己学習が中心ですが、今後は、地域や市民の日常生活における課題解決に寄与する学習の充実化にも努めるとともに、学んだことを地域社会に還元する機会の創出を一層図ることが必要です。	○	○					○
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	地域の各団体運営において、団体間の調整を行うことにより、連携強化を図ることができた。また、地域拠点のレイアウト変更により、初期相談機能を担う体制を整えることができた。	地域拠点であるコミセンの存在をもっと周知していく必要がある。また、まちづくり協議会をはじめ地域活動について、広報面での強化の取り組みが重要である。	○	○					○
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	コミセンを中心とした生涯学習活動やコミュニティ醸成事業において、地域の福祉施設や市民活動団体と連携した事業活動を積極的に推し進めることができた。	市民活動団体と地域が共にまちづくりの活動を取り組めるように支援していく必要がある。	○	○					○
④地域福祉の推進と福祉サービスにつながるまち	長池小学校区では、地域住民が主体で住民どうしの交流を目的に毎月ふれあい喫茶や年に一度の大規模なふれあい交流イベントとしてフェスタ長池を開催するなどさまざまな活動が実施され、多くの方々が参加されています。しかし長池小学校区においても少子高齢化が進み、一人暮らし高齢者世帯あるいは認知症や介護を必要とする世帯が増える傾向にあります。今後とも誰もが住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けることができるように、高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを中心に相談体制を充実するとともに高齢者を地域で見守るネットワークを広げるなど地域と行政、関係機関が連携し、適切な福祉サービスにつながるまちをめざします。	13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	○	○	○	・福祉委員会や社会福祉協議会と連携し、ふれあい喫茶やフェスタなどの地域行事を支援することにより、地域の福祉活動が円滑に進められました。 ・コミセンのレイアウト変更し、相談室を設置、福祉をはじめさまざまな初期相談を実施しました。	・地域のまちづくり	地域の多くの団体、学校園の協力のもと「フェスタ長池」を開催、世代間を含む地域住民のふれあい交流が進みました。また、運営する各団体と結び付きも強化されました。 月に一度ふれあい喫茶を各種団体とボランティアで実施しており、また、民生委員とボランティアによる高齢者への給食会を月に一度開いており、地域におけるつながりが育まれました。	④地域福祉の推進と福祉サービスの提供できるまち	
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 災害時に備えた平時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○					○

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標	
						に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して					
①誰もが安心して外出できる整備されたまち	久宝寺小学校区は、南北に府道大阪八尾線、大阪中央環状線ならびに近畿自動車道が、東西に府道大阪港八尾線が通っており、道路交通の利便性に優れた地域です。しかし、これらの道路の抜け道として地域内の生活道路に多くの車両が入ってくるという問題があります。車両進入禁止時間帯における通学路や生活道路での車両の通行、それに伴う交通事故の危険性など多くの課題があり、地域では子どもたちや高齢者が安心して暮らすことができるように、交通マナーの啓発や交通安全表示、見守り・声かけ活動等の取り組みに力を入れています。今後も、通学路を中心とした安全対策や歩道のバリアフリー化、そして、地域と行政が連携した交通安全表示の設置の取り組みなど、さまざまな安全対策を行う必要があります。また、子どもたちが安全に遊べる場所やスペースを確保し、子どもたちが健やかに育ち、誰もが外出したくなるまちをめざします。	5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○	通学路については地域の方々による情報提供や相談により、適時、飛出し注意等の掲示板や道路シールの設置各担当課に対応を依頼し、安全を確保しました。	・地域のまちづくり ・子育て ・防災 ・その他	小学校の休みである土曜日に、輪投げによるビンゴやアスレチックなどのこどもが集えるイベントを年2回実施し、小学生や園児・幼児合わせて400名ほどの交流が図れました。	②世代間交流等を通じ、子どもから高齢者までみんなの笑顔があふれるまちづくり ③大震災の発生を想定した防災訓練や日常の安否確認と防犯活動で、安全・安心のまちづくり
	22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていただいているため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○	夏休みと冬休みに中学生・高校生を対象として、自習室を開放し、安心して、勉強できる環境を提供しました。		また、放課後高齢者の方々による、子どもたちへの昼夜問わず徒歩や自転車、音声によるパトロールを実施し子どもの安全を見守りました。		
	24	教育機会の均等	通学路の安全確保に努めます。	関係課・関係機関と連携して、通学路の安全対策に取り組みました。	新たに形成される住宅街での安全対策や、既存住宅街での対策の見直しや更新が必要です。	○	○	○	地区内に大阪バス停留所設置推進すべく、関係機関と調整し、久宝寺地区福祉委員会及び自治振興委員会から、連名でバス停設置の要望書を提出してもらうとともに、設置場所の町会等へ設置同意を促す等、下支えた結果、5か所の停留所が設置されました。		PTAを中心に通学路を点検し、危険個所のマップを作成し、注意喚起を図り、平成30年度より警察と連携を図っており、今後も進めます。		
	40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要となる。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要がある。	○			久宝寺寺内町の鱈角堂(古民家再生)を活用し、親子体験学習を行い、久宝寺の魅力再発見と地域内での親子ふれあいが図れました。				
②子どもを安心して健やかに育てることのできるまち	久宝寺小学校区では、地域主体の地域子ども教室、子育て世帯の交流促進や居場所づくり、地域団体と子どもとの世代間交流など、地域ぐるみで子育て世帯を見守り、子どもたちを育む取り組みを行っています。今後も、地域と行政が連携し、子どもが地域とつながり楽しい時間を過ごすことのできる環境づくりや、子育て世帯が交流したり相談し合える機会の提供など、子どもたちを安心して健やかに育てることのできるまちをめざします。	19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。			地域ケースケア会議等個別支援にかかる会議について、地域拠点での開催に積極的に協力し、地域拠点として、関係機関の調整等を行いました。 妊娠・出産・育児と切れ目のない地域支援を実現するために、保健・医療・福祉の専門職による育児相談学習イベント「おやこまつり」を継続実施しています。 地域拠点として購入した絵本や、あなたのまちの健康相談等で使用しているもの、更には移動図書館で毎月20冊の借りているものも併せて、140冊程度常設しており、親子連れで、来館しやすい拠点づくりに取り組みました。	・相談 ・健康づくり ・子育て ・その他	幼児と保護者と遊びの憩いの場として、子育て支援の広場はとぼっぱを月1回開催し、交流を図りました。 「放課後子ども教室」を月2回開催し、昔の遊びやクラフト、硬筆、将棋、英語、お茶など9種目を高齢の方が指導しており、世代間交流を図りました。	②世代間交流等を通じ、子どもから高齢者までみんなの笑顔があふれるまちづくり	
③健康づくりを進めるまち	久宝寺小学校区では、健康教室や介護予防教室、医療機関と連携した医療講座の開催など、地域ぐるみで健康づくりに取り組んでいます。しかし、高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者や介護を必要とする高齢者など、家族や地域の支援を必要とする人が増えています。今後も、地域に根ざした健康づくり活動を支援する一方、新たな視点での健康づくり活動にも取り組み、さらに地域と行政が連携して、健康づくりを進めるまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	身近な地域(出張所)を拠点としながら、地区組織や関係機関と連携・協働し、地域の特性に応じた地域住民主体の健康コミュニティづくりに取り組み、地域により近い出張所等への保健師配置による効果、保健師の役割と意義等が明らかになりました。 H29年度まで美園地区で平日2日間で開催されてきた四がん検診を、久宝寺愛の郷を借りて、がん検診の他、特定健診、脳年齢、血管年齢等測定、医者講演、健康相談会、子育て医療相談等のイベントを久宝寺健康まつりとして実施するため、施設の了承を取り、関係機関と調整し、平成30年6月と7月に実施しました。地域団体の協力はもちろん、地域内の薬局や歯科、子育て支援団体の協力を得ることができました。また、数年後には、一つに合体する予定の久宝寺と美園の民生児童委員会に、協力依頼することで、相互交流することができ、合併に向けた機運が高まりました。 久宝寺地区本町で自主運営されている健康体操について、大阪府健康アワードに推薦したところ、選考の結果、優秀賞を受賞した。受賞により、地域の励みにつながり、やりがいを持ち活動を継続するとともに、活動の見える化を進め、活動が評価されるように、情報発信することができ、地域力の向上につながりました。	・相談 ・地域のまちづくり ・健康づくり ・子育て ・その他	介護予防教室を高齢者あんしんセンターと連携を図りながら、月2回程度開催し、健康教育を行い、地域住民の健康増進を図りました。 年3回程度医療講座を開催し、また月1回リハビリとサロン活動を専門の指導員、保健師、ボランティアの協力を得て体操やクラフト、病気の話をし、健康意識の向上を図りました。	④地域の環境を守り、「美しいまち、久宝寺」をめざすまちづくり
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	高齢者が自分らしくいきいきと暮らし続けることができるよう、早い段階からの健康づくりや介護予防の啓発に取り組みます。さらに、高齢者自らの健康づくりを支援するとともに、支援を必要とする高齢者を元氣な高齢者が支えるという住民どうしの活動の支援に取り組みます。	高齢者あんしんセンターとの連携により、身近な地域の住民運営の通いの場における体操などの取り組みを支援した。	身近な地域に通いの場となる場所を住民自身が確保することが難しい場合がある。	○	○	○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・ 成果	わがまち推進計画の目標
④地域の 交流や支え あいがあり、安全安心 に取り組むまち	久宝寺小学校区では、自治振興委員会が中心となって久宝寺地区自主防災組織が結成され、毎年、大規模な防災訓練を行っています。また、計画的な防犯カメラの設置や地域住民による活発なパトロールの実施など、地域ぐるみで安全安心を実現するための取り組みを行っています。さらに、一人暮らしの高齢者や障がいのある人の見守り活動なども積極的に行われています。今後も、これらの取り組みを続け、災害発生時の初期対応や住民どうしの支えあいができるようにしていくことが必要です。今後も、地域と行政が連携して、地域の安全安心の実現を推進するまちをめざします。	1 安全なまち をつくる防 犯の取り組 み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要がありますと考えています。	○			防犯灯補助金等申請窓口として、防犯灯設置の促進です。LED化を促すことで、安全まちづくりが進みました。	・相談 ・地域のまちづくり ・防災 ・その他	これまで事故が発生、危険と思われる箇所に防犯カメラを設置し、防犯の向上を図りました。	③大震災の発生を想定した防災訓練や日常の安否確認と防犯活動で、安全・安心のまちづくり
		2 安心を高め る防災力の 強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	地域拠点職員で、避難所設営訓練を行い、第2避難所や自主避難所に指定された場合の対応を検討した。結果として、ジョイントマットや文書保管箱を活用した避難スペースや、使用すべき部屋における優先順位等確立できました。		小学校における授業参観と連携し、防災訓練を実施し、1,000人を超える人数で実施したことにより、幅広く訓練ができた、児童、学校、地域の防災意識の向上を図りました。	
		13 ともに支え あう地域福 祉のしくみ づくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。 また、避難行動要支援者名簿に基づき同意者リストを地域にお渡ししており、平常時の見守り活動等に活用されている。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みのほか、避難行動要配慮者を意識した地域活動のより一層の充実が課題である。	○	○	○	消防署から提案のあった長瀬川を活用した可搬式揚水ポンプ放水訓練について、地域調整し、2017/12/2地域から150名もの訓練参加があり、全体で200人規模の訓練となりました。地域から可搬式揚水ポンプ設置を要望し、同年秋季に設置され、訓練も継続実施されるなど防災力の向上につながることができました。		避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストについて、各民生委員に渡し、周知し、自治振興委員と共に訪問したことなど地域ぐるみでの安全安心の実現に近づけました。	
		14 高齢者の 生きがいづ くりと高齢 者を支える しくみづく り	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	高齢者あんしんセンターとの連携により、身近な地域の住民運営の通いの場における体操などの取り組みを支援した。	身近な地域に通いの場となる場所を住民自身が確保することが難しい場合がある。	○	○	○	災害時避難行動要支援者リストの地域活用について、自治振興委員会と民生委員会との合同作業について、調整を行ない、訪問面談するまでに至りました。		88歳以上の高齢者に対して友愛訪問を実施し、安否確認を行い、また、65歳以上の独り暮らしの高齢者を対象に月1回ふれあい食事をを行い、高齢者との交流を図りました。	
		16 障がいのある 人の自立 支援	障がい者(児)が住み慣れた地域で生き生きと生活するために、防災対策に取り組みます。	避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域にお渡ししており、平常時の見守り活動等に活用されている。	避難行動要配慮者を意識した地域活動のより一層の充実が課題である。	○	○	○	高齢者あんしんセンターと連携を深め、ケース検討会議などに積極的に参加し、常に情報交換を行なうようしており、地域内での独居高齢者不在情報や孤独死の発見、痴ほう症対応、突発的な対応に協力体制が取れました。			
		54 地域のまち づくり支援・ 地域拠点 の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	地域拠点施設職員の配置等人員体制強化により、地域のまちづくり活動を下支えできた。	当該地域については様々な取組みがされているが、町会加入率が下がっており、今後も加入率向上に向けた支援や現在新たな町会立ち上げを検討されているマンションがあり立ち上げに向けた支援が必要である。	○	○	○	既存マンションにおける町会設立に向けた発起人からの相談に、地区役員とともにのり、下支えを行い、町会設立のめどが立ちました。			
		55 市民の社会 貢献活動の 促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	地域のふれあい交流事業や安全安心の取り組みに、校区内の様々な団体や学生ボランティア等の協力・連携を進めることができた。	様々な団体、NPO団体等市民活動団体との連携強化のため、地域への積極的な情報提供や支援に取り組む必要がある。	○	○	○	近畿大学学生サークル「はちのじ」との連携で、地域イベントの案内ちらしを作成依頼する等、連携を深めた結果、ちらし内容が格段に見やすくなったこともあり、イベント自身も満員となりました。			
⑤歴史や 景観を大切 にする地域 の魅力があ ふれるまち	久宝寺小学校区には、本願寺第八代門首の連如が建立した久宝寺御坊顕証寺があり、御坊格寺院でも中核の寺院です。本院を中心とする寺内町も残っており、現在も、町割などに16世紀半ばの面影をとどめています。市は、地域住民とともにその保全に努め、「八尾市まちなみセンター(寺内町ふれあい館)」を中心に久宝寺寺内町における歴史的資産の継承等を行い、地域でも燈路まつりを開催するなど魅力の発信等を行っています。また、地域住民を中心に長瀬川沿道の桜の環境保全活動等を継続的にを行い、春には桜まつりを盛大に開催しています。今後も、地域と行政が連携して、歴史や景観の整備等を積極的に行い、久宝寺寺内町を中心に、さらに魅力あふれるまちづくりを推進します。	25 八尾の魅 力発見と発 信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	燈路まつりと八尾河内音頭まつりの同日開催による来訪者増に寄与。 地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80」映画祭」に取り入れた。	地域に特化した魅力再発見・発掘の実施を行い、「八尾探」コースの設定及び提供を行うことで、各地域の魅力を認識していただき、地域の魅力を向上する必要があります。	○			久宝寺歴史資源活用事業として、大阪市中央区久宝寺町の浪華地区活動協議会との地域交流を実現した。地域拠点として中央区と調整し、船場まつりへ地域代表と顕証寺住職らが記念講演を行い、後日、浪華地区活動協議会から久宝寺寺内町への訪問が行われ、スムーズに交流を深めることができました。交流の結果、地域の魅力再発見するとともに、地域の歴史資源への理解が深まりました。	・地域のまちづくり ・その他	久宝寺寺内町燈路まつりを開催し、久宝寺寺内町の情報発信を行い、地域住民のまちへの関心を深めました。	②世代間交流等を通じ、子どもから高齢者までみんなの笑顔があふれるまちづくり ⑤久宝寺寺内町などの歴史的資源を活かし、「歴史あるまちなみとふれあいのまち、久宝寺」をめざすまちづくり
		41 公園とまち の緑化によ る緑のある 暮らし	長瀬川の桜並木の良好な景観を市民の財産として永続的に保つよう、再生・保全に向けた取り組みを進めます。	さくらの植え替えを実施しました。	【1人あたり公園面積】八尾市全体:2.89㎡/人 久宝寺小学校区:29.20㎡/人	○			実行委員会形式で長瀬川桜まつりが実施されており、イベント拡充に当たり、担当部署への職員派遣依頼をするにあたり、部局調整し、地域拠点として、副申書を提出する等下支えを行い、応援体制が確立しました。		長瀬川沿いの桜並木に愛着や関心を持っていただくため、桜まつりを開催しました。また子ども達に長瀬川へ愛着を持っていただくよう、川下りを実施しました。	
		47 治水対策と 環境を意識 した水環境 の形成	水辺環境の向上をめざし、水辺環境施設の活用と維持管理に努めます。	長瀬川沿道において老朽化した景観整備施設の更新を実施し水辺環境の保全を行いました。	八尾市景観計画において、長瀬川が「水と緑のうおい景観区域」に指定されたことからより一層景観の保全と整備に取り組む必要があります。	○						
⑥地域の 環境を大切 にする美し いまち	久宝寺小学校区では、地域一斉清掃や学校と地域が連携した清掃活動、あるいは地区福祉委員会の広報誌を活用してのマナー向上に向けた啓発活動などが活発に行われています。さらに、久宝寺寺内町を含む地域の一部を路上喫煙マナー向上推進エリアと位置付けし、啓発活動を実施することにより、たばこのポイ捨てのないきれいなまちづくりを進めています。しかし、こうした努力にもかかわらず、ごみやたばこのポイ捨て、犬のフンの放置等が未だに後を絶ちません。今後も、引き続き地域と行政が連携して、路上喫煙等のマナー向上に向けた啓発や清掃等の活動を積極的に行い、環境を大切にする美しいまちづくりを進めていきます。	44 きれいなま ち八尾の実 現	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを促進します。	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを支援しました。	地域での清掃活動をより活発になるような取り組みを考察する必要がある。	○		○	地域一斉清掃や中環一斉清掃、公園清掃、たばこポイ捨て禁止活動等地域で実践している美化活動について、関係各課との調整や支援施策とつなげるよう下支えし、ごみの排出ルールの徹底等により、収集トラブルが減りました。	・相談 ・地域のまちづくり	地域一斉清掃や中央環状線の一斉清掃を行うことにより、まちの美化活動に寄与しました。	④地域の環境を守り、「美しいまち、久宝寺」をめざすまちづくり

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括				地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
						に対して	て					
①子どもたちが健やかに育つまち	美園小学校区は、大阪中央環状線(上部は近畿自動車道)や府道八尾枚方線、近鉄久宝寺口駅があるなど、非常に利便性に優れた地域です。そうしたこともあり、年少人口も多く、地域が主体となり絵本の読み聞かせや世代間交流の取り組みなどが活発に行われるなど、地域ぐるみで子どもたちを育む活動が行われています。また、中央環状線があることで行事に参加することが難しい西部地域の子どもたちに対しても、行政と協働し子育て支援の取り組みが行われています。今後も、地域と行政が連携して、人と人のふれあいを第一に、子育てしやすい環境づくりや、子育て世帯が交流したり相談し合える機会の提供など、子どもたちが健やかに育つまちをめざします。	19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場を提供したほか、近くに親子で出かける場所が少ないことから、年1回集会所での遊び会を実施した。				地域ケースケア会議等個別支援にかかる会議について、地域拠点での開催に積極的に協力し、関係機関の調整等を行いました。 妊娠・出産・育児と切れ目のない地域支援を実現するために、保健・医療・福祉の専門職による育児相談学習イベント「おやこまつり」を久宝園集会所に出向き、継続実施しています。 地域拠点として購入した絵本や、あなたのまちの健康相談等で使用しているもの、更には移動図書館で毎月20冊の借りているものも併せて、140冊程度常設しており、親子連れで、来館しやすい拠点づくりに取り組みました。 夏休みと冬休みに中学生・高校生を対象として、自習室を開放し、安心して、勉強できる環境を提供しました。 地域魅力再発見事業として、美園公園を活用した親子イベントを実施し、カメラの取り方、樹木の説明等を行った後、子どもに樹木プレートを作成させ、貼り付ける地域主体事業につながり、子育て世帯の交流にもつながりました。	・相談 ・地域のまちづくり ・健康づくり ・子育て ・生涯学習	校区集会所において、夏休み宿題、ゲーム、工作等の「夏休み子ども教室」を開催しました。また、第1土曜日には小学生対象に音読みや工作等の「お話キッツ教室」や水曜日には放課後児童教室として、茶道等によるマナー教室や工作の「ひまわり教室」、土曜日にはゲーム、大縄飛び等による子どもの居場所づくりとして「校庭開放」を開催するなど、集団での遊び、工作の際の助け合い等、学年を超えた子ども達間の交流が図れ、子ども達の仲間づくりに繋がりました。夏休みや冬休みなど長期間休み前に住民懇談会を行い、青少年の健全育成に取り組みました。	(2)子どもの未来が輝くまち美園
	22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの安全確保の取り組みや、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				
②災害に強く、安全安心で暮らしやすいまち	美園小学校区は、市内外の各地から中央環状線に向かう車両などが集中するなど、通学路や生活道路の交通量が非常に多い地域です。そして、大きな災害が起こったとき、校区の西側に住む住民が分断され、十分な支援が受けられない可能性があります。そうしたことから、地域住民が主体となって、子どもたちの登下校時の見守りや声かけ運動などがきめ細かく行われています。災害対策の面では、自主防災組織が中心となって、校区の西部と東部に分けて、きめ細かく実践的な防災訓練を行い、大規模災害に備えています。さらに、街頭犯罪等を抑止することを目的として、地域主体で防犯カメラや防犯灯の設置管理、安全ベストを活用したパトロール等が行われています。今後も、地域と行政が連携して、安全安心を実現するための取り組みを活発に行い、誰もが安心して暮らすことのできるまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。				通学路については地域の方々による情報提供や相談により、適時、飛出し注意等の掲示板や道路シールの設置各担当課に対応を依頼し、安全を確保しました。 道路交通法改正による自転車運転に関する注意事項について、地域団体名で回覧を作成し、普及啓発に努めました。 防犯灯補助金等申請窓口として、防犯灯設置やLED化を促すことで、安全まちづくりが進みました。 地域の防災リーダー(防災士)を中心に、女性を活用した避難訓練を行う等、先駆的な活動を行っているとして、自治体消防70周年記念表彰(優良自主防災組織)を受けた地域であり、その運営等に対して、下支えを行うとともに、耐震性緊急貯水槽を活用した給水訓練の広報等を行いました。 女性防災リーダー育成を目的とした避難所ワークショップを平成30年度中に実施するに際し、女性活躍推進室と協働で、地区調整を行ない、地域拠点女性職員も参画させる中で、最終的には、地域拠点で避難所開設訓練を実施することとなりました。 地域拠点職員で、避難所設営訓練を行い、第2避難所や自主避難所に指定された場合の対応を検討した結果、ジョイントマットや文書保管箱を活用した避難スペースや、使用すべき部屋における優先順位等が確立できました。 災害時避難行動要支援者リストの地域活用について、自治振興委員会と民生委員児童委員会との合同作業について、調整を行い、今年度には、検討会議を行う機運が高まりました。 高齢者あんしんセンターと連携を深め、ケース検討会議などに積極的に参加し、常に情報交換を行なうようにしており、地域内での独居高齢者不在情報対応や、痴ほう症対応など、突発的な対応に協力体制が取れました。 近畿大学学生サークル「はちのじ」との連携で、地域イベントの案内ちらしを作成依頼する等、連携を深めた結果、ちらし内容が格段に見やすくなったこともあり、イベント自身も満員となりました。	・相談 ・地域のまちづくり ・防災	不審者が発生している個所に防犯カメラを設置した。設置したことにより不審者の出没が激減しました。 防災訓練について小学校の日曜参観と連携し実施しました。小学校との連携により、子どもから大人までの地域住民の防災意識高揚が図れました。 自転車の交通安全教室を実施した。交通ルールを知る機会のなかった住民に対してルールの周知が図れました。 危険箇所等要点において小学生を主に登下校時における見守り活動を実施した。また、更生保護女性会やPTAによる下校時におけるパトロール等見守り活動や青少年指導員、育成会により公園等の夜間パトロールを実施しました。これらの実施により登下校時における子供が被害となるような交通事故及び声かけ事案等の発生がなくなるとともに、子どもから挨拶が返ってくるようになるなど、子どもたちと地域のつながりが強くなりました。	(1)安心・安全・笑顔が多く住みたくなるまち美園 (2)子どもの未来が輝くまち美園
	2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組めます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○				
	5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組めます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○				
	40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						
	48	上水道の安定供給	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげます。	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげました。また、当地区においては耐震性緊急貯水槽を用いて住民による給水活動が行えるよう訓練を行いました。	大規模災害時には、各地域で水道局のみでの給水活動を行うことは極めて困難なため、今まで以上に自助の飲料水の備蓄の必要性を理解していただく必要があります。	○	○	○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
						に対して	て					
③地域の交流や支えあいがあり、安心して暮らせる優しいまち	美園小学校区では、地域住民が主体となつて、ふれあい祭りなどの世代間交流の催しや一人暮らしの高齢者の食事会、医療機関と連携した医療講座の開催など、互いに支えあい誰もが健康に暮らすことのできる地域福祉活動を活発に行っています。しかし、高齢化が進む中で、一人暮らしの高齢者や介護を必要とする高齢者など、家族や地域の支援を必要とする人も増えてきているのが現状です。今後、さらに地域と行政が連携して、新たな視点での健康づくり活動にも取り組むなど、地域での交流や支えあいがあり、いつまでも健康で安心して暮らすことのできるまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	・相談 ・地域のまちづくり ・健康づくり ・子育て ・その他	月1回程度集会所に於いて、地域医療機関の協力により、医療講座を実施した結果、高齢者はもとより校区住民の健康推進を図り、校区住民の活性化に繋がりました。 校区内住民ふれあい交流の場として、美園小学校に於いて、模擬店、ニューススポーツ体験、健康相談等を実施した。また、市民スポーツ祭の競技について、高齢者専用のものを取り入れ配慮するなど、高齢者の参加に繋がりました。 校区内の様々な世代の人々が、ふれあい、交流することにより、顔見知りの関係を生み、子どもの健全育成や孤独・孤立の防止等高齢福祉に成果に繋がりました。 週2回グランドゴルフを、また三世代交流のグランドゴルフを実施し、健康増進を図った。 年2回高齢者への友愛訪問を行い、安否確認を行いました。	(3)絆が深まる地域活動に参加したくなるまち美園 (4)高齢者・障がい者に優しく思いやりのあるまち美園
		13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○			
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	高齢者が自分らしくいきいきと暮らし続けることができるよう、早い段階からの健康づくりや介護予防の啓発に取り組みます。さらに、高齢者自らの健康づくりを支援するとともに、支援を必要とする高齢者を元氣な高齢者が支えるという住民どうしの活動の支援に取り組みます。	高齢者あんしんセンターとの連携により、身近な地域の住民運営の通いの場における体操などの取り組みを支援した。	身近な地域に通いの場となる場所を住民自身が確保することが難しい場合がある。	○	○	○			
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	地域拠点施設職員の配置等人員体制強化により、地域のまちづくり活動を下支えできた。	地域活動の担い手についても若い世代が参入しており、新たな取組みも実施されているが、今後も継続する中で引き続き支援していく必要がある。	○	○	○			
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	地域のふれあい交流事業や安心安全の取り組みに、校区内の様々な団体や学生ボランティア等の協力・連携を進めることができた。	様々な団体、NPO団体等市民活動団体との連携強化のため、地域への積極的な情報提供や支援に取り組む必要がある。	○	○	○			
④緑あふれるきれいで整備された美しいまち	美園小学校区は、綺麗に環境整備された地域です。その一番の要因は、地域主体で美しいまちを保つための環境美化活動が常に行われているからです。特に、魅力的な美しい公園である美園公園や久宝園公園は、地域住民による美化活動により美しく保たれ、憩いの場として多くの市民に利用されています。今後も、地域と行政が連携し、心やすらぐ緑の空間のあふれるまちをめざします。	41	公園とまちの緑化による緑のある暮らし	公園や緑地を適正に管理し、安全に憩える空間を維持します。	公園の清掃や花苗の植え付け等の美化活動を地域で行っていただくため、制度のPRに努めました。	ボランティア団体の高齢化により、後継者の発掘が課題です。 【1人あたり公園面積】八尾市全体:2.89㎡/人 美園小学校区:1.84㎡/人	○			・地域のまちづくり ・その他	毎月、美園公園の清掃活動と、年2回地域一斉清掃を実施するなど、定期的な清掃活動により、校区の美化が保たれ住みよいまちへと繋がりました。 また、美園公園において、小学生と樹木の手入れ(樹木名れ表示)等を実施した。それらにより公園への関心や愛着心が芽生え美化に繋がりました。	(5)美しい環境を意識した歩きたくなるまち美園
		44	きれいなまち八尾の実現	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを推進します。	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを支援しました。	地域での清掃活動をより活発になるような取り組みを考察する必要があります。	○		○			
⑤にぎわいがあり、誰もが暮らしやすいまち	美園小学校区には、近鉄久宝寺口駅を中心に商店街が広がり、また幹線道路沿いにはさまざまな店舗があります。しかし、一方では、市内の大型店舗の影響等により、駅周辺の商店街が衰退傾向にあります。商店街は、市民の日常の買い物を支える存在であるとともに、地域のつながりを支える地域コミュニティとしての役割も大きく、まちのにぎわいにも貢献しています。将来、さらに高齢化が進む中、身近なところで買い物ができ、人と人のふれあいがある環境は、地域にとって貴重な財産といえます。そうしたことから、今後、地域と行政、事業者が連携して、商店街の活性化を図る取り組みを進め、にぎわいがあり、誰もが暮らしやすいまちをめざします。	34	地域に根ざし、貢献する商業の育成と振興	商業団体と多様なまちづくり活動主体の連携の促進などを行います。	平成29年度に久宝寺口商店街において、商業活性化事業補助金の活用に向けての計画があったが、事業中止となりました。	久宝寺口駅付近の商店街の衰退化が著しい。	○			・地域のまちづくり ・その他		

後期基本計画の内容			施策担当課による後期計画の総括						地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性	施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協等)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
						に対して						
①みんなで取り組む安全なまち	龍華小学校区では、犯罪や自然災害、交通事故など、平穏な暮らしを脅かすリスクに対するさまざまな取り組みを行っています。校区内は地形的にも平坦で交通利便性が高く外出しやすいところですが、幹線道路においては交通量が多いため、歩道の整備など、安心して歩ける歩行環境が必要であり、地域と学校、行政が連携し、校区全体で交通安全を考える活動に取り組んでいます。また、防犯や防災に関する取り組みも積極的に行っています。地域と行政が連携し、生活に密接な情報が行き届いた安全なまちをめざします。		安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			・防災 ・地域のまちづくり	交通安全教室並びに防犯講習会を実施しました。校区内の自転車事故の減少と防犯意識の向上を目的として実施し、運転マナーや交通安全に対する知識について、地域で共有することができました。また、防犯に対する意識も向上しました。	①安全なまち
			2安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組めます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○		○			
			5交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組めます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○		○			
			40生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○					
②気持ちよく暮らせるきれいなまち	龍華小学校区では、地域一斉清掃の実施など、地域全体で美化活動に取り組んでいます。また、公園アドプト活動の活性化をはじめ、緑化意識の普及・啓発などに努めています。地域の公園は子どもの遊び場、高齢者の健康維持やレクリエーションなど地域の憩いの場としての役割を担っています。しかし、ごみやペットのフンの問題などが発生しており、利用者のマナーの向上が必要となっています。安全で憩える空間を維持するために、関係機関と協力し、暮らしのルールやマナーをきちんと守り、誰もが気持ちよく暮らすことができるきれいなまちをめざします。		41公園とまちの緑化による緑のある暮らし	公園や緑地を適正に管理し、安全に憩える空間を維持します。	公園の清掃や花苗の植え付け等の美化活動を地域で行っていただくため、制度のPRに努めました。	ボランティア団体の高齢化により、後継者の発掘が課題です。 【1人あたり公園面積】八尾市全体:2.89㎡/人 龍華小学校区:1.21㎡/人	○			・地域のまちづくり	龍華小学校西側花壇の植栽と清掃活動及び龍華地区地域一斉清掃を行いました。花壇の苗の植え付けや整備、龍華地区の地域一斉清掃を実施することで、地域内の美観意識が向上しました。	③きれいなまち
			44きれいなまち八尾の実現	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを進めます。	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを支援しました。	地域での清掃活動をより活発になるような取り組みを考察する必要があります。	○		○			

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点			
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協等）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標		
						施策担当課自身に対して	地域拠点に関して	まち協に関して						
③いくつになっても住み良いまち	龍華小学校区では、子育て支援や青少年健全育成、子どもたちの安全確保の取り組みなど、地域ぐるみで子どもたちを育む活動を活発に行っています。また、地域住民が中心となって高齢者のつどいや健康講座、世代間交流事業を活発に行っています。いくつになっても安心して暮らしていくためには、一人暮らしの高齢者をはじめとする高齢者の見守り活動や地域で支えあうしくみが重要です。今後も、地域と行政が連携して、子育て世代が「住みたい」「住み続けたい」と感じ、子どもたちの笑顔があふれ、そしていくつになっても暮らしやすいまちをめざします。			10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	・健康づくり ・子育て ・地域のまちづくり ・生涯学習 ・相談	高齢者講演会を実施しました。認知症予防教室、転倒防止教室等の講演会を実施し、健康づくりに対する意識を高めました。 生き生きサロン（高齢者支援事業）を実施しました。地域の高齢者に対して食事会と高齢者講演会を開催しました。また、世代間交流グラウンドゴルフ大会を実施し、高齢者のいきがいくつりと健康増進が図られました。 わくわく教室（子育て支援事業）を実施しました。高齢者の有志により、小学校3年生の児童に対して、本の読み聞かせや自由学習の見守り活動等を行い地域の子育て支援を行いました。	②住み良いまち
				13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	（社福）八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○			
				14	高齢者の生きがいくつりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 災害時に備えた平常時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○			
				19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場を提供したほか、プレママ・親子相談・交流事業の利用が多いため、部屋を増やしたり年齢を分けて対応できるようにした。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。						
				22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの安全確保の取り組みや、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたいため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○			
				54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	地域拠点職員のまちづくり活動への積極的な参加により、地域のまちづくり活動を支援することができた。	地域活動の参加者や担い手の人材を支援する必要がある。	○	○	○			
④コミュニティセンターを核とした地域活動や健康づくりのさかんなまち	龍華小学校区では、龍華コミュニティセンターを拠点にして地域の各種団体等による地域活動が積極的に展開されています。地域活動の一部においては、活動区域と小学校区が異なることがあります。子どもから高齢者までの多世代に関わることであり、活動区域と校区を一致することは難しい状態です。地域と行政が連携し、引き続き、コミュニティセンターを核として、さまざまな地域活動や健康づくりの取り組みがさかんなまちをめざします。			10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	・健康づくり ・地域のまちづくり ・相談 ・生涯学習	健康体操（3B体操）を定期的 to 実施し、高齢者の健康増進が図られました。また、高齢者講演会で認知症予防教室などを開催し健康に対する意識につながりました。 ふれあい祭りを実施しました。地域の福祉委員会や関連団体と連携を図り、まちづくり活動を担いました。地域での協働の広がりにつながりました。	③住み良いまち
				54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	地域の各団体間の連携強化を図り、地域のまちづくり活動を支援することができた。	地域拠点であるコミセンを引き続き周知を行っていくことが必要である。広報活動の強化について重要である。	○	○	○			
				55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	コミセンを核とした生涯学習活動やコミュニティ形成事業で市民活動団体等と連携を図り、事業を積極的に推進した。	市民活動団体等が共にまちづくり活動に取り組めるように支援していく必要がある。	○	○	○			

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこ と・成果	わがまち推進計画の目 標
①安全・安心をみんなで推進するまち	永畑小学校区では、交通量が多い国道25号が校区中央を東西に通っています。また一方では古いまちなみが残り、狭い生活道路がある地域もあります。朝夕には、JR八尾駅周辺では自転車の交通が集中しています。このように交通安全に関する課題が多いことから、地域と学校、行政が連携し、校区全体で交通安全を考える活動に取り組んでいます。また、地域ぐるみで防犯や防災の取り組みも行っています。今後も交通ルールの遵守とマナー向上の啓発をはじめとする交通安全の取り組みを継続し、地域と行政が連携して安全安心をみんなで推進するまちをめざします。	1安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			まち協主催の交通安全教室や青色防犯パトロール講習会が円滑に進捗するように、関係団体と連携を図り、地域への交通安全意識の向上と地域のパトロール実施者の育成について支援を行いました。 また、校区全体の取り組みとして防災訓練を実施するため、まち協支援を行い、訓練が円滑に進捗するように関係団体と連携を図りました。校区全体への防災訓練の実施により、防災意識の向上と非常時に対応する心構えができました。	・防災 ・地域のまちづくり	交通安全教室並びに防犯講習会を実施しました。校区内の自転車事故の減少と防犯意識の向上を目的として実施し、運転マナーや交通安全に対する知識を共有することができました。また、防犯に対する意識も向上しました。 青色防犯パトロールを行いました。児童の登下校時を中心に校区内を巡回し街頭犯罪が減少するように努めました。 防犯カメラの設置を行いました。地域の防犯重点箇所を抽出し防犯カメラ設置を行った結果、街頭犯罪の抑止効果により地域住民の安全につながりました。	①情報が行きかう安全・安心なまち
		2安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○				
		5交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促す必要があります。	○	○	○				
		39都市計画道路などの整備	利便性、防災性の向上をめざして、JR八尾駅と国道25号を結ぶJR八尾駅前線の整備推進に取り組みます。	地区の利便性及び防災性の向上を目指し、(都)JR八尾駅前線の整備に向けて都市計画変更を行い、事業認可を取得しました。	事業を進めるには着実な用地の取得を行う必要があります。	○						
		40生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						
②助け合いの心とぬくもりがあふれるまち	永畑小学校区では、地域ぐるみで、一人暮らしの高齢者を対象とした昼食会、健康講座、世代間交流事業や子育て支援の活動などを活発に行っています。少子高齢化が急速に進む中、校区内の地域により高齢化率に大きな差が生じている現状があります。高齢者が多い地域を中心に、高齢者の生活を支える取り組みが今後さらに重要になってきます。多くの世代が地域活動に参画し、住民間のコミュニケーションが活発で、これからも子育て世代が「住みたい」「住み続けたい」と思うようなまちづくりを進めるとともに、子どもたちの笑顔があふれ、いつになっても安心して暮らせるまちをめざします。	10疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	地域の健康づくりの推進と疾病に対する知識や予防対策等の取り組みに関して、まち協と保健師が連携し、主として人的支援を行いました。また、健康まつりを実施し、地域の関係団体や大学との連携により高齢者をはじめ、地域住民の健康に資するように努めました。 さらに、相談体制の充実を図るため、地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携し、地域の健康や生活に対する相談に対して情報共有を図り、円滑に事業が進捗するように努めました。 また、地域の子育てに関する相談ができる場を提供し、定期的に交流を図り、地域の子育てに対する支援を行いました。 その他、地域のまちづくりに対する支援を行うため、地域行事やまち協等の関係団体が開催する行事に積極的な参加を行い、行事活動等が円滑に進むように支援を行いました。	・健康づくり ・地域のまちづくり ・子育て ・相談	介護予防教室を実施しました。地域包括支援センターや八尾市と連携し、自主的な健康づくりの情報発信や講座を老原・相生・植松の集会所で年6回実施しました。自主的に参加される方々が増え、健康づくりに対する意識が向上しました。 ふれあい喫茶「かふえ ながはた」を老原・相生・植松の集会所で実施しました。地域社会の中で、高齢者が住み慣れた地域で楽しく過ごせる場を提供し地域交流を促進しました。 にこにこ土曜スクールを実施しました。1月と8月を除く毎月第3土曜日の午前9時から午前11時30分まで開催し、子どもの遊び等を通じて、子どもの見守りを行いました。見守り活動により地域の、こども達の安全確保につながりました。 ふれあい祭りを開催し約1,100名の参加がありました。地域の福祉委員会や関連団体と連携を図り、世代間の地域交流が図られました。 まち歴を学ぶ世代間交流フェスタを開催しました。地域で活躍する児童・生徒・住民が音楽・踊り等で交流し、同時に「まちの歴史の学習会」を実施しました。世代間の交流が図られ地域交流が深められました。	②助け合いの心とぬくもりがあふれるまち
		13ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○				
		14高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 災害時に備えた平常時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○				
		19地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場を提供したほか、プレママ・親子相談・交流事業の利用が多いため、部屋を増やしたり年齢を分けて対応できるようにした。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。							
		22次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの安全確保の取り組みや、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたいため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				
		54地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。またコミュニティ施設の充実を検討します。	地域の各団体間の連携強化を図り、地域のまちづくり活動を支援することができた。	地域活動の参加者や担い手の人材を支援する必要がある。	○	○	○				
		55市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	地域のふれあい交流事業等の取組みに協力し連携を行うことができた。	市民活動団体等が共にまちづくり活動に取り組めるように支援していく必要がある。	○	○	○				

後期基本計画の内容			施策担当課による後期計画の総括						地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこ と・成果	わがまち推進計画の目 標
③歴史の 魅力があふ れ美しく活 気があるま ち	永畑小学校区には、多くの歴史資産があります。校区内には古くから大阪と奈良を結ぶ重要な街道であった奈良街道が通っています。街道沿いや老原地区には古くからのまちなみも残っており、道標や常夜灯、お地蔵さんなど、日常生活の中に歴史を感じることができます。また、渋川神社境内にある樹齢千年とも言われる大阪府の天然記念物である大きな楠も日常生活に密着しています。校区内には、安中新田会所跡旧植田家住宅があり、昔の暮らしを体感できる場として公開されています。また、地域住民が植松地区のまちの魅力を探り、発信しようとする集まりも芽生えています。地域と行政が連携し、歴史を次世代につなぎ、歴史資産のある魅力あふれるまちをめざします。	25 八尾の魅 力発見と発 信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80” 映画祭」に取り入れました。	地域に特化した魅力再発見・発掘の実施を行い、「八尾探」コースの設定及び提供を行うことで、各地域の魅力を認識していただき、地域の魅力を向上する必要があります。	○			まち協が、地域の歴史を学ぶため、子どもに焦点をあてて、旧植田家住宅を活用し、地域の歴史や昔の遊びの体験学習、まち歩きを行いました。まち歩きを行う中で、地域の文化財にふれあい、知識として共有することに支援を行いました。	・健康づくり ・生涯学習	まち歩きを開催しました。子ども達が、旧植田家住宅で昔遊び等や地域の歴史を学ぶことで、地域への愛着や誇りを育めました。	③歴史の魅力があふれ美しく活気があるまち
		27 歴史資産な どの保全と 活用	安中新田会所跡旧植田家住宅を通じて、地域の歴史を伝えとともに、大和川付け替えや昔の暮らしなどについて学べるようにします。	地域の住民から聞き取りを行い、植松地域史といえる『ちよっと昔の植松』を刊行したほか、JR八尾駅前花壇の環境美化、まちづくり協議会での講演会など、地域に根付いた活動に取り組みました。	新しいニーズの掘りおこしを進め、これまでとは異なった活動を模索していく必要があります。	○						
④JR八尾 駅と周辺の 環境保全を 進めるまち	永畑小学校区にはJR八尾駅があり、多くの住民がこの駅を利用しています。これまでJR八尾駅周辺整備事業が進められ、平成25年(2013年)7月に自由通路および橋上駅舎が完成し、また平成27年(2015年)3月に南側駅前広場の整備が完了し、駅周辺のバリアフリー化が実施されました。南側駅前広場は環境に配慮した整備が行われ、住民の憩いの場になっていますが、一部でごみのポイ捨てや迷惑行為が見られます。植栽帯の維持管理も含め、駅前広場の環境保全を、地域と鉄道事業者、行政が連携して進めます。	44 きれいなま ち八尾の実 現	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを促進します。	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを支援しました。	地域での清掃活動をより活発になるような取り組みを考察する必要があります。	○		○	まち協活動としてJR八尾駅広場花壇のプランターを定期的に整備し、5月には、河内木綿の植え付けを行いました。植え付けには、まち協、JR八尾駅員、コミスタ、永畑幼稚園、永畑小学校の3年生に参加頂き、地域美化活動に協働で取り組みました。	・健康づくり	JR八尾駅前広場花壇・プランターの植栽や清掃を行いました。みどりを大切にする気持ちを地域住民が育むと同時に、計画的に作業を行い地域の美化活動に努めることにより、美化意識の向上につながりました。	③歴史の魅力があふれ美しく活気があるまち

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
①安全で安心して生活できるまち	大正小学校区には、大和川が流れておりコミュニティセンターと出張所を併設した水防センターを中心に、大和川若林地区河川防災ステーションが整備されています。 災害時の避難所は大正小学校と大正コミュニティセンターであり、校区の西側に集中しています。そのため、校区東部地域では、自主防災活動の取り組みを早くから行っています。また、夜間は工場街の道路に暗がりが多いことから、校区まちづくり協議会で青色防犯パトロールを実施し、地域ぐるみで防犯の取り組みを行っています。さらに校区内の昔からのまちなみの残る地域では狭い道路が多く、交通安全の取り組みも大切となります。 これからも、消防団や水防団、自主防災組織、校区まちづくり協議会の青パト隊などの地域の組織と行政が連携し、安全で安心して生活できるまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			まち協による防犯カメラの設置や備蓄用缶入りバンの購入、自主防災訓練の実施等をサポートすることで、事業を円滑に進めることができた。 とりわけ、自主防災については避難所運営検討会議の実施により、町会単位で議論しこれまでに以上を意識が高まりました。	・防災 ・地域のまちづくり	防犯カメラの設置、メンテナンスを行った。防犯カメラの設置に際しては、まち協の役員会臨時総会で図り、街頭犯罪抑止のために効果的な位置を地域で検討したうえで設置しました。それにより、警察からの問い合わせも増え、街頭犯罪の抑止につながっています。 青色防犯パトロールを実施しました。また、青色防犯パトロール隊の活動と共に、木の本交番の警察官が巡回され、街頭犯罪の抑止につながりました。 備蓄用缶入りバンを購入し、該当町会に配布しました。災害時の備えができたことから、地域の安心度が高まりました。また、消費期限までに使用がなかったものについては自主防災訓練で使用しました。また、自主防災については避難所運営検討会議の実施により、町会単位で議論しこれまでに以上を意識が高まりました。 防災掲示板を設置した。地域内にバランスよく設置することにより、大和川の増水等による水害や地震による大規模災害発生時にどう対応するか等、地域の防災について広報しました。	①安心して暮らせる安全なまち
		2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。また、水防センターを活用した防災についての啓発活動を行います。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。 水防センターを活用した啓発活動を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○				
		3	災害に強い消防体制づくり	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に努めます。	消防団と自主防災組織などが連携し防災訓練を実施しました。	消防団と自主防災組織などの連携及び継続的な訓練等が必要です。	○	○	○				
		5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○				
		48	上水道の安定供給	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげます。	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげました。また、当地区においては耐震性緊急貯水槽を用いて住民による給水活動が行えるよう訓練を行いました。	大規模災害時には、各地域で水道局のみでの給水活動を行うことは極めて困難なため、今まで以上に自助の飲料水の備蓄の必要性を理解していただく必要があります。	○	○	○				
②子どもたちの未来を育むまち	大正小学校区では、子ども会活動や子どもの登下校の見守りなど、地域住民による子どもに対する取り組みを活発に行っています。また、コミュニティセンターでは青少年育成活動が行われています。 子ども会活動においては、各家庭における生活スタイルの多様化により子どもたちの参加や担い手の確保が課題となっており、子育てについては保護者が交流できる場が求められています。 市としては、地域の子ども会活動を支援し、コミュニティセンターや地域にある施設の活用などを行いながら、保護者が交流できる場を増やします。また、地域の団体が行う子育ての活動を支援します。これからも地域ぐるみで子どもたちを育む活動を行うとともに、地域と行政が連携し、子どもたちの未来を育むまちをめざします。	19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場を提供したほか、保健センターの保健師勧奨の子どもを対象とした教室のフォローを実施した。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。			まち協主催の「キッズわくわくコンサート」、コミセン運営協議会主催の「子ども特別講座」において地域が企画を考える際にアドバイスすることにより、事業実現に向けて進めることができた。また、事業の実施にあたり、地域と講師、出演者の顔つなぎを行い、地域が円滑に事業を進めることができました。 中学校の夏季休暇、冬期休暇に合わせ、コミュニティセンターの一室を自習室として開放し、地域の中学生に学習の場を提供することにより、学力向上機会の一助とすることができました。	・地域のまちづくり ・子育て	「キッズわくわくコンサート」を隣接校区と共同で実施しました。幅広い年齢層の方々に参加していただいたことで、地域内の交流につながりました。	②子どもたちの未来を育むまち	
		22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○					○
③誰もが健康でいきいきと暮らせるまち	大正小学校区では、コミュニティセンターや各町会自治会の地区集会所を利用して、高齢者ふれあい給食やふれあい喫茶などが活発に行われています。またコミュニティセンターにおいても、地域団体主催の講座などを通じて健康意識の向上が図られています。 大正小学校区は地域が広く、特に交通手段が少ない高齢者や障がい者は、コミュニティセンターまで来所にくいという課題があります。また地域には、多くの一人暮らしの高齢者もおられます。 今後、コミュニティセンターで行われている健康づくりに加え、各地区集会所にも活動の輪を広げ、地域に根差した健康づくりの活動促進を行います。また、高齢者の見守り活動など地域で支えあうしくみを通じ、誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	まち協主催の健康講座「おやこでクッキング」や「まち協運動講座」において地域が企画を考える際にアドバイスすることにより、事業実現に向けて進めることができました。また、事業の実施にあたり、講師と地域との顔つなぎを行い、地域が円滑に事業を進めることができました。 健康相談について、コミセン内において「あなたのまちの健康相談」を行うとともに、地区集会所等で行っている「ふれあい喫茶」に Outreach、「出張健康相談」を行うことにより、地域の方々から身近な場所で相談できるという安心感をもってもらうことができました。 地区福祉委員会においても食育講座を開催し、若年層に対する食への健康意識を高めました。 災害時要配慮者支援名簿のうち、情報提供同意不同意の確認ができていない方に対し訪問することにより、個別の実態を把握することができました。	・地域のまちづくり ・健康づくり ・相談	「大和川マラソン・ウォーキング大会」を実施した。子どもから大人まで幅広い世代の参加者があり、地域の健康づくりを促進するとともに、地域住民の交流の場を提供することができました。 まち協健康講座「おやこでクッキング」を隣接校区と共同で平成28年度から実施した。親子で朝ご飯を作ることにより、食生活の大切さを実感することができ、帰ってから家庭で話をするきっかけがうまれ、地域での健康づくりにつながりました。 まち協運動講座で運動指導士による手軽にできる運動や、体育振興会の方による指導の下、ポールウォーキングを実施した。受講した人が周囲に紹介することにより運動しようとする人が増えました。	③誰もが健康でいきいきと暮らせるまち
		13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○				
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 災害時に備えた平常時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○				
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	旧来の地域拠点から新たな拠点となったことで、地域住民のふれあいの場がさらに活発となり、地域活動支援の体制についても充実させた。	地域拠点の相談機能の充実に伴い、地域に対し理解を得るため、積極的なPRを行い、職員の能力を十二分に発揮することができ体制を構築するとともに、次世代に繋がる取り組みなど強化する必要がある。また、拠点職員と部局側が連携することで、各地域で異なるニーズを把握し、地域に応じた事業を判断し進めていく必要がある。	○	○	○				

後期基本計画の内容			施策担当課による後期計画の総括						地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこ と・成果	わがまち推進計画の目標
④地域をみんなで支え 学びあうまち	大正小学校区には、水防センターに併設された大正コミュニティセンターがあり、各種講座など生涯学習活動を住民主体で行っています。また、コミュニティセンターは校区の地域活動の拠点となっており、校区まちづくり協議会をはじめ各種団体の活動に活発に利用されています。 地域活動を行う各種団体の構成員は高齢化してきており、地域課題に応え持続可能な活動を行うために、活動を支えるための多様な人材確保の課題があります。また、生涯学習活動においては、さまざまな学びのニーズが増えてきています。 地域活動の情報を共有しながら、校区の人のつながりを広げ、地域をみんなで支え学びあうまちをめざします。	28	生涯学習の取り組み	地区生涯学習推進事業として、コミセン運営協議会に委託し、各コミセンで講座や現代的課題講座を開催しました。	各地区で開催される講座は、絵画や陶芸など趣味の分野での自己学習が中心ですが、今後は、地域や市民の日常生活における課題解決に寄与する学習の充実化にも努めるとともに、学んだことを地域社会に還元する機会の創出を一層図ることが必要です。	○	○	○	まち協主催の「大正コミセン寄席」の実施にあたり、地域と出演者の顔つなぎを行い、地域が円滑に事業を進めることができました。 コミセン運営協議会主催の現代的課題講座を実施するにあたり、事例選定のアドバイスや講師の紹介を行うことにより、地域が円滑に事業を進めることができました。	・地域のまちづくり ・生涯学習	「大正コミセン寄席」を隣接校区と共同で実施した。「天満天神の会」という素人落語家の会の力を借りながら、地域住民の文化的活動の充実を図り、住民同士の交流の場を提供しました。	④地域をみんなで支え学びあうまち
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	旧来の地域拠点から新たな拠点となったことで、地域住民のふれあいの場がさらに活発となり、地域活動支援の体制についても充実させた。	地域拠点の相談機能の充実に伴い、地域に対し理解を得るため、積極的なPRを行い、職員の能力を十二分に発揮することができる体制を構築するとともに、次世代に繋がる取り組みなど強化する必要がある。また、拠点職員と部局側において連携することで、各地域ごとで異なるニーズを把握し業務を進めていく必要がある。	○	○	○				
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	それぞれの団体等で実施していた事業を校区全体の取り組みとして実施することができた。	○	○	○				
⑤緑を活かし水辺の自然とともに 生きるまち	大正小学校区の南側には大和川が流れており、河川敷には公園があり、堤防はサイクリングロードにもなっています。近年は水質も向上し、大和川わんどを中心として生物や環境学習の場としても期待されています。校区北側には飛行場南側排水路、中央部には大正川が流れており、一部は遊歩道となっており、八尾空港を一望できるところもあります。 大正コミュニティセンターが大和川の堤防上に新しく整備されたことにより、隣接する公園の利用者や、堤防を通行する自転車や歩行者の方が増えてきており、一層の管理が求められます。 河川や公園は市民の貴重な憩いの場であり、地域と行政が連携し、施設整備や管理を進め、緑を活かし水辺の自然とともに生きるまちをめざします。	41	公園とまちの緑化による緑のある暮らし	公園や緑地を適正に管理し、安全に憩える空間を維持します。	公園の清掃や花苗の植え付け等の美化活動を地域で行っていただくため、制度のPRに努めました。	○			まち協が「大和川わんどいきもの観察会」を実施するにあたり、地域と政策推進課との顔つなぎを行ったことで、地域が円滑に事業を進めることが出来ました。 地域一斉清掃を福祉委員会の枠組みの中で行うにあたり、用具購入に係る申請手続きの補助を行い、地域美化活動実施の一助となることができました。	・地域のまちづくり	「大和川わんどいきもの観察会」を、国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所近畿大学農学部・(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター・八尾市など多くの団体の力を合わせて実施しました。多くの方々に参加いただき、子どもたちが自然と触れ合うことのできる場を提供することができました。また、大和川が魅力ある地域資源であるということをもくの方に認識していただきました。 大正川の清掃活動を月2回実施している。定期的な清掃活動により、大正川は徐々にきれいになってきています。	⑤緑を活かし水辺の自然とともに生きるまち
		43	快適な生活環境づくり	市民、事業者とのパートナーシップにより、環境問題への取り組みを進め、生活環境の保全を図ります。	市民、事業者への啓発等を行い、環境問題への取り組みを進め、生活環境の保全を図りました。	○		○				
		47	治水対策と環境を意識した水環境の形成	水辺環境の向上をめざし、水辺環境施設の活用と維持管理に努めます。	大正川において鯉などの水生生物が生息する環境の基盤整備を行いました。	○		○				
⑥地域の魅力を活かし発信する まち	大正小学校区には、工業地域・準工業地域があり、特に校区北側の八尾空港周辺地域は全国有数の工業集積地であり、ものづくりの原動力です。また、校区西側の大阪市営地下鉄谷町線八尾南駅周辺には工業団地(印刷団地や菓子団地)があります。また、地域には古くから伝わる伝承音頭の「ジャйна音頭」が引き継がれており、他にも古くからの地域の歴史文化があります。 このように、大正小学校区には素晴らしい地域の魅力がたくさんあるにもかかわらず、地域住民も知らないことが多く、まだまだ伝えきれていないところがあります。 今後は、地域や事業者、行政が連携し、地域の魅力を地域内外に広めていくことにより、地域の魅力を活かし発信するまちをめざします。	25	八尾の魅力発見と発信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80」映画祭」に取り入れました。	○			・まち協広報紙「さざなみ」作成のサポートを行うことにより、発行をスムーズに行うことができました。	・地域のまちづくり	まち協広報紙「さざなみ」を年2回発行し、地域活動の情報について、地域に広く知らせることにより、自分たちが住んでいるまちの魅力を再発見し、愛着がわくきっかけを作ることができました。	⑥地域の魅力を活かし発信するまち
		33	世界に誇れるものづくりの振興と発信	工場立地支援制度を活用し、工場集積の維持・発展に取り組みます。 「ものづくりのまち・八尾」のブランドを戦略的に発信します。	中小企業サポートセンターの新規訪問企業開拓のため、地域企業の飛び込み訪問を実施。新規での支援企業を発掘する。	○						

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標	
							施策担当課自身に対して	地域拠点に関して					まち協に関して
①安心して暮らせる安全なまち	大正北小学校区には、八尾空港があり大阪府中部広域防災拠点が隣接しています。校区北側には、南木の本防災公園が整備されています。これらの施設は、災害発生時の重要な拠点となります。また、校区まちづくり協議会で青色防犯パトロールを実施し、地域で防犯の取り組みを行っています。 地域には、昔ながらの道路が多くあり、災害発生時に大きな車両が通行できない現状があります。また、交通安全の取り組みも大切となります。さらに、八尾空港西側跡地付近の道路など暗がりの多いところもあります。 これからも、消防団、自主防災組織、校区まちづくり協議会の青パト隊や関係機関と連携しつつ、行政と地域の適切な役割分担のもと、安心して暮らせる安全なまちをめざします。		1安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			各自主防災組織では防災訓練を行っていたが、校区全体ではできていなかったもので、校区全体の住民が参加できる機会が得られるように、まち協を支援しました。まず1年目は防災講演会、2年目は避難所運営ゲームを支援した。このことにより校区全体での防災訓練の実施への意識が高まった。実際行った平成29年度には、消防署志紀出張所と顔つなぎを行い、打ち合わせ会議においても助言することにより、事後の打合せが円滑に進みました。	・防災 ・地域のまちづくり	防犯カメラの設置を行った。設置にあたり警察に相談することや、まち協で、場所についての話し合いをすることにより、防犯情報について共有することができました。 青色防犯パトロールを行った。1日青パトデーを実施することにより、青パトの存在を周知することができ、地域の防犯に対する意識付けを高めることができました。 平成29年度、校区全体で防災訓練を行った。災害時には多様な主体が災害対応することから、防災訓練の参加者は男性だけでなく、積極的に女性にも参加してもらえよう婦人会や更生保護女性会などにも働きかけ、多くの女性が参加しました。	①安心して暮らせる安全なまち
			2安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○				
			3災害に強い消防体制づくり	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に努めます。	消防団と自主防災組織などが連携し防災訓練を実施しました。	消防団と自主防災組織などの連携及び継続的な訓練等が必要です。	○	○	○				
			5交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○				
			48上水道の安定供給	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげます。	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげました。	大規模災害時には、各地域で水道局のみでの給水活動を行うことは極めて困難なため、今まで以上に自助の飲料水の備蓄の必要性を理解していただく必要があります。	○	○	○				
②子どもたちの笑顔が広がるまち	大正北小学校区では、子ども会活動や子どもの登下校の見守りなど、地域住民による子どもに対する取り組みを活発に行っています。また休日や放課後には、大正北小学校のグラウンドやプレイルームなどで青少年育成活動が行われています。 子ども会活動においては、各家庭における生活スタイルの多様化により子どもたちの参加や担い手の確保が課題となっており、子育てについては保護者が交流できる場が求められています。 市としては、地域の子ども会活動を支援し、地域にある施設の活用などを行いながら、保護者が交流できる場を増やします。また、地域の団体が行う子育ての活動を支援します。これからも地域ぐるみで子どもたちを育む活動を支援することで、子どもたちの笑顔が広がるまちをめざします。		19地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。				・地域のまちづくり	平成29年度から子どもカーニバルをまち協主催で実施することとなりました。多くの子どもたちが参加することで、より多くの担い手が運営に携わることにより地域の結束が深まりました。 「キッズわくわくコンサート」を隣接校区と共同で実施しました。幅広い年齢層の方々に参加していただいたことで、地域内の交流につながりました。	②子どもたちの笑顔が広がるまち	
			22次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていただいているため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				
③誰もが健康で幸せに暮らせるまち	大正北小学校区では、小学校内にあるプレイルームや各町会自治会の地区集会所を利用して、高齢者ふれあい給食やいきいきサロンなどが活発に行われています。また各町会の集会所においても、高齢者向け講座などを通じて健康意識の向上が図られています。 大正北小学校区は地域が広く、特に交通手段が少ない高齢者や障がい者は、小学校区外にあるコミュニティセンターまで行きにくいという課題があります。また地域には、多くの一人暮らしの高齢者もおられます。 今後、各地区集会所にも健康づくりの輪を広げ、地域に根差した健康づくりの活動促進を行います。また、高齢者の見守り活動など地域で支えあうしくみを通じ、誰もが健康で幸せに暮らせるまちをめざします。		10疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	まち協主催の健康講座「おやこでクッキング」や「まち協運動講座」において地域が企画を考える際にアドバイスすることにより、事業実現に向けて進めることができた。また、事業の実施にあたり、講師と地域との顔つなぎを行い、地域が円滑に事業を進めることができました。 健康相談について、コミセン内において「あなたのまちの健康相談」を行うとともに、地区集会所等で行っている「ふれあい喫茶」に出向き、「出張健康相談」を行うことにより、地域の方々から身近な場所で相談できるという安心感をもってもらうことができました。 災害時要配慮者支援名簿のうち、情報提供同意不同意の確認ができていない方に対し訪問することにより、個別の実態を把握することができました。	・地域のまちづくり ・健康づくり ・相談	まち協健康講座「おやこでクッキング」を隣接校区と共同で平成28年度から実施した。親子で朝ご飯をすることにより、食べるということの大切さを実感することができ、帰ってから家庭で話をするきっかけが生まれ、地域での健康づくりにつながりました。 まち協運動講座で運動指導士による手軽にできる運動や、体育振興会の方による指導の下、ボールウォーキングを実施した。受講した人が周囲に紹介することにより運動しようとする人が増えました。	③誰もが健康で幸せに暮らせるまち
			13ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	（社福）八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○				
			14高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 災害時に備えた平常時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○				

後期基本計画の内容					施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点					
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標				
							に対して	て									
④みんな でふれあい学 びあうまち	大正北小学校区では、校区まちづくり協議会や福祉委員会をはじめ、町会・自治会や青少年育成会、高齢クラブ、女性団体、青年団など各種団体が活発に活動を行っています。また、学習意欲のある地域住民は校区外のコミュニティセンターまで行って講座を受講しています。 活動を継続するうえで、いつでも自由に使える活動拠点も重要です。また、生涯学習活動においては、さまざまな学びのニーズが増えています。 地域活動の情報を共有しながら、校区の人のつながりを広げ、みんなでふれあい学びあうまちをめざします。	28	生涯学習の取り組み	身近な地域拠点施設であるコミュニティセンターにおいて、生涯学習の場を提供します。	地区生涯学習推進事業として、コミセン運営協議会に委託し、各コミセンで講座や現代的課題講座を開催しました。	各地区で開催される講座は、絵画や陶芸など趣味の分野での自己学習が中心ですが、今後は、地域や市民の日常生活における課題解決に寄与する学習の充実化にも努めるとともに、学んだことを地域社会に還元する機会の創出を一層図ることが必要です。	○	○	○	コミセン運営協議会主催の現代的課題講座を実施するにあたり、事例選定のアドバイスや講師の紹介を行うことにより、地域が円滑に事業を進めることができました。 まち協主催の「大正コミセン寄席」の実施にあたり、地域と出演者の顔つなぎを行い、地域が円滑に事業を進めることができました。	・地域のまちづくり ・生涯学習	「大正コミセン寄席」を隣接校区と共同で実施した。「天満天神の会」という素人落語家の会の力を借りながら、地域住民の文化的活動の充実を図り、住民同士の交流の場を提供しました。	④みんな でふれあい学 びあうまち				
							54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	旧来の地域拠点から新たな拠点となったことで、地域住民のふれあいの場がさらに活発となり、地域活動支援の体制についても充実させた。					地域拠点の相談機能の充実に伴い、地域に対し理解を得るため、積極的なPRを行い、職員の能力を十二分に発揮することができる体制を構築するとともに、次世代に繋がる取り組みなど強化する必要があります。また、拠点職員と部局側において連携することで、各地域ごとに異なるニーズを把握し業務を進めていく必要がある。	○	○	○
															55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。
⑤緑を活かした憩いのあるまち	大正北小学校区には、平野川が流れています。沿道の一部は遊歩道となっており、また、遊歩道周辺に公園があるなど、緑と水辺の空間が広がっています。特に、空港北濠緑地は、校区最大の規模であり、グラウンドゴルフを行ったり、親水利用したりすることも可能です。 公園や遊歩道、広大な緑地があることは地域の環境にとってよいことですが、清掃や草刈りなど管理をしなければならず、その担い手を誰がするのかという問題があります。地域住民は自主組織を作って、これらの管理に積極的に取り組んでいます。 公園や遊歩道、河川は市民の貴重な憩いの場であり、これらの施設整備や管理を含め、地域と行政が連携して、緑を活かした憩いのあるまちをめざします。	41	公園とまちの緑化による緑のある暮らし	公園や緑地を適正に管理し、安全に憩える空間を維持します。	公園の清掃や花苗の植え付け等の美化活動を地域で行っていただくため、制度のPRに努めました。	ボランティア団体の高齢化により、後継者の発掘が課題です。 【1人あたり公園面積】八尾市全体:2.89㎡/人 大正北小学校区:3.87㎡/人	○			地域一斉清掃を福祉委員会の枠組みの中で行うにあたり、用具購入に係る申請手続きの補助を行い、地域美化活動実施の一助となることができました。	・地域のまちづくり		⑤緑を活かした憩いのあるまち				
							47	治水対策と環境を意識した水環境の形成	水辺環境の向上をめざし、水辺環境施設の活用と維持管理に努めます。					平野川の管理用通路において、散策道として照明灯及びカラー舗装の整備を行いました。	平野川の散策道については、利用者拡大のため周辺施設の案内看板整備等の取り組みが必要です。	○	
⑥地域の魅力があふれるまち	大正北小学校区には、工業地域・準工業地域があり、特に校区南東側の八尾空港周辺地域は全国有数の工業集積地です。工業集積は、ものづくりの原動力です。事業者と地域が一体となり、ものづくりを身近に感じ、その素晴らしさを地域に伝えることができます。また、地域には樟本神社をはじめ古くからの歴史文化を伝える史跡や伝承があります。 このように、大正北小学校区には素晴らしい地域の魅力がたくさんあるにもかかわらず、地域住民も知らないことが多く、まだまだ伝えきれていないところがあります。 今後は、地域や事業者、行政が連携し、地域の魅力を地域内外に広めていくことにより、地域の魅力があふれるまちをめざします。	25	八尾の魅力発見と発信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80''映画祭」に取り入れました。	地域に特化した魅力再発見・発掘の実施を行い、「八尾探」コースの設定及び提供を行うことで、各地域の魅力を認識していただき、地域の魅力を向上する必要があります。 地域を跨いだストーリーを見出し、より楽しんで頂けるプログラムの検討を実施します。	○			まち協広報紙「くすのき」作成のサポートを行うことにより、発行をスムーズに行うことができました。	・地域のまちづくり	まち協広報紙「くすのき」を年2回発行し、地域活動の情報について、地域に広く知らせることにより、自分たちが住んでいるまちの魅力を再発見し、愛着がわくきっかけを作ることができました。	⑥地域の魅力があふれるまち				
							33	世界に誇るものづくりの振興と発信	工場立地支援制度を活用し、工場集積の維持・発展に取り組めます。 「ものづくりのまち・八尾」のブランドを戦略的に発信します。					中小企業サポートセンターの新規訪問企業開拓のため、地域企業の飛び込み訪問を実施。新規での支援企業を発掘する。	新規の工場の立地(奨励金を活用)が多くみられる地域であるが、サポートセンターの支援の輪を広げるために新規開拓を進める必要がある。	○	

【行政】地域別計画のふりかえり

八尾小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
①地域活動がさかなまち	八尾小学校区では、地域活動団体をはじめ、多くの市民活動団体、営利・非営利法人の施設、個人商店や事業所等が所在し、それぞれの分野でさまざまな公益的活動を行っています。 一方、若い世代の参画など活動の担い手の確保に課題があり、今後、身近な地域でのつながりや支えあいがより重要になってきます。 多くの方々が、八尾小学校区に誇りを持って住み続けたい、また、他の校区へ引っ越した方々が、もう一度八尾小学校区に住んでみたいと思えるよう、地域やさまざまな活動主体と協力・連携し、地域活動がさかななまちをめざします。	54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	コミュニティ推進スタッフ以外の地域拠点職員について、課内での担当者を明確化することにより、地域活動の支援体制を充実させた。	他の校区と異なり、地域拠点施設の位置付けの無い地域であり、各担当課より直接アプローチされる事も多く、拠点となるコミュニティ政策推進課が地域拠点として認識されにくい。	○	○	○	まちづくり協議会の活動の中で各地区の福祉委員会があまり手がけていないような活動を行う際に、さまざまな団体どうしの連携をはかりました。具体的には、未就学の児童の子育て交流会などのイベントを開催する際に市民活動団体と地域活動団体の連携を中間支援組織である「つどい」と協力し行いました。	・地域のまちづくり ・子育て	NPO法人を含む市民活動団体と協働し、未就学の子供と親を対象に子育て交流会「子育て応援隊」を開催しました。	子供たちの笑顔いっぱいのまちを目指します。 あいさつが行きかうまちを目指します。
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	NPO団体と共働して、八尾小学校校区全体に呼びかけを行い、地域福祉事業を展開した。	従来の福祉委員会の区域割りに基づく活動が多く、小学校区単位の取り組みの割合は少ない。 今後は、福祉委員会等の既存の活動の中でも市民活動団体との連携を推進していく事ができれば、更なる広がりが生まれるものとする。	○	○	○				
②安心して暮らせる安全なまち	八尾小学校区では、「八尾小学校区防災訓練」をはじめとする自主防災訓練が開催されており、「八尾小校区市民スポーツ祭」では、水消火器による消火訓練を取り入れるなど、防災訓練につながる競技が行われています。 また、子どもたちの安全確保と地域の防犯を目的に「はちどりパトロール」が実施されるなど、校区をあげて防犯・防災の活動を展開しています。 地域と協力・連携し、誰もが安心して暮らせる安全なまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			まちづくり協議会の主催により防災士を講師に招いて防災講演会を実施したり、防災訓練を実施し、まちづくり協議会のPR活動やつどいを通じて団体紹介を行う中で、PTA協議会や校区内の様々な市民活動団体との連携に協力した。	・防災 ・地域のまちづくり	毎年防犯カメラを設置し、延べ20台余りのカメラを設置しました。これにより地域の防犯に貢献しました。 防災訓練を毎年実施し地域の防災対応力の向上に努めました。 防災士を招いてPTA協議会と協力し防災意識の向上に努めました。	安全で安心なまちを目指します。 みんなでまちづくりを進めます。
		2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○				
		40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理につとめます。	警察・学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						
③子どもたちが健やかに育つまち	八尾小学校区では、「放課後子ども教室」、「納涼のタベ」および「校庭キャンプ」など、地域ぐるみで子どもたちを育む活動が行われています。 今後、少子化が進む中、小・中学校を卒業後も地域と関わる機会をつくり、世代がつながるよう、さらなる取り組みが必要です。 学校・家庭・地域と協力・連携し、子どもたちが健やかに育つまち、のびのびと遊べるまち、笑顔があふれるまちをめざします。	19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。				まちづくり協議会の活動の中で各地区の福祉委員会があまり手がけていないような活動を行う際に、さまざまな団体どうしの連携をはかりました。具体的には、未就学の児童の子育て交流会などのイベントを開催する際に市民活動団体と地域活動団体の連携を中間支援組織である「つどい」と協力し行いました。	・子育て ・地域のまちづくり	未就学の子供と親を対象に子育て交流会「子育て応援隊」を開催しました。また、交流会の中では育児相談や食育相談も行いました。	子供たちの笑顔いっぱいのまちを目指します。 あいさつが行きかうまちを目指します。
		22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				

八尾小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括						地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点			
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身に対して			地域拠点に関して	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							施策担当課自身に対して	地域拠点に関して	まち協に関して						
④住み慣れた地域で誰もが暮らしやすいまち	八尾小学校区では、「ふれあい食事サービス」、「いきいきサロン」および「世代間交流事業」などの活動が展開され、高齢者への見守り・声掛けなどが地域ぐるみで行われており、多くの方々が集まる地域行事では、「車いすの使用体験」なども実施されています。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○		○	○	三つの福祉委員会がそれぞれの地域で展開している地域福祉事業について、様々な取材を行い、地域活動応援ブログを通じて情報発信を行いました。 本庁内の各課の事業について地域拠点からの情報発信はチラシの配下程度しか行っていないです。	・地域のまちづくり ・健康づくり ・その他(情報発信)			
	今後、高齢化が進む中、高齢者自身がさまざまな活動や行事に参加するとともに、地域での福祉活動を通じた支えあいが必要となります。	13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○		○	○					
	地域と協力・連携し、住み慣れた地域で誰もが健康で暮らしやすいまちをめざします。	14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	高齢者が自らの生きがいを見い出し、社会参加を図ることができるように、生きがいづくりの支援および情報の提供などにより、地域で活躍する高齢者の活動を支援します。 地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	高齢クラブと連携した地区敬老祝寿事業を実施し、地域で活躍する高齢者の活動の支援を行った。 「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。	高齢クラブの加入率は減少傾向にあり、加入率向上に向けた取り組みが必要である。 より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。	○		○	○					
⑤きれいでうるおいのあるまち	八尾小学校区には、「本町第二公園」、「桜ヶ丘公園」、「安中第一公園」および「光南公園」など、大小さまざまな公園・児童遊園等が存在し、憩いの場を提供しています。 また、校区内には、「長瀬川」、「成法せせらぎの小径」といった水辺環境があります。 このような公園・河川・道路等を美しく保ち、誰もが気持ちよく生活できるよう、地域と協力・連携し、きれいでうるおいのあるまちをめざします。	41	公園とまちの緑化による緑のある暮らし	公園や緑地を適正に管理し、安全に憩える空間を維持します。	公園の清掃や花苗の植え付け等の美化活動を地域で行っていただくため、制度のPRに努めました。	ボランティア団体の高齢化により、後継者の発掘が課題です。 【1人あたり公園面積】八尾市全体:2.89㎡/人 八尾小学校区:1.15㎡/人	○				本庁内の各課の事業について地域拠点からの情報発信はチラシの配下程度しか行っていないです。	・地域のまちづくり ・生涯学習			
		44	きれいなまち八尾の実現	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを促進します。	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを支援しました。	地域での清掃活動をより活発になるような取り組みを考察する必要があります。	○			○					
		47	治水対策と環境を意識した水環境の形成	水辺環境の向上をめざし、水辺環境施設の活用と維持管理に努めます。	成法せせらぎの小径を活用し、八尾小学校理科科学クラブの児童を対象に生息動物の調査や水質検査等の環境学習を実施しました。	成法せせらぎの小径は整備後20年を超える箇所もあり、施設の更新を図りつつ、環境学習等の活用を継続して実施していく必要があります。	○								
⑥豊富な地域資源を活かした魅力あふれるまち	八尾小学校区は、旧大和川の自然堤防上に長くつながった村々である長八尾、八尾庄と呼ばれた地域で、大信寺を中心とした寺内町が形成されるなど、歴史資源が豊富です。 また、この地で生まれた「流し節正調河内音頭」は、今も地域の方々によって唄われ、踊り継がれています。 一方、買い物や娯楽など、市民生活の中心的役割を果たしてきた商店街は、駅の移転により人の流れが変わり、にぎわいが失われていますが、身近なところで買い物ができ、人と人のふれあいがある環境は、地域にとって貴重な財産といえます。 豊富な地域資源を活かし、地域・事業者と協力・連携して、誰もが暮らしやすく、訪れやすい魅力あふれるまちをめざします。	25	八尾の魅力発見と発信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。 河内音頭の実演	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80”映画祭」に取り入れました。 河内音頭の実演	地域に特化した魅力再発見・発掘の実施を行い、「八尾探」コースの設定及び提供を行うことで、各地域の魅力を認識していただき、地域の魅力を向上する必要があります。 地域を誇いだストーリーを見出し、より楽しんで頂けるプログラムの検討を実施します。	○				商店街の催しである、チビチカーニバルの取材を行い地域活動応援ブログ上に掲載することによって情報発信した。	その他(情報発信)			
		34	地域に根ざし、貢献する商業の育成と振興	商業団体と多様なまちづくり活動主体の連携の促進などを行います。	八尾市商業協同組合の事業において、地域の学校園との連携による事業実施が行われています。	商店街エリアに限らず、近鉄八尾エリアとしての賑わい創出。	○								

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							に対して	て					
①子どもたちを地域ぐるみで見守り育てるまち	安中小学校区では、地域で子どもを見守り育む取り組みが熱心に行われており、登下校の見守りなど日々の活動や、校庭キャンプ、子ども会1日体験といった子どもたちが参加できる行事など地域と学校が協力して数多くの活動を行っています。しかし、小学校区内にはJR八尾駅があり、車、自転車の交通量が多く、子どもがのびのびと遊ぶことのできる場所の確保が課題となっています。	19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場を提供したほか、プレママ・親子相談・交流事業の利用が多いため、部屋を増やしたり年齢を分けて対応できるようにした。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。				コミセン主催事業として、小学生を対象の「夏休み子ども講座」(H29年度は360人受講)を開催し、多くの子どもに体験と学びの場を提供しました。 また、コミセン主催事業として、「まめっこおはなし会(月2回)」 「人形劇とおはなし会」を実施し、子どもが絵本などに触れる機会を作ることができました。さらに、「食育講座」「ファーストサイン教室」「ベビースキケア講座」「こそだてえいご講座」を開催し、講座の内容を学ぶだけでなく、子育ての情報共有や保護者の横のつながりを作る機会となりました。 その他、長期休暇期間の学習室の開放を行い、学習の場として子どもの居場所づくりに寄与しました。 「子育て支援はとぼっぽ安中」はスタッフの不足及び来所者の減少が課題でしたが、保育士資格のある方を紹介し、内容を工夫するとともに、地域内でチラシを回覧するなど周知にも工夫し、順調に運営できるよう支援を行いました。	子育て地域のまちづくり	こどもわくわく体験として、「校庭キャンプ」「秋の体験学習」を開催。テントの張り方、炊き出し訓練、竹を使った工作などを行い、子どもたちが災害時でも役立つ活動を体験した。保護者等も地域の子どもを見守り、子どもが地域活動に参加しやすい環境を考えることができた。	①地域ぐるみで見守り育てるまち
	現在の活発な取り組みをはじめ、子どもの健やかな成長の支援、保護者の支援を継続し、子育て世代が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを進め、地域と行政が連携して、子どもたちを地域ぐるみで見守り育てるまちをめざします。	22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。						子ども会1日体験では、子ども会活動(ダンス・綱引き)を体験することで、子ども会への加入促進の啓発活動にもなった。	
②住み慣れた地域で誰もが健康で暮らしやすいまち	安中小学校区では、一人暮らしの高齢者を対象とした昼食会など地域ぐるみで高齢者を見守る活動とともに、校区集会所でのふれあい喫茶、元気な仲間の敬老会など高齢者が集う場も多くあります。また、小学校校庭を活用したグラウンドゴルフ大会やいきいき体操教室など健康づくりに対する活動も活発に行っています。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。				コミセン内において「あなたのまちの健康相談」を行い、乳児から高齢者までの健康相談の場として定着しました。 コミセン主催事業として「医療講座」(計8回)を開催し、専門家からの講義を受けると共に、健康課題への提起の場として定着しました。 コミセン主催事業として、「ノルディックウォーキング講座」「ヘルシークッキング講座」「グラウンドゴルフ大会」「ラジオ体操」「オトナ女子講座」を開催し、様々な年代の住民に健康づくりの場を提供しました。その他、「健康まつり」も開催し、大阪府大と歯科医師会、薬剤師会等協力のもと、SATや計測など健康課題を見つける場として、また幼児へのフッソ塗布など実施し、保護者に対する意識づけの機会とすることができました。	地域のまちづくり健康づくり	地域の方が気軽に立ち寄れる場所としてふれあい喫茶を開催。閉じこもり防止、居場所づくりの一助となった。 いきいき体操教室では、3日体操を行い、高齢者の筋力アップ、体力アップなど、健康づくりに貢献した。	②高齢者や障がいのある人を支える住みよい活気のあるまち
	しかし、高齢社会を迎える中、健康への関心を深め、地域ぐるみで支えあうための裾野を広げていく活動が重要です。今後も校区担当の地域包括支援センターと連携を取り、高齢者や障がいのある人に関心を持つ人が増えるよう、互いに支えていく取り組みを進め、住み慣れた地域で誰もが健康で暮らしやすいまちをめざします。	13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組めます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。				龍華図書館とコミセンの共催事業としてヒアリンググループを活用した「バリアフリー上映会」を実施し、身近な施設で障がいのある人も高齢者も健常者も一緒に映画を楽しめる機会を提供できました。 「龍華みんなの広場」と題し、校区高齢者あんしんセンター協力を得て、管内のグループホームによる入居者の作品展や日中系の障がい事業所の利用者による作品展等を開催し、各事業所や認知症、障がいのある人への理解を深め、情報発信の場を提供できました。 平成29年度から校区高齢者あんしんセンターの担当が変更となったため、自治振興委員会を始め、各種団体への顔つなぎ、まち協イベントへの参加支援を行い、校区内への周知への一助となりました。			
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組めます。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 災害時に備えた平時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。							
		16	障がいのある人の自立支援	市民の障がい者(児)に対する理解や交流を深めるべく、障がいに対する教育啓発活動の充実及び交流の促進に取り組めます。	安中小学校にて八尾市障がい児者問題協議会主催の夏のタベを開催し、障がい者理解や地域交流に取り組んでいる。	夏のタベの参加者が増加するよう、啓発強化が求められる。							

【行政】地域別計画のふりかえり

安中小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性	施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
						に対して						
③みんなで作る安全安心のまち	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			「コミセン主催事業として「防災講演会」「防災講習会」を開催し、専門家からの講習を受ける機会を提供しました。 八尾警察署と地域安全センターの連携についてサポートを行い、地域の安全、防犯力の向上に寄与しました。 まち協での活動(防犯講習会、子ども交通安全教室、防災訓練等)において、地域と警察及び消防署、市関係課との連携に助力しました。	地域のまちづくり 防災 生涯学習	子ども交通安全教室を開催。小学生に限らず、幼稚園児から高齢者を対象とし、交通ルールの講習、自転車の乗り方講習を行い、交通安全の向上につながった。 自転車による校区内の見守りパトロールを実施し、下校する児童の見守り、公園等の危険箇所の確認とう、地域の安全力の向上に貢献した。 新1年生に反射板付きランドセルカバーを配布。交通事故から児童を守る一助となった。 防犯講習会を開催。特殊詐欺の実態を学習する機会となった。 防犯カメラの設置、管理を行い、地域の防犯力の向上に貢献した。 防災訓練、防災倉庫の設置、防災備品の整備を実施。災害時の対応、災害について考える機会となり、防災力の向上につながった。	③みんなで作る安全・安心のまち
			災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組めます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○				
			警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組めます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○				
			通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理につとめます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						
④お互いに笑顔でふれあうまち	44	きれいなまち八尾の実現	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを促進します。	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを支援しました。	地域での清掃活動をより活発になるような取り組みを考察する必要があります。	○		○	コミセン主催の特別講座やイベントを多数開催し、学習する場としてだけでなく、コミュニティ醸成の場として提供することができました。 コミセンや校区集会所を利用している団体の活動やその他地域活動に参加することにより、地域の人材発掘につながりました。 図書館とコミセンの共催事業による八尾高書道部のパフォーマンスやコミセン主催のクリスマスコンサートでは、地域で活動しているグループの発表の場として、次の活動へつながるものとなり、芸術に触れる機会とすることができました。	地域のまちづくり 生涯学習	地域一斉清掃、美化マナーの啓発看板の配布、集会所周りの花の管理、植替えを行い、地域の美化活動の意識向上に貢献した。	④お互いに笑顔でふれあうまち
			地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	地域の各団体の活動を把握し、それぞれの活動に応じた支援を行った。	地域活動に参加する人材の固定化が懸念されており、新たな人材の発掘、活動への参加促進を支援していく必要がある。	○	○	○				
⑤きずなで広げる地域の輪	55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	地域活動にボランティアとしての参加者が、事業に主体的に継続性をもって関わることへの支援ができた。	地域活動においては、輪を広げることが難しい部分もあるが、事業によっては、市民活動団体等との協働も可能であると思われる。	○	○	○	広報紙「まちづくり通信」の作成、配布のサポートを行い、定期発行を支援しました。 校区全体の世代間交流促進のイベントである安中フェスタの実行委員会に主体的に参加し、子ども会OBやスポーツ団体等まち協の構成団体に限らず、主催者として活躍している若い世代が協力していることを知り、今後の担い手となりうる人材への支援を考える機会となりました。	地域のまちづくり	広報紙「まちづくり通信」を年3回発行し、まちづくり協議会の活動を広く周知、地域活動に興味を持ってもらう機会となった。 地域のふれあいまつり「安中フェスタ」を開催、子どもから大人まで多くの来場者があり、世代間交流の場なった。また実行委員として関わる人、団体も増え、地域滑動の新たな担い手も増えている。 みそづくり講習の開催により、食べ物大切さを知ると同時に歴史の伝承の機会となった。	⑤「きずな」で広げる地域の輪

【行政】地域別計画のふりかえり

南高安小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点																															
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標																														
						に対して	地域拠点に関して	まち協に関して																																		
①地域で健康づくりに取り組むまち	南高安地域では、地域住民が主体となって結成された成人病予防会が中心となり、大阪がん循環器病予防センターや大阪大学との連携により、地域住民のための健康診査が長年にわたり実施されています。成人病予防会は、健診以外にも地域で健康づくりに関する取り組みも行い、脳卒中の発生率減少など生活習慣病予防において成果を上げています。また、八尾市全域と比較しても全体の医療費を抑えることができており、これらの活動は地域コミュニティの醸成にも大きく貢献しています。 健診においては受診者数の減少がみられることから、若い世代への受診の働きかけや協力が求められています。これからも地域と行政が連携、協力しながら、健康づくりに取り組むまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。 地域住民が健康課題に早期に気づき対応できるよう、検診の受診意識を高め、受診率の向上を図ります。 地域住民の健康課題の早期発見と対応ができるよう、健康リスクが高い地域住民に健康教育および健康相談や生活習慣改善のための訪問指導を行います。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	身近な地域（出張所等）を拠点としながら、地区組織や関係機関と連携・協働し、地域の特性に応じた地域住民の健康コミュニティづくりに取り組み、地域により近い出張所等への保健師配置による効果、保健師の役割と意義等が明らかになりました。	・健康づくり	医療関係者による健康維持・促進に関する研修会の実施や、南高安地区成人病予防会主催の住民健診では、校区まちづくり協議会として青色パトロール車による受診を促す広報を行うなど、地域の団体と共に疾病予防と健康づくりの推進に取り組むことにより、健康に関する意識の向上と、参加者自身の健康維持について興味を持ってもらうことができました。	地域で健康づくりに取り組むまちをめざします																													
②地域で交流のある心のふれあうまち	南高安小学校区内には坂道が多く、公共交通が通っていない地域も多く、高齢化が進むと、買い物や通院などの日常生活に不便さもあいまって、引きこもりがちになる人が増加する恐れがあります。高齢者の身近な総合相談窓口として地域包括支援センターの役割は重要です。南高安小学校区では、校区まちづくり協議会や地区福祉委員会など各種団体の地域活動が活発に行われていますが、地域活動が継続されるためには、多くの世代が参画し、地域でのつながりを深めていくことが何よりも大切となります。これからも地域と行政が連携、協力しながら、高齢者をはじめとした地域住民が日常生活上の不便を感じることなく、地域で交流のある心のふれあうまちをめざします。	13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組めます。 （社福）八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。 また、避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域にお渡ししており、平常時の見守り活動等に活用されている。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みのほか、避難行動要配慮者を意識した地域活動のより一層の充実が課題である。	○	○	○	世代間交流活動として、地区内農園の農作業に参加したり、敬老祝寿式の開催に関する支援を行うことにより、高齢者から子どもまでの交流や住民の心のふれあい、地域の中での顔の見える関係づくりに寄与することができました。また、拠点職員が取り組みに参加することで、地域の方との顔の見える関係づくりの推進にもつながりました。 H30年度においては、小学校と高校の連携を推進し、夏休み期間中のプール指導や学習支援に高校生ボランティアが参加するための調整を行い、小学生と高校生の交流や高校生の社会経験の場を提供することにより、高校生から「貴重な経験であった」との感想をもらうなど、参加者が成長する機会となりました。	・地域のまちづくり ・子育て ・相談	世代間交流活動として、地区内農園の農作業や敬老祝寿式の開催により、高齢者から子どもまでの交流を深め、住民の心のふれあいをおこなうことができました。 情報発信においては 協議会や構成団体などの活動情報などの「まちづくり通信（そよかせ通信）」等を発行し、地域住民へ回覧することにより、地域に対して運営状況の周知を図ることができました。 地域の団体との連携については、住民講演会を地区福祉委員会との共催で行うなど、身近な話題や郷土などを題材に講演会を開催することにより、知識の習得や住民交流の必要性についての周知を図ることができました。	地域で交流のある、心のふれあうまちをめざします																														
													14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組めます。 「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域に提供しており、平常時の見守り活動等に活用されている。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続した取り組みが必要である。	○	○	○																							
																							42	公共交通網の充実	地域と行政が交通について考える取り組みを進め、地域の交通利便性を向上させる移動手段などの具体化、持続性の向上をめざします。	交通問題の共有をはかるだけでなく、交通まちづくりの輪をひろげ、地域版まちづくり懇話会の開催につなげていく必要があります。	○	○	○													
																																	54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	地域拠点のレイアウト変更により、初期相談機能を担う体制を整えることができた。	○	○	○			
③子どもの笑顔があふれる若い力を育てるまち	南高安小学校区では、「南高ひろば」、「南高安地区こどもまつり」、「夜店祭」など、地域ぐるみで子どもたちが集まって一緒に楽しんだり学んだりすることができる地域活動や、防犯パトロールによる青少年の非行防止への取り組みなどが行われています。また、地域全体を対象とした南高安地区こども会が立ち上げられ、活発に活動が行われています。乳幼児と保護者が気軽に交流できるつどいの広場も設置・運営されています。 地域の活動が継続されるためには、担い手の確保が大切となります。これからも地域と行政が連携、協力しながら、南高安の未来を担う子どもの笑顔があふれる若い力を育てるまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。 地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			まち協が実施する夜店祭（8月）、焼き芋祭（12月）子どもまつり（2月）などのこどもが参加するイベント活動について、運営に係る支援を行いながら参加することにより、子どもたちが交流できる場所の提供に寄与しました。子どもたちの交流の場への参加することにより、拠点職員の認知度の向上につながりました。	・地域のまちづくり ・子育て	子ども達の笑顔があふれる取り組みとして、8月に夜店祭、12月に焼き芋祭、2月にこどもまつり等のイベント活動を企画し開催することにより、地域の子どもの交流を図ることができるとともに、子どもの笑顔や若い力が成長する一助となり、若者世代の育成につながりました。	子どもの笑顔があふれる若い力を育てるまちをめざします																													
														19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場を提供したほか、近くに親子で出かける場所が少ないことから、年1回集会所での遊び会を実施した。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。	○	○	○																						
																								22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	○	○	○												

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括						地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点					
まちづくりの方向性				施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身に対して			地域拠点に関して	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
									施策担当課自身に対して	地域拠点に関して	まち協に関して						
①活気があふれる元気なまち	高安中学校区は、坂道が多く公共交通が通っていない地域も多く、さらに、公共施設や商業施設が少ない地域です。 今後、高齢化が進むと買い物や通院などの日常生活に不便を感じる人や、引きこもりがちになる人が増加する恐れがあります。また、学校跡地などの公有財産が増えてきており、これら地域資源の有効活用を図ることが必要です。 市では、身近なところでのさまざまな相談や、地域活動への支援を行っており、高齢者をはじめとした地域住民が、日常生活上の不安を感じる事が少なく、健康でいくつになっても誰もが住み続けたい、活気があふれる元気なまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	・健康まちづくり宣言の策定にあたり地域住民との意見交換会を開催し、健康講座としてノルディックウォーク講座や、八尾市立屋内プール「しぶき」の協力を得て、血管健康度測定及び転倒予防体操を実施するなど、地域住民の継続的な健康増進の取り組みを進めました。	相談 地域のまちづくり健康づくり 防災 生涯学習 その他	・「あなたのまちの健康相談」を行うとともに、地域と協働で「たかやす健康まつり」や、各地区集会所を会場とした「出張型健康相談会」を開催し、地域の健康に対する意識の向上に寄与し、身近な場所での相談ができるという安心感を持ってもらえました。 ・地域や八尾市社会福祉協議会と連携し、高齢者の居場所づくりを目的とした「ふれあい喫茶やまたけ」の立ち上げを支援しました。 ・出張所の機能再編に伴うレイアウト変更を行ったことにより、親切でいねいな窓口対応ができた、また、来所者には常にあいさつを心掛け、顔の見える関係の構築に努めると共に、再訪しやすい環境を作りました。 ・避難行動要支援者名簿のうち、情報提供同意不同意の確認がとれていない方を個別訪問し、実態調査と把握を行いました。 また、地区にリストを提供し活用をしていただくことができました。 ・高安出張所管内施設連絡会の参画施設が講師になり研修会を実施、会員の活動についての広報を行うなどの他、地域の事業にも共同で参画するなど、施設連絡会の活動の充実と連携を図りました。 ・服部川・郡川地区まちづくり勉強会や総会に参加し地区の活動を把握することに努めました。	地域資源（学校跡地など）を有効利用し、魅力あるまちづくりを地域で検討していくため跡地活用検討部会を設置しました。 地区全体に跡地活用アンケート調査を実施し、回答集約・分析・方向性をまとめました。 学校跡地を活用し、まちづくり活性化の一貫として地域の交流活動を実施しました。 まちづくり協議会の活動内容を「やまんねき通信」（まち協ニュース）で地域全体に情報発信したことで、まちづくり協議会の認知度向上を図ることができました。	①活気があふれる元気なまち			
				13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組めます。	（社福）八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○					○		
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組めます。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域に提供しており、平常時の見守り活動等に活用されている。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○								
				37	土地の有効利用と都市景観の保全	地域の実情に応じた土地利用の推進に取り組めます。	保留区域である服部川・郡川地区のまちづくり勉強会は、事業化検討パートナーとまちづくりの検討を進め、郡川地区において土地区画整理準備組合が設立されました。	土地区画管理組合への支援。	○								
		42	公共交通網の充実	地域と行政が交通について考える取り組みを進め、地域の交通利便性を向上させる移動手段などの具体化、持続性の向上をめざします。	地域の交通問題の共有を図りました。	交通問題の共有をはかるだけでなく、交通まちづくりの輪をひろげ、地域版まちづくり懇話会の開催につなげていく必要があります。	○	○	○								
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	日常生活に身近な健康や子育てなど気軽に相談できる地域拠点に変わるため、地域拠点職員が地域活動団体の担当を決め、定例会議・地域行事に積極的に出向き参加していくことで、地域活動を支援する体制を充実させた。 地域拠点のレイアウト変更により、初期相談機能を担う体制を整えることができた。	困ったことがあれば気軽に相談できる地域拠点に成長していくには、もっと身近に出張所を感じてもらうよう拠点PRを充実させるとともに、拠点職員もこれまで以上に地域のまちづくり活動に参加し地域とのネットワークを形成していく必要がある。	○	○	○								
				55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	防災や防犯の取り組みにおいて、大学の学生支援ボランティアとの協力・連携を進めることができた。 福祉委員会の支援もあり、地区の呼びかけでふれあい喫茶が開催され、地域福祉事業として展開した。	今後、市民活動団体等と地域が一緒になって地域のまちづくり活動を取り組めるように地域行事の情報発信を充実させ、市民活動団体等と地域の調整を担っていく必要がある。	○	○					○		
②安全・安心で住みよいまち	高安中学校区は、高安山の麓に位置しており、土砂災害の危険箇所が多数存在し、また、生駒断層が南北方向に通っています。さらに、近年では短時間に局地的な大雨が増加する傾向にあります。 この校区では、地域での防災への意識は高く、自主防災協議会が組織され、消防団と連携して毎年防災訓練を行っています。また、各町会単位でも防災訓練や救命講習などが行われています。 市では、土砂災害を想定した総合防災訓練を当校区で実施するなど、防災意識や対応力の向上を図っています。今後も地域と行政が連携し、地域住民の被災予防や対策を含めた自然災害に備えのある、安全・安心で住みよいまちをめざします。	2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組めます。また、土砂災害等の防災についての啓発活動を行います。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。 土砂災害等の防災啓発を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	防災 地域のまちづくり	今後も継続的な防災活動をするべく、まちづくり協議会が中心となり防災訓練を実施しました。高齢化が進んでいる中で、地域内での避難誘導体制の確立が不可欠であることから集団避難を訓練に取り入れました。また緊急時に備え給水施設の見学や災害映画DVD（こども用）の上映も実施したことで幅広い年齢層の方が参加しました。 災害時に備え各地区に災害用備蓄品を支給しました。	②安全・安心で住みよいまち					
				3	災害に強い消防体制づくり	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に努めます。	高安分団北部分隊消防機械器具置場の耐震化を図るため、建替え工事を実施しました。 消防団と自主防災組織などが連携し防災訓練を実施しました。	消防団と自主防災組織などの連携及び継続的な訓練等が必要です。	○				○	○			

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							に対して	地域拠点に関して	まち協に関して				
③美しい自然と歴史のまち	高安中学校区は、自然と農村集落としての里山の風景に恵まれており、国史跡である心合寺山古墳や高安千塚古墳群など数多くの史跡や文化財が残されています。それらを活用すべく、歴史民俗資料館やしおんじやま古墳学習館などの公共施設が設置されています。また、校区内には絶滅危惧種であるニッポンバラタナゴが生息しているため池もあります。さらに、能楽との関わりも深く、校区内にある玉祖神社は「高安流」発祥の地であるとも言われています。	25	八尾の魅力発見と発信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80” 映画祭」に取り入れました。	地域に特化した魅力再発見・発掘の実施を行い、「八尾探」コースの設定及び提供を行うことで、各地域の魅力を認識していただき、地域の魅力を向上する必要があります。	○			・地域とともに農面道路の清掃活動に参加し地区の環境美化に努めるとともに、不法投棄の実態把握に努めました。 ・市外から、休館日を承知せず歴史民俗資料館を訪ねてこられ、出張所に歴史、観光について問い合わせをされる方が少なからずおられますが、その際には「八尾探 八尾高安山史跡散策マップ」や「教育委員会作成の八尾の街道散策マップ」やその他関係機関の資料を用いて高安の魅力発信に努めています。 ・空き家活用、古民家再生をテーマとした先進都市視察研修をコーディネートし、まちづくり協議会の今後の活動につなげました。	相談 地域のまちづくり健康づくり 生涯学習 その他	地元高安で山ねきマルシェを開催したことで、たくさんの方が来られ地域の活性化及び魅力発信につながりました。 昔から高安の里山地域は河内木綿の生産地であったこともあり、木綿の講習会を実施しました。	③美しい自然と歴史のまち
	これらの自然や環境をテーマとする活動も活発に行われており、近年では歴史文化に関するイベントなどの開催や、健康志向を受けてハイキングを楽しむ人が増えています。また、環境保全のために下水道の早期整備が望まれています。				地域を誇いだストーリーを見出し、より楽しんで頂けるプログラムの検討を実施します。								
	市では、文化財の保全や農業の振興など地域の魅力発信に取り組んでおり、地域と行政が連携して、これらの貴重な地域資源を活かした美しい自然と歴史のまちをめざします。	26	自然的資源の保全	ハイキング道の整備、里山保全に向けた取り組みを行います。	高安山清掃ハイキングを実施した。	多くの市民に参加していただくため、広報に努める。	○						
		27	歴史資産などの保全と活用	国史跡に指定された高安千塚古墳群の保全と活用に取り組めます。また、歴史民俗資料館やしおんじやま古墳学習を通じて、地域の歴史を伝えるとともに、史跡や文化財の情報を発信します。	歴史民俗資料館では高安千塚古墳群の特別展示やシンポジウム、新たに史跡となった由義寺跡の連続講座を開催しました。また、しおんじやま古墳学習館では、施設運営の会合に区長も交えて行ったほか、歴史民俗資料館も市民ボランティアと協働して地域に開かれた施設運営を進めました。	それぞれの施設と教育委員会との情報共有をこれまで以上に進めて、市民への情報発信や展示等ができるように取り組む必要があります。	○						
		30	芸術文化の振興	八尾の地域文化の魅力発信に取り組めます。	八尾の地域文化の一つである”高安地域ゆかりの能”を題材に、大学や市民活動動態との連携や魅力発信方法の検証を行うパイロット事業として、連続講座や高安地域の玉祖神社において”高安薪能”等を実施した。また、能楽曲「高安」の復曲に向けて調査研究を行い。平成28年度に300年ぶりとなる披露公演を行った。	高安地域において、地元住民組織等に様々な支援を頂き、ポスター掲示等の協力は得たが今後、地域住民への全体的な拡がりを目指していく取組が必要である。	○		○				
		35	味力をうみだす農業の振興	農産物のブランド化や意欲ある担い手による農地利用を進めるなど農業振興の取り組みを行います。	花卉・花木の生産が盛んな地域で、関連農業団体への支援を行っており、加えてポスター、パンフレット、イベント参加など活性化に資する事業を展開しています。	活性化については、意欲ある担い手の育成が必須であるため、大阪府、JAとともに、帰農者、新規農業者についての情報共有を図りながら事業に取り組むことが課題です。	○						
		41	公園とまちの緑化による緑のある暮らし	公園や緑地を適正に管理し、安全に憩える空間を維持します。	公園の清掃や花苗の植え付け等の美化活動を地域で行っていただくため、制度のPRIに努めました。	ボランティア団体の高齢化により、後継者の発掘が課題です。 【1人あたり公園面積】八尾市全体:2.89㎡/人 高安中学校区:0.82㎡/人	○						
		49	下水道事業の推進	公共下水道の整備を進めます。	公共下水道の整備を進めました。	財源の確保と整備手法の検討が課題です。	○						

後期基本計画の内容					施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							に対して	て					
④子どもの笑顔があふれるまち	高安中学校区では、少子化により学校の小規模化が進んでいます。また、子ども会などの活動も縮小してきています。 地域では中学校区すべての子どもを対象にした行事の開催や、地域と学校が一体となった取り組みが活発に行われています。 市では、施設一体型小・中学校を設置し、教育環境の充実を図るとともに、子育て支援や通学路の安全確保、自然豊かな環境を活かした取り組みなどを行い、地域ぐるみで子どもの笑顔があふれるまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			・「山手地区合同点検」として、地域や都市整備部とともにまちあるきを行い、通学路を含む生活道路について安全点検を実施しました。 ・夏休みに学習室の開放を実施しこどもの居場所づくりを行いました。 ・ジョギング＆ウォーキングの隊員募集を行いました。 ・たかやす健康まつり開催時につどいの広場と協働でこども向けコーナーを設置し、つどいの広場事業と地域拠点がこどもの集うことのできる場所であることをPRできました。	相談 地域のまちづくり 子育て その他	・高安地区内で希望場所を集い、通学路など防犯上カメラが必要な場所を決め設置しました。	④子どもの笑顔があふれるまち
				5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○				
		19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場を提供したほか、新たな地域で公園であそぼう会を増やした。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。							
		22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたいいため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				
		24	教育機会の均等	通学路の安全確保に努めます。	関係課・関係機関と連携して、通学路の安全対策に取り組みました。	新たに形成される住宅街での安全対策や、既存住宅街での対策の見直しや更新が必要です。	○		○				
		40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理につとめます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施した。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めた。 地域拠点と連携して地域とともに都市基盤施設の合同点検を実施した。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						

【行政】地域別計画のふりかえり

南山本小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・ 成果	わがまち推進計画の目 標
①誰もがいくつになっても住みたいまち	南山本小学校区では、小学校にある地区集会所(小学校区集会所)を拠点として、地域ぐるみで住民どうしのふれあいや交流などさまざまな活動を行っています。少子高齢化が急速に進む中、住み慣れた身近な地域で、子どもから高齢者まで誰もが健康でいきいきと暮らすことができるよう、今後このような活動のさらなる充実について、地域と連携しながら進めていくことが必要となります。地域住民がより楽しく交流できる場所や機会の提供を増やし、多くの方が楽しんで参加できる行事などを支援していきます。	10 疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着	健康まちづくり宣言の普及促進	○	○	○	あなたまちの健康相談を実施するとともに、南山本高齢クラブや敬老祝寿式での健康啓発活動を実施することで、健康に対する意識の向上に資することができました。またまちづくり協議会主催の各種催しの実施支援を行ないました。その中で、地域と地域拠点職員とのつながりが一層、深まりました。 また、地域の商店街が取り組むの活性化活動の企画会議等に出席し、意見交換や情報発信に努めることにより、多くの市民がイベントに参加するなど、商店街の認知度を向上につなかりました。	健康づくり 地域のまちづくり その他	敬老祝寿式において、出張所及び保健師の協力のもと、健康啓発事業を実施し、健康意識の向上に寄与できました。 また、まちづくり協議会だけでなく自治振興委員会・小中学校のPTAによる小学生の登下校時の見守り活動支援を行ない、安心安全な地域づくりに寄与することができました。 高齢クラブと協力して、地域のふれあい祭りなどに参加協力を行ない、地域のコミュニティづくりに寄与することができました。 まちづくり協議会主催・共催事業に、地域拠点職員参加し、地域のまちづくりに寄与することができました。 まちづくり協議会の役員が商店街で実施するイベントや活性化に関する意見交換等を行ない、商店街の事業実施時の支援に繋がりました。	①誰もがいくつになっても住みたいまち
		13 ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	〈社福〉八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○				
		14 高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	高齢者が自らの生きがいを見出し、社会参加を図ることができるように、生きがいづくりの支援および情報の提供などにより、地域で活躍する高齢者の活動を支援します。	高齢クラブと連携した地区敬老祝寿事業を実施し、地域で活躍する高齢者の活動の支援を行った。	高齢クラブの加入率は減少傾向にあり、加入率向上に向けた取り組みが必要である。	○	○	○				
		54 地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	コミュニティ推進スタッフ及び地域拠点職員の複数人担当制を取ることで、地域活動の支援体制を充実させた。	まちづくり協議会を構成している役員・メンバーの変化が乏しく、また新しい担い手不足のため、旧来の取り組み継続が主である。時代の流れや地域の状況に応じて柔軟な取り組みが地域で行われるよう、どう支援していけるかが課題である。	○	○	○				
		55 市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	大阪府の地域連携型商機能強化モデル創出事業に関連し、商店街と地域の民生委員・まちづくり協議会等と共働して、地域の活性化するようなイベントを展開した。	大阪府の事業として行われた取り組みであるが、今後商店街と地域各種団体が地域の発展のために継続して行われるように、如何に支援していけるか検討が必要である。	○	○	○				
②子どもたちを地域ぐるみで育むまち	南山本小学校区では、長年にわたり、子どもたちと地域住民とのふれあいの場づくりとして、地域ボランティアによる「わくわくプラザ」や登下校時の見守り活動など、地域ぐるみで子どもたちを育む活動を行っています。また、地域での世代間交流の推進や、子どもたちが安全で安心して過ごせる場の確保など、子どもたちの健全育成のための取り組みを地域と行政が連携して進め、未来を担う子どもたちが健やかに育つまちをめざします。	19 地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識がある。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。				あなたのまちの健康相談・出張所の赤ちゃんの家認定・民生委員のはとぼっぼ事業支援・学習支援事業への協力により、地域の子どもへの支援体制を充実させ、乳幼児から中学生までの健全育成に役立つことができました。	子育て その他	子ども達が地域に愛着を持ち、また自分たちの力で何かをやり遂げることの大切さを学んでもらうために、ふれあい祭りや校庭キャンプなどを実施しました。	②子どもたちを地域ぐるみで育むまち
		22 次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたいため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				
③みんなの安全と安心を自らつくり守るまち	南山本小学校区では、日々誰もが安心して生活できるように、犯罪や事故から身を守るための啓発を行い、防犯活動やいつ起こるか分からない災害への備えに向けて、自主防災組織の活動を充実させ、地域での防災体制の整備や地域と行政との情報共有に向けた検討を進め、誰もがいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。 犯罪抑止のための防犯カメラの設置、また犯罪を未然に防ぐだけでなく、防犯意識の向上を啓発するため、青色防犯パトロールや自転車で地区を巡回しています。さらに、南山本小学校児童の登下校の際、保護者や多くの地域住民の協力のもと声かけ運動を行い、地域全体で児童を犯罪や事故から守っています。	1 安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			まちづくり協議会が取り組んでいる防犯カメラの設置支援、地域から防犯灯やカーブミラーの不具合、その他各種相談に対して担当課と協力して地域の安心安全なまちづくりに寄与することができました。 所属長が主体となり、出張所全体での防災マニュアルの策定を行ない、災害時の対応力向上につなげる事ができました。 地域からの相談や地域巡回中に発見した不具合を担当課に連絡し、安全で健全な環境保全に寄与することができました。	防災 その他	小学校区内に18台(H29年度)の防犯カメラを設置し、地域の防犯対策の充実を行っています。 また、登下校時の児童の見守り活動や青色防犯パトロールを、長期休暇時を除く平日ほぼ毎日実施しているが、その活動支援として、帽子やジャケット等を購入しました。さらに、防犯意識の高揚のため、防犯のぼりの設置や小学生低学年に対して防災頭巾を貸与するなどして、子ども達や地域の方が安心して暮らしていける環境づくりに寄与しました。 防災訓練の一環として、校庭キャンプを実施することで、子どもたちの防災意識づくりに寄与しました。	③みんなの安全と安心を自ら守るまち
		2 安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○				
		40 生活道路の整備と維持	土木施設の適切な維持管理を行い、安全で健全な環境保全に努めます。	日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めた。	限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						
④近鉄山本駅周辺を誰もが安心して利用できるにぎわいのあるまち	南山本小学校区では、近鉄河内山本駅があり、駅南側には商店街やスーパーなどが立ち並び絶えず多くの人々の往来があります。 特に、駅の踏切周辺では自動車、自転車、歩行者などが一度に通行し大変な混雑になったり、放置自転車などにより道が塞がれるなど、おもに高齢者、障がい者および子どもなどの通行の妨げになっています。このような課題を解消するため、行政などの各関係機関と地域が連携して誰もが安全に利用できるよう取り組みを進めていきます。	5 交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○	交番の警察官と協力し、自治振の定例会及びまちづくり協議会定例会において情報共有する機会を設け、地域の防犯意識の向上につなげる事ができました。	その他	警察と連携し、住民懇談会時に啓発活動を依頼したり、青色防犯パトロールを警察と共同実施するなどして、地域の防犯意識の向上や安心安全なまちづくりに寄与できるよう継続して検討を進めました。 近鉄河内山本駅周辺の踏み切り問題について随時関係各所と協力していく。	③みんなの安全と安心を自ら守るまち
		6 市民一人ひとりの適切な自転車利用の促進	駅周辺において安全に通行人の通行空間を確保するため、放置自転車の移動保管活動を行うとともに、啓発活動に取り組みます。	放置自転車の移動保管活動の減少につながりました。								
		38 魅力ある都市核などの充実	市民生活の安全性向上のため、交通結節点である近鉄河内山本駅周辺の整備に取り組みます。	特に大きな地域課題となっている狭小な踏切歩道部について、安全で快適な通行を確保する事を優先的に進めるため、近畿日本鉄道(株)を含めた関係機関との協議を進めました。また、調査や測量・設計業務を実施しました。	玉串川や桜並木等、地域資源が豊かな近鉄河内山本駅周辺は、地域生活拠点となる副次核であることから、今後も関係機関と引き続き連携し、駅周辺を核とした交通結節点機能等の充実を図ることで、市民生活の安全性、利便性の向上を図る必要があります。	○						

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点			
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身に 対して	地域拠点に関して	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協等)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標	
①子どもたちが健やかに育ちくつになっても明るく暮らせるまち	高安西小学校区では、放課後子ども教室の行事など、地域ぐるみで子どもたちを育む活動を活発に行っています。また、大阪府、八尾警察署などの各関係機関と地域が一体となり、地域内で防犯活動に取り組む拠点として、高安西小学校に「高安西地区地域安全センター」を設置しており、青色防犯パトロールや登下校時の見守り活動などを行っています。安全で安心な子どもの居場所づくり、夜間の安全確保のための防犯灯整備やパトロール強化などが求められる中、今後も地域と行政が連携して、子どもたちの健全育成の取り組みを進め、未来を担う子どもたちが健やかに育つまちをめざすとともに、地域での防犯活動が有機的に機能する安全安心のまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			地域が行う青色防犯パトロール・夏季の自転車見守り活動・歳末夜警・日々の登校時の見守り活動への支援を行い、地域の安心安全・防犯意識の向上に寄与することができました。 また、「あなたのまちの健康相談」や「はとぼっぼ」等の活動について支援を行い、地域の子育て交流の機会提供・相談を受けることで子育て環境の向上に寄与できました。 また住民懇談会の開催について、情報発信及び課題の解決支援として、関係各所との情報共有を行い地域の課題解決に寄与できました。 加えて、恩智川沿いの通学路についての危険性やカーブミラーの不具合などについて、関係各部署と情報交換を行い、危険個所の改善などに寄与できました。	健康づくり その他	防犯カメラの設置を進め、地域の防犯力の向上に寄与しました。 また登校時の見守り活動・青色防犯パトロールや安全啓発ノボリの設置など支援を行い、地域の防犯・安心安全なまちづくりに寄与することができました。	①人にやさしいまちづくり ②安心安全なまちづくり	
		19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。								
		22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたため、各活動に協力していただける人材の確保に課題があると認識している。	○	○	○					
		40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施した。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めた。 地域拠点と連携して地域とともに都市基盤施設の合同点検を実施した。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○							
②明るく暮らせる安心安全なまち	高安西小学校区では、人にやさしい安心安全なまちづくりをめざし、子どもから大人、高齢者まですべての人々が交流し楽しく健康でいきいきと暮らせるまちづくりを推進します。 活動としては、一人暮らし高齢者の方を対象に、いきいきサロン会やふれあい食事会を行い、長寿をお祝いする敬老祝寿式を開催し、高齢者の方との交流を深めています。世代を超えた交流としては、納涼祭や市民スポーツ祭など地域住民の方々は楽しみながら親睦を深めています。また、防犯カメラの設置による犯罪抑止や、自転車による防犯パトロールなどの防犯活動を行っており、いつ起こるかかわからない災害に備え、高安西地区自主防災組織により防災訓練や防災マップ、マニュアルの作成による啓発活動など、地域住民の安全と安心を確保するため、行政や各関係機関と地域住民の方の連携のもと、活動を続けていきます。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			地域の防犯力や防犯意識の向上のため、防犯カメラや啓発ノボリを設置しました。また、防犯パトロール活動へのジャンパー等の支給を行いました。地域の防犯啓発と防犯力の向上に寄与できました。 また消防署の協力のもと、自主防災訓練実施の支援を行い、万が一の災害時へ対応について地域と共に学ぶことができました。	地域のまちづくり 健康づくり 防災 その他	青色防犯パトロールや夏季休暇時の自転車パトロール、防犯カメラの設置などの活動を通じて、地域の防犯力の向上に寄与しました。 消防署及び出張所と協力して、地域の自主防災訓練を実施することができ、地域の防災力向上に寄与することができました。 出張所保健師の協力の元、敬老祝寿式において健康啓発活動を実施し、高齢者の健康啓発に寄与することができました。 福祉部局及び出張所の協力の元、災害時要配慮者への対応について検討を行い、マニュアル作成の後、現地の調査を行うなど高齢者の見守り活動意識が高まりました。 地域の高齢者を激励する敬老祝寿式を盛大に実施することができました。また、同時に出張所保健師による健康啓発活動も実施し、高齢者の健康や生きがいづくりに寄与できました。	①人にやさしいまちづくり ②安心安全なまちづくり	
		2	安心を高めた防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組めます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○					
		10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○		敬老祝寿式や健康啓発事業・街角デイハウスにおいて、健康啓発活動を実施し、高齢者の健康づくりの意識啓発を行うほか、敬老祝寿式の実施の支援を行うことにより、高齢者の生きがいづくりに寄与することができました。			
		13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組めます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○		災害時要配慮者の取り組みについて、関係各所と協力して支援を行い、地域の高齢者見守り活動の醸成に寄与できました。			
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	高齢者が自らの生きがいを見い出し、社会参加を図ることができるように、生きがいづくりの支援および情報の提供などにより、地域で活躍する高齢者の活動を支援します。	高齢クラブと連携した地区敬老祝寿事業を実施し、地域で活躍する高齢者の活動を行った。	高齢クラブの加入率は減少傾向にあり、加入率向上に向けた取り組みが必要である。	○	○	○		地域の担当者を複数人体制とすることで、より細やかな地域対応が可能となったが、個々の課題への取り組みについては継続して行っております。 地縁団体だけでなく、地域の施設等との関係づくりを通じて今までにない取り組みが行えるようになり、地域活動の幅が広がる機会の提供ができました。			
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	コミュニティ推進スタッフ及び地域拠点職員の複数人担当制を取ることで、地域活動の支援体制を充実させた。また日々の生活の安心安全の為に見守り活動や青色防犯パトロール支援、防犯カメラの設置支援等を通じて地域の安心安全な生活支援を行った。	日々の見守り活動や青色防犯パトロールの担い手の高齢化や不足問題がある。また、今後増加することが予想される防犯カメラの維持費用をどうするか検討が必要。時代の流れや地域の状況に応じて柔軟な取り組みが地域で行われるよう、どう支援していけるかが課題である。	○	○	○					
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	施設連絡会においてまちづくり協議会と学校園や地域の福祉施設等との交流の場を設けることで、相互の取り組み確認や連携づくりを行った。	交流の場を設けることで、顔見知りの関係を作ることはできたが、今後どのように連携・まちづくりに関わって頂けるかについて検討していく必要がある。また、地域にある事業者との連携等についても検討が必要である。	○	○	○				今までの既存の団体だけでなく、交流のなかった施設と顔見知りの関係になったことで、活動の幅が広がりました。	

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題				拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協等）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							施策担当課自身に対して	地域拠点に関して	まち協に関して				
③近鉄線周辺の交通安全を考えるまち	高安西小学校区は、近鉄大阪線の東側に位置しており、曙川中学校は近鉄線を越えて西側にあることから、この小学校区から中学校へ通学するには、線路を渡る必要があります。朝夕を中心に遮断機が長時間下りていることがあり、近鉄高安駅西側の府道八尾茨木線と大阪外環状線（国道170号）を結ぶ道路が渋滞したり、歩行者が渡りきれないことがあります。近鉄線の高架化には課題が多い状況ですが、放置自転車対策や踏切などの近鉄線周辺における交通安全対策について、地域、関係機関および行政が連携して、取り組みを進めます。	5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すが必要です。	○	○	○	住民懇談会や地域のクリスマス会等の機会を通じて、警察署から職員を派遣頂き、啓発活動に努め、地域の防犯意識の向上に寄与できました。	その他	行政や警察の協力の元、地域の防犯意識の向上に寄与することができました。	②安心安全なまちづくり
		6	市民一人ひとりの適切な自転車利用の促進	駅周辺において安全に通行できる空間を確保するため、放置自転車の移動保管活動を行うとともに、啓発活動に取り組みます。	放置自転車の移動保管啓発活動に取り組み放置自転車の減少につながった。	特になし。				また関係部署と協働して、課題解決に向けて支援を行い、駅前周辺の交通環境改善に寄与することができました。			
④恩智川のある快適で暮らしやすいまち	高安西小学校区には、一級河川恩智川が流れています。地域では美化活動などを行っており、川沿いの道路は犬の散歩やウォーキングに適しています。今後も住民にとって身近な水辺空間になるよう、恩智川の環境を守っていく必要があります。川沿いを安全に歩けるように防犯灯の設置促進などの防犯対策や安全対策に取り組み、快適で暮らしやすいまちをめざします。	43	快適な生活環境づくり	市民、事業者とのパートナーシップにより、環境問題への取り組みを進め、生活環境の保全を図ります。	市民、事業者への啓発等を行い、環境問題への取り組みを進め、生活環境の保全を図りました。	市民、事業者とのパートナーシップにより、環境問題への取り組みを進め、更なる生活環境の保全を図る必要があります。	○		○	まち協・大阪府が協力し、恩智川の清掃や環境美化活動の支援を行いました。また、環境美化啓発ノボリの作成支援も行い、プロムナード活動を通じて恩智川周辺の環境美化に寄与することができました。	地域のまちづくり	出張所・大阪府の協力のもと、地域の資源である恩智川こいのぼり形容を行うなど美化や魅力発信を行う事が出来、地域の資源である恩智川のクリーンアップの実施とともに地域への愛着の高まりにも寄与できました。	③クリーンなまちづくり ④恩智川プロムナードづくり
		44	きれいなまち八尾の実現	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを促進します。	地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを支援しました。	地域での清掃活動をより活発になるような取り組みを考察する必要があります。	○		○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身に対して	地域拠点に関して	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協等）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
①誰もがいくつになっても健康に暮らせるまち	志紀小学校区では、志紀コミュニティセンターを利用して、健康づくりに関するさまざまな活動が行われています。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	健康相談について、コミセン内において「あなたのまちの健康相談」を行うとともに、地域の集会所に向いて、健康体操の普及と併せて健康相談を行うことにより、地域の住民から身近な場所で相談を聞いてもらえるという安心感を感じてもらうことができました。	・相談 ・健康づくり	健康づくりのため、気軽にポールウォーキングの取り組みに参加できるように支援を行った。また、自らが健康について考える事を目的とした「健康まつり」を実施し、健康づくりに寄与しました。	①誰もがいくつになっても健康に暮らせるまち
	この小学校区での活動で、市と地域が協働で取り組む「志紀地区健康大学」「アトムの会」の開催など、健康に関する課題の検討や健康づくりの取り組みを行っています。		水辺環境の向上をめざし、水辺環境施設の活用と維持管理に努めます。	平野川の管理用通路において、散策道として照明灯及びカラー舗装の整備を行いました。	平野川の散策道については、利用者拡大のため周辺施設の案内看板整備等の取り組みが必要です。				また、まち協の取り組みとして始まった、ポールウォーキングのコースについて、地域の魅力でもある平野川河川敷、ふれあいの森等地域内にある魅力ある施設を活用したコース設定に参加者と一緒に取り組むと共に、初めての参加者にはポールウォーキングの正しい歩き方や効果の説明を行うなど、だれもが健康づくりに取り組みやすいよう配慮することにより、地域での健康意識の向上の成果をあげることができました。				
	今後もこれらの活動を継続していくとともに、健康づくりに関するリーダーの養成や健康づくりの場としての河川周辺施設の活用など、地域に根ざした健康づくり活動を促進し、誰もがいくつになっても健康に暮らせるまちをめざします。	47	治水対策と環境を意識した水環境の形成				○			その他、健康大学やアトムの会、河内音頭健康体操の実施にあたり等、地域のボランティアの方々と連携し、住民による住民のための取り組みとなるよう支援しました。			
②安全安心を地域で実現するまち	志紀小学校区では、防犯・防災や、交通安全に関する取り組みを行っています。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			防犯灯の設置に関して、危険個所の助言や関係機関との調整についてアドバイスをを行うことで、順次適切な場所に設置することができました。	・防災 ・地域のまちづくり	防犯カメラの設置にあたりまち協で、場所についての話し合いをすることにより、防犯情報について共有することができました。	②安全安心を地域で実現するまち。
	地域では街頭犯罪防止に役立つ青色防犯パトロールが積極的に行われています。また、校区内に交通量の多い道路があり、誰もが安心してまにに出られる歩行環境が必要とされています。なお、地域では自転車に関する交通安全の取り組みがなされ、啓発活動も続けられています。防災に関しては、防災訓練の定期的な開催など地域の災害に対する意識の向上のための取り組みが行われています。			災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組めます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	また、各自主防災組織では防災訓練を行っていたが、校区全体の住民が参加できる機会が得られるように、まち協を支援しました。		交通マナー向上のため、小学生を対象に交通ルールの遵守と、危険個所の確認を教えることにより、交通マナーを向上することができました。	
	校区内に交通量の多い道路があり、誰もが安心してまにに出られる歩行環境が必要とされています。なお、地域では自転車に関する交通安全の取り組みがなされ、啓発活動も続けられています。防災に関しては、防災訓練の定期的な開催など地域の災害に対する意識の向上のための取り組みが行われています。			交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○	交通マナーの向上のため、警察や小学校との調整のサポートを行うことで、円滑に進みました。	年間8,500kmのパトロールの実施と道路等の危険個所の早期発見をすることにより、校区内が安全安心づくりに貢献することができました。			
	今後は、地域と行政が連携していく中で、安全安心を地域で実現するまちをめざします。			警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組めます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。	○			加えて、青パト防犯パトロール時に、防犯のための注意喚起とともに、危険個所の確認の方法や、各管理者との連携、助言やサポートを行うことで、安心なまちづくりに寄与できました。		まち協委員を対象とし、防災に関する研修会や講習を行った。まち協役員から、一般住民まで徐々に対象を広げ、防災に対する意識の向上と即応体制について学ぶことができました。	
				生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。	日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○				
		48	上水道の安定供給	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげます。	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげました。また、当地区においては耐震性緊急貯水槽を用いて住民による給水活動が行えるよう訓練を行いました。	大規模災害時には、各地域で水道局のみでの給水活動を行うことは極めて困難なため、今まで以上に自助の飲料水の備蓄の必要性を理解していただく必要があります。	○	○	○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点					
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題				拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協等)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標			
							施策担当課自身に対して	地域拠点に関して	まち協に関して							
③地域の連携で子どもたちが健やかに育つまち	志紀小学校区では、市内で最も児童数が多い小学校区ですが、近年やや減少の傾向にあります。 子育てサークル活動など、親子のふれあいや小さな子どもを持つ家庭の交流の場の提供などの活動が行われている一方で、加入率の低下による子ども会の解散など、子どもが地域と関わる機会が減少する傾向にあります。 今後は、子どもたちの健全育成のために地域と行政が連携し、地域の連携で子どもたちが健やかに育つまちをめざします。	22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの安全確保の取り組みや、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていただいているため、各活動に協力していただける人材の確保に課題があると認識している。	○	○	○	世代を超えて、地域の交流を図るためのフェスタを開催するにあたり、地域の各種団体、行政等との顔つなぎを行うなど、取り組みの支援を行いました。 また、放課後子ども教室を開催するにあたり、小学校と地域との顔つなぎを行うなど、取り組みの支援を行いました。	・地域のまちづくり ・子育て	地域が主体となって、子どもから大人まで気軽に楽しみ、世代間交流を行うことで、地域が活性化することを目的に、志紀のまちフェスタを開催しました。他の地域団体と連携することで、地域の交流が図られ、活性化につながりました。	③地域の連携で子どもたちが健やかに育つまち。 ④地域の特色を活かし、地域活動がさかんで、ふれあいのあるまち。			
				志紀小学校区では、ふれあいサロンや一人暮らし高齢者を対象とした給食サービス等さまざまな地域福祉活動を行っています。 活動が活発に行われる一方では、それを支える各種団体やメンバーの数が減少する傾向にあります。みんなが安心して暮らせ、長く住み続けたいと思えるまちの実現のためにも活動が持続可能なまちづくりに向けた取り組みを進めます。 今後も志紀コミュニティセンターや、志紀地区福祉委員会が管理運営する「志紀プレイロット広場」などの活用も含め、地域活動がさかんで、ふれあいのあるまちをめざします。	13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○	ふれあいサロンや一人暮らし高齢者を対象とした給食サービスを行うにあたり、各種団体、ボランティアの調整等を行うことにより、サロン、給食サービスを定期的に開催することができました。 また、男性が参加しやすい居場所づくりを行うための助言や、他のイベントと時間を調整することでより多くの方が参加できるようになりました。 コミュニティ推進スタッフ以外の地域拠点職員も積極的に、地域の各種団体と連携することで、地域の各種団体・個人の支援を行うことができました。	・その他 ・相談	定期的にふれあいサロンを開催することで、ふれあいのあるまちづくりをつくることができました。 居場所づくりのため、囲碁・将棋の定期開催をすることで、参加者どうしの交流と、サロンを同時開催することで、新しいコミュニケーションづくりを行うことができました。	①誰もがいくつになっても健康に暮らせるまち
				54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	コミュニティ推進スタッフ以外の地域拠点職員について、課内での担当者を明確化することにより、地域活動の支援体制を充実させた。また、地域拠点のレイアウト変更により、初期相談機能を担う体制を整えることができた。	地域拠点であるコミセンの存在をもっと周知していく必要がある。また、まちづくり協議会をはじめ地域活動について、担い手(特に若い世代に向けた)を増やす取り組みを引き続き支援していく必要がある。	○	○	○					
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	地域の各種団体間をつなぎ、調整を行うことにより、地域内の連携強化ができ活動が活性化した。	市民活動団体と地域が共にまちづくりの活動に取り組めるよう支援していく必要がある。	○	○	○							

【行政】地域別計画のふりかえり

桂小学校区

後期基本計画の内容					施策担当課による後期計画の総括				地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成 果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこ と・成果	わがまち推進計画の目標
①人権が 尊重され、 子どもの笑 顔があふれ るまち	桂小学校区では、基本的人権尊重の理念に 基づき、地域、家庭、学校、行政機関などが 連携して人権学習に取り組み、一人ひとりの 人権が尊重される社会の実現をめざしていま す。	19	地域での子 育て支援と 児童虐待 防止の取り 組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、 子育て支援拠点の運営 や、子育てサークルへの 支援、地域交流事業など を行います。	引き続き、定期的に親子でつ どい、交流・相談ができる場の 提供ができた。	地域子育て支援拠点が全て の中学校区に整い、市の認 識である。地域での子育てに 係るまちづくり活動における 協力要請があれば、とりうる 支援策について、ご相談に 応じていく。				子どもの居場所づくり事業 に対して、場所の提供や学 生ボランティアとのつながり 作りを行いました。結果的 に、地域の若い世代と大学 生ボランティアが連携して子 どもの居場所づくりの運営・ 模索を行っています。 また、桂中学校区地域教 育協議会が実施するあいさ つ運動、祭礼パトロール、親 子プール、親子デイキャン プ、子育て語ろう会、ふれあ いフェスティバルなどを共に 行う中で、子どもの笑顔があ ふれる取り組みを地域ととも に行うことができ、あわせて 地域に見守られているという 安心感を子どもたちに抱いて もらうことができました。	地域のまちづくり 子育て 生涯学習	西郡まちづくりシンポジウムでこ どもの居場所づくりについての ワークショップなどを行ってきたこ とにより、地域内に子どもの居場 所を作る機運が高まり、つどいの 広場事業として「つどいの広場は なおCHAN」のオープンにつなが りました。	・人権が尊重され、差別をゆる さないまち ・子どもが健やかに育つまち
	また、「地域の子どもは地域で育てる」という ことを大切に、乳幼児と保護者が気軽に集え る場を設けるとともに、子どもの健全育成、交 流行事、地域の教育力の向上、ネットワー クづくりを目的として、地域、家庭、学校の三者 が一体となって、桂中学校区地域教育協議 会を結成し、あいさつ運動、祭礼パトロール、 ふれあいフェスティバルなどさまざまな活動を行 っています。		子どもたちの居場所づくり や安全確保の取り組みなど、 地域での青少年健全 育成の取り組みを進めま す。	啓発事業への参加、住民懇談 会の実施、放課後子ども教室 の実施等にかかる依頼を行 い、青少年健全育成の推進を 図った。	地域において、非常に多くの 活動を行っていたため、各活 動に協力していただける人材 の確保及び地域 拠点との連携や支援手法に 課題があると認識している。	○	○	○					
	今後も、地域と行政が連携し多様な活動を行 うことにより、人権が尊重され、子どもの笑顔 があふれるまちをめざします。		すべての人の人権を尊重 していくため、学校園にお ける人権教育の取り組みを 進めます。	桂中学校区地域教育協議会 の活動を通じて、地域・家庭・ 学校が連携し、あいさつ運動 やふれあいフェスティバル等 の行事を通じて、人権が尊重 されるまちづくりを推進しま した。	学校における人権教育の推 進については、教職員の世 代交代の中、これまで地域と ともに進めてきた取り組みに ついて、継承・発展させるこ とが必要です。	○	○	○					
②ともに助け 合い、いく つになっ ても安心して 暮らせる まち	桂小学校区は、市内で最も高齢化が進んで いる校区ですが、桂老人福祉センターや街か どデイハウスなど、高齢者が集い語らい過 ぐす場があります。これらの施設では、さまざま な団体が主体となって、ひとり暮らしの高齢 者のための給食会や見守り活動を実施して います。また、身近なところに商業施設がな いためにふれあい朝市を開催するなど、昔か らこの地域での合言葉であった「おたがいさ ま」の精神で地域住民どうしの支えあいも 行っています。	13	ともに支え あう地域福 祉のしくみ づくり	地域における団体や住民 の自主的な地域福祉活動 や見守り・支援体制の充 実の支援に取り組みま す。	(社福)八尾市社会福祉協議 会と連携し、地域の自主的 な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、 見守り体制の充実につ いて、住民意識の醸成につ ながる取り組みが課題であ る。	○	○	○	地域のまちづくり 健康づくり 相談	ふれあい朝市や餅つき大会な どを行なうことで、買い物支援 を行なっているが、買い物に 来た高齢者等の人びとが顔を 合わせる ことにより地域住民どうしの見 守りにもつながっています。 西郡まちづくりシンポジウムで まちづくりに関する成果報告や ワークショップ等で皆で考えた ことを、西郡まちづくり新年会に て発表し地域住民に広く広報を行 なってきた結果、地域住民のまち づくりに関する意識が高まっ てきています。	・共に助け合う「おたがいさ ま」のまち	
	今後地域と行政が連携し、住み慣れた地 域で誰もがいくつになっても安心して暮らせる まちをめざします。		高齢者が自らの生きがい を見出し、社会参加を 図ることができるように、 生きがいづくりの支援およ び情報の提供などにより、 地域で活躍する高齢 者の活動を支援します。	地域団体等と連携して老人福 祉センター事業を実施した。 「高齢者あんしんセンター」を 愛称として、高齢者にわかり やすい相談支援体制の充実及び 地域のネットワーク構築を推進 した。 災害時に備えた平常時からの 地域での見守り体制の構築に 向けた説明会、検討会を実施 し地域活動の支援を行った。	利用者増加のための老人福 祉センター事業の啓発が必要 である。 より地域に密着した相談窓 口としての周知・啓発が必要 である。 災害時に備えた、継続的した 取り組みが必要である。	○	○	○					
			地域における見守りネット ワークと地域包括支援セ ンターを中心とした相談体 制の充実を図るとともに、 災害時要配慮者支援体 制の構築に取り組みま す。	地域の各団体運営において、 団体間の調整を行うことによ り、連携強化を図ることがで きた。また、地域拠点のレイ アウト変更により、初期相談 機能を担う体制を整えること ができた。	地域活動の参加者及び担い 手(特に若い世代に向けた) を増やす取り組みを引き続 き支援していく必要がある。	○	○	○					
③みんなが いきいきと 生活できる まち	桂小学校区では、長く人権に関する活動に取 り組んできた歴史があり、地域住民の環境改 善を図る活動が展開され、市営住宅の建設 や道路の拡幅・整備が進められるとともに、 保育所や中学校の整備などが行われまし た。	8	安心して暮 らせる良質 な住まいづ くり	市営住宅の効率的な機能 更新事業を行います。	市営住宅の効率的な機能更新 事業を行いました。	新たな機能更新計画の策 定。	○			第2回西郡はなはなマー ケットを西郡まちづくり協議 会と共催で行いました。190 0人の来場者が訪れ、地域 内外の30店舗を超える出店 が並びました。これにより、 地域内公園の利活用がなさ れたことと、地域内外の人々 の交流が促進されました。 また、ボランティアとして地 域内住民と大学生が参加して くださり、地域内小学生・中 学生も展示や発表で参加して もらったため、子どもたちの 地域愛着の増加が望めます。 近畿大学サテライト研究室 「さんぽぼ」の活用につ いて、協議等を重ねています。 また、地域と大学生との交流 促進のサポートを行ってい ます。結果的に、地域内で大 学生の存在が定着してきて います。	地域のまちづくり 子育て	ふれあい朝市や餅つき大会な どを行なうことで、買い物支援 を行なっているが、買い物に 来た高 齢者等の人びとが顔を 合わせる ことにより地域住民どうしの見 守りにもつながっています。 西郡まちづくりシンポジウムで まちづくりに関する成果報告や ワークショップ等で皆で考えた ことを、西郡まちづくり新年会に て発表し地域住民に広く広報を行 なってきた結果、地域住民のまち づくりに関する意識が高まっ てきています。 盆踊り大会を通じて地域交流や 地域への里帰りを促すことが でき、人と人とのつながりや地 域愛を育むことができました。 西郡はなはなマーケットを桂 人権コミセンと西郡出張所と で共催した。初年度300人、今 年度1900人の来場者が訪れ、 地域内外の30店舗を超える出 店が並びました。これにより、 地域内公園の利活用がなされ たことと、地域内外の人々の 交流が促進されました。ま た、ボランティアとして地 域内住民と大学生が参加して くださり、地域内小学生・中 学生も展示や発表で参加して もらったため、子どもたちの 地域愛着が増加しました。	・生き生きと、多様な世代が 健やかに生活できるまち
	市内でも少子高齢化が著しく進行している地 域であるため、大学とも連携しながら、庁内 横断的に地域の活性化に向け取り組んでいま す。また、市営住宅では、建て替え、耐震 化、バリアフリー化などの整備を、地域と行政 が協働で順次取り組んでいます。一方で、 入居可能な世帯の所得要件による若年子育 て世帯の転居転出や、入居者の高齢化など により、高齢者の割合が高くなり、結果として 校区全体のまちづくりにも大きく影響を及ぼ しています。		工場立地支援制度を活用し、 工場集積の維持・発展に 取り組みます。 「ものづくりのまち・八尾」 のブランドを戦略的に発信 します。	中小企業サポートセンターの 新規訪問企業開拓のため、地 域企業の飛び込み訪問を実 施。新規での支援企業を発掘 する。	サポートセンターの支援の輪 を広げるために新規開拓を 進める必要がある。	○							
	また、校区内には製造業を営む方も多く、今 後も住まいと工場が良好な関係で共存すること や、多様な世代や世帯が地域で安心して居 住し、いきいきと生活できるまちをめざしま す。		地域の実情に応じた土地 利用の推進について検討 します。	近畿大学建築学部との連携協 定に基づき平成28年5月17 日に開設したサテライト研究 室を活用し、大学生が地域住 民との交流や子ども達への学 習支援などを通して地域参画 を行いました。	包括協定締結後の近大他学 部との連携。	○							

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題				拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して				
④みんなが安全に住み つつづけられ るまち	桂小学校区では、地震や台風といった大規模災害発生に備えた取り組みとして、西郡まちづくり協議会が、小学生による高齢者避難誘導や団地階段における避難訓練など地域特性に応じた防災の取り組みを行っています。自分のいのち、家族を守り、地域がー丸となって支えあえるような地域づくりを継続して行っていたけよう自主防災組織の結成を支援します。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらったべき事業か、当助成金を活用してもらったべき事業かを整理する必要がありますと考えています。	○			西郡地区福祉委員会が実施する地区人権研修について内容のアドバイスや日程調整等に協力することで、研修を通して障がいを持つ方の避難行動時の配慮の必要性などを知ってもらうことができました。	地域のまちづくり 子育て 防災 生涯学習	防犯カメラの設置を行った。設置するにあたりまち協で、場所についての話し合いをすることにより、防犯情報について共有することができました。 小学校の土曜スクールに合わせまち協としての防災訓練を行った。消防署から訓練指導してもらい、まち協で購入している防災備品を使用しての本番さながらの訓練を行ったことにより、防災意識が高まり自主防災組織設立の機運が高まりました。	・安全で安心して住みつつづけられる強いまち
	また、不審者や不審火などの防犯情報については、地域や地域内施設における情報共有の連絡体制を構築し、事例発生時には、マイク放送やパトロールの実施など素早い初動期対応を行っています。市内で最も高齢化が進んでいる校区ですが、生活道路について、安心して通行できる環境を整え、今後も地域と行政が連携し、高齢者も孤立することなく、誰もがいくつになっても安全に暮らせるまちをめざします。	2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の結成支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○		○	災害時避難行動要支援者名簿のうち、情報提供同意不同意の確認ができていない方に対し訪問することにより、その方の個別の実態を知ることができました。			
		5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○		○	災害時避難行動要支援者名簿のうち、同意者リストに記載の方を訪問することにより、同意者の方の個別の実態を知ることができました。			
		40	生活道路の整備と維持	土木施設の適切な維持管理を行ない、安全で健全な環境保全に努めます。	日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めた。	限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						
⑤地域みんなが学 び、健康を まもること ができるま ち	桂小学校区には桂人権コミュニティセンター、桂老人福祉センター、桂青少年会館があり、各種講座や相談事業などを行っています。さまざまな事情により学ぶことのできなかつた人たちの学習の場として、教養をはじめ、趣味や健康などの取り組みとともに、人権に関する学習を通してながら、受講者同士の交流を深める取り組みなども行っています。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○		○	身近な地域(出張所等)を拠点としながら、地区組織や関係機関と連携・協働し、地域の特性に応じた地域住民主体の健康コミュニティづくりに取り組み、地域により近い出張所等への保健師配置による効果、保健師の役割と意義等が明らかになりました。	地域のまちづくり 健康づくり 生涯学習 その他	西郡まちづくりシンポジウムでまちづくりに関する成果報告やワークショップ等で皆で考えたことを、西郡まちづくり新年会にて発表し地域住民に広く広報を行ってきた結果、地域住民のまちづくりに関する意識が高まり、より一層一致団結してまちづくりを進めようという機運が高まりました。 地域総合情報誌「はな緒」を発行し、特に「人権」や「健康」、「地域行事」に係る記事を毎月掲載することにより、地域みんなが学ぶ場を提供しています。また、食品に含まれる「食塩の量」や甘いものに含まれる「糖類の量」の食品モデルを、地域拠点と協働で展示・啓発した結果、地域住民の健康意識が高まり地域行事の健康コーナーへの参加者が増加しました。	・ひとつになってまちづくりを進める体制づくり ・その他 まちづくり活動の推進
	地域行事の取り組みも熱心な地域ですが、高齢化率がとりわけ高く、単身の高齢者世帯の割合も急増しています。一人ひとりが健康で自分らしくいきいきとした生活を送るため、地域ぐるみの健康づくりが必要です。	27	歴史資産などの保全と活用	埋蔵文化財調査センターを通じて、地域の歴史を伝えらるとともに、埋蔵文化財についての情報を発信します。	地域の文化財に関するパネルや案内地図を作製し、常設展示として公開しました。	地域の学校に対して埋蔵文化財に関する情報発信を増やして、もっと利用してもらうことが望まれます。	○			また地域総合情報誌「はな緒」を発行し、「人権」や「健康」、「地域行事」に係る情報発信をすることで、地域みんなが学ぶ場を提供できています。			
	今後も地域と行政が連携し、地域での行事やコミュニティを活用するなど、一人ひとりの健康を地域みんなでまもるまちをめざします。	28	生涯学習の取り組み	一人ひとりがニーズに応じて学べる環境を整備します。	地区生涯学習推進事業として、コミセン運営協議会に委託し、各コミセンで講座や現代的課題講座を開催しました。	各地区で開催される講座は、絵画や陶芸など趣味の分野での自己学習が中心ですが、今後は、地域や市民の日常生活における課題解決に寄与する学習の充実化にも努めるとともに、学んだことを地域社会に還元する機会の創出を一層図ることが必要です。	○		○	校区高齢者あんしんセンターが実施する介護予防教室の中で、健康教育及び地域拠点の事業案内を行うことで、地域住民の健康の増進及び福祉の向上に貢献することができました。			
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	地域のふれあい交流事業や総合的なまちづくりコーディネート事業、安心安全の取り組みに複数の大学からのボランティア等の協力・連携を進めることができました。	各地縁団体の高齢化が著しく、次世代の取り込みや育成が課題である。	○		○	長期講座、短期講座、PC講座を通し、生涯学習の推進を行っている。特に、ヨガなどの体操講座は健康増進にもつながるため、積極的に参加を促しています。地域外からの受講者も多数あり、講座生による秋の社会見学などを通し、地域内外の交流促進にも寄与しています。			

後期基本計画の内容			施策担当課による後期計画の総括						地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 （種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
						に対して	て					
①誰もが安全に住み続けられるまち	北山本小学校区では地域全体での避難訓練を実施し、自然災害への準備や、子どもや高齢者が犯罪や自動車事故などの被害にあわないように地域での連携を強めています。	2安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	防災部局と連携し防災訓練実子の支援を行なうとともに、既に避難所運営マニュアル等を作成済の先進まち協から講師を招き、講演会やワークショップを開催するなどの事例研究と啓発活動を行なった結果、避難所運営マニュアル作成の機運が高まりました。	防災	防犯パトロールでひったくりや特殊詐欺・交通安全などに関する啓発を行なったところ、地域住民の防犯等の機運が高まり、当まち協と所轄警察署との防犯等意見交換会を行なったところ、多数の出席があり、意見交換も活発に行われました。また、隣接校区と連携することで、効率的な活動につながりました。	・誰もが安全で安心して住み続けられるまち
	このような自然災害への備えや、犯罪、交通事故などの被害にあわないよう、地域住民一人ひとりが自覚し、地域での連帯を強め、さらに地域と行政が連携することが大切です。	5交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促す必要があります。	○	○	○				
	また、通学路を中心とした安全対策や歩道のバリアフリー化等、誰もが安心してまちに出られる歩行環境の整備を進めるとともに、地域一体となって自動車や自転車の安全運転など交通マナーの向上とルールの遵守により、誰もが安全に住み続けられるまちをめざします。	40生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施した。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めた。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○			また通学路を中心とした安全対策について、小学校や担当部局と連携して必要な安全対策を検討・実施した結果、危険箇所を減らすことが出来、安全・安心のまちづくりに寄与することができました。		防犯カメラの設置を行いました。設置するにあたり、場所についての話し合いをすることにより、防犯情報について共有することができました。 毎年テーマを変えながら小学校の土曜スクールに合わせまち協としての防災訓練を行なっています。消防職員から訓練指導してもらい、まち協で購入している防災備品を使用している本番さながらの訓練を行なったことにより、以前よりもさらに防災意識が高まりました。	
		48上水道の安定供給	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげます。	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげました。	大規模災害時には、各地域で水道局のみでの給水活動を行うことは極めて困難なため、今まで以上に自助の飲料水の備蓄の必要性を理解していただく必要があります。	○	○	○				
②地域での支えあいで安心して暮らせるまち	北山本小学校区では、地域ぐるみで防犯や福祉活動などを行っています。しかし、自治振興委員会などの地域活動の区域の一部は、校区と異なるところがあり、今後の地域活動のあり方について、地域と行政で検討していく必要があります。また、少子高齢化をむかえて、ひとり暮らし高齢者世帯、認知症や介護を必要とする世帯の増加が予想されます。さらに、校区内には中国にルーツを持つ人などが多く暮らしています。行政では多言語による外国人市民の相談や情報提供を行っています。文化や生活習慣の違いなどを互いに尊重しあい、共に生活していくことが必要です。	1安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			防犯における警察との連携について、活動の支援を行いました。 また災害時要配慮者のリスト開示未同意者について、個別訪問により同意を促し、災害時要配慮者支援体制の構築に向けた取り組みを進めることが出来ました。	地域のまちづくり 防災	防犯パトロールを校歌を流しながら小学校等の下校時間に合わせて行っています。特に子どもたちが犯罪や事故に巻き込まれないよう啓発を行なうことで、不審者が減りました。	・地域のふれあいや福祉・健康のまち
	身近な地域での住民どうしの支えあいや地域活動は、ますます重要になることから、地域と行政が連携して、毎年行われている地域行事「ふれあい広場」などで、情報提供や啓発活動を充実させるなどして、地域活動の担い手を広げ、地域での支えあいで安心して暮らせるまちをめざします。さらに、多文化共生社会の実現に向け、多言語での情報提供を行うとともに、校区内での住民の相互理解やコミュニケーションを深めるまちづくりを進めます。	13ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○			ふれあい喫茶、ふれあい広場、移動水族館等、地域の人々のふれあいをテーマとした事業をたくさん行なうことが多くなるなど、幅広い世代の住民同士の知り合いが増えたり、絆が深まり地域活動の参加者が増加しています。	
		14高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 災害時に備えた平時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○				
		52多文化共生の推進	多言語による外国人市民への相談や情報提供などを行います。	桂人權コミュニティセンターにおいて中国語による相談窓口を開設。	ベトナム語に比べて中国語の相談件数が少なかった。	○						
		54地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。またコミュニティ施設の充実を検討します。	コミュニティ推進スタッフ以外の地域拠点職員について、事務所内で担当者を明確化することにより、地域活動の支援体制を充実させた。	まちづくり協議会活動について、広報面での強化の取り組みが重要である。	○	○	○				
		55市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	地域の世代間交流事業や安心安全の取り組みに複数の大学からのボランティア等の協力・連携を進めることができた。	各地縁団体の高齢化が著しく、次世代の取り込みや育成が課題である。	○	○	○				

後期基本計画の内容			施策担当課による後期計画の総括						地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成 果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組ん だこと・成果	わがまち推進計画の目 標
③子どもが 健やかに育 ち、子育て のしやすい まち	北山本小学校区では、少子化や核家族、隣 近所とのつながりの希薄化など、これまでと 比べて子どもや家族を取り巻く状況が大きく 変化しています。 地域で育った子どもたちが、安心して健やか に育つことのできる地域を作ることが大切です。 子どもたちの学校の登下校時に、地域ぐるみ で交通整理や安全見守りを行うなど、以前か ら子どもの見守り活動を活発に行っており、 防犯カメラの整備も進めています。また平成 26年度(2014年度)からは、地域で青色防犯 パトロールも実施されています。これからも、 中学校区を活動単位とした地域教育協議会 の活動や放課後子ども教室の活動などを通 じ、地域ぐるみで、より多くの住民・団体の協 力を得ながら、子どもたちがのびのびと遊 び、健やかに育つまちをめざします。	安全なまち をつくる防 犯の取り組 み	地域における防犯活動の 支援や、地域、事業者、 関係団体、警察、関係機 関との連携・協力による 防犯への取り組みを進め ます。	防犯灯の整備費補助や電気 使用量補助を通じて、地域に おける防犯の取り組みを支援 したほか、出前講座や各種啓 発活動を実施しました。また、 八尾市安全・安心のまちづくり 基金を活用し、地域で活動す る団体に助成金を交付しまし た。	助成金の対象事業につい て、校区まちづくり交付金 を活用して実施してもら うべき事業か、当助成金を 活用してもらうべき事業か を整理する必要があると 考えています。	○			まち協と小学校と大学と連携し「こども夢つくり隊」を発 足、ワークショップを毎年行 ない「陶冶の習熟を展開す る」場と機会を提供すること により、将来を担う子どもた ちの地域愛を高めることが 出来ました。	地域のまちづくり 子育て	防犯パトロールを校歌を流 しながら小学校等の下校時 間に合わせて行っています。 特に子どもたちが犯罪や事 故に巻き込まれないよう啓発 を行うことで、不審者が減り ました。 まちづくりテーブル事業で は、小学校と大学と西郡出 張所が連携し「こども夢つくり 隊」を発足、ワークショップを 毎年行い「陶冶の習熟を展 開する」場と機会を提供する ことにより、将来を担う子ども たちの地域愛を育む取り組 みが出来ました。	・子どもが健やかに育ち子育ての しやすいまち
		19地域での子 育て支援と 児童虐待 防止の取 組み	地域で子育てに関する相 談や交流ができるように、 子育て支援拠点の運営 や、子育てサークルへの 支援、地域交流事業など を行います。	引き続き、定期的に親子でつ どい、交流・相談ができる場の 提供ができた。	地域子育て支援拠点が全 ての中学校区に整い、市 の取り組みは充足してい るとの認識である。地域で の子育てに係るまちづくり 活動における協力要請が あれば、とりうる支援策に ついて、ご相談に応じてい く。							
		22次代を担う 青少年の 健全育成	子どもたちの居場所づくり や安全確保の取り組みな ど、地域での青少年健全 育成の取り組みを進めま す。	啓発事業への参加、住民懇談 会の実施、放課後子ども教室 の実施等にかかる依頼を行 い、青少年健全育成の推進を 図った。	地域において、非常に多く の活動を行っていたため、各活動に協 力していただける人材の 確保及び地域拠点との連 携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				
④地域福 祉とみんな の健康を推 進するまち	北山本小学校区では、ひとり暮らし高齢者が 参加する食事会や、ひとり暮らし高齢者の見 守りボランティア活動グループの結成のほか、 地域の若者が主体となった「ふれあい喫茶」 を開催し、子どもから高齢者までふれあえ る場を提供したり、障がい者の作業所への支 援など地域の活動も活発に行われています。 今後、校区では高齢化が進み、身近な地域 での住民どうしの支えあいや地域活動はますます 重要になることから、地域と行政が連携 して、情報提供や啓発活動の充実などにより 地域活動の担い手を広げ、地域福祉を推進 するまちをめざします。 また、わがまち推進計画改定に向けた住民 アンケートの結果、健康に関する意識が低 く、健康意識の向上が課題です。今後も地域 と行政が連携し、地域での行事やコミュニティ を活用し、一人ひとりの健康を地域みんなで 守るまちをめざします。	10疾病予防と 健康づくり の推進	地域の健康づくり活動を 支援する中で、地域の健康 コミュニティの構築と健康 文化の醸成に取り組ま す。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定 着。	健康まちづくり宣言の普及 促進。	○	○	○	身近な地域(出張所等)を 拠点としながら、地区組織や 関係機関と連携・協働し、地 域の特性に応じた地域住民 主体の健康コミュニティづく りに取り組み、地域により近い 出張所等への保健師配置に よる効果、保健師の役割と 意義等が明らかになりました。	健康づくり	健康づくりとして、保健師、 高齢者安心センターと連携 し、ノルディックウォークの講 習会を催したところ、非常に 多くの申し込みがあり講習会 を複数回行いました。また、 講習会を受講した方々は各 々でグループを作り自主的 に活動して健康づくりを行 っています。	・地域のふれあいや福祉・健 康のまち
		13ともに支え あう地域福 祉のしくみ づくり	住民どうしの支えあいが 豊かになるために、地域 福祉の担い手となる人材 育成や、学習会などの開 催により住民参加の促進 に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議 会と連携し、地域の自主的な 福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、 見守り体制の充実につ いて、住民意識の醸成 につながる取り組みが課 題である。	○	○	○				
⑤環境にやさ しいまち	北山本小学校区では、地域住民の憩いの場 である公園や緑地などを地域と行政が協力 し、花と緑あふれるやすらぎのまちをめざして います。 また、憩える空間を維持するために利用者マ ナーの向上をめざし、地域における啓発活動 を実施するなど、地域全体でさまざまな美化 活動に取り組んでいます。 今後も路上喫煙やペットのフン処理などの利 用者マナーの向上に向けた美化啓発活動を行 い、地域と行政が連携して環境にやさしい まちづくりを進めていきます。	41公園とまち の緑化による 緑のある 暮らし	公園や緑地を適正に管理 し、安全に憩える空間を 維持します。	公園の清掃や花苗の植え付け 等の美化活動を地域で行っ ていただくため、制度のPRIに努 めました。	ボランティア団体の高齢 化により、後継者の発掘 が課題です。 【1人あたり公園面積】八 尾市全体:2.89㎡/人 北 山本小学校区:1.74㎡/人	○			公園の「新しい使い方の検討」や、それに伴う「ルール づくり」などの活動について、 地域や担当部局との協議・ 調整を行ないました。また、 今年度ワークショップ等を行 なうことを提案し、実施すること となりました。 大阪府の助成金を獲得し たり、大阪府や担当部局との 調整を行なうなど、地域住民 主体の清掃活動の支援を行 ないました。	地域のまちづくり	「まちづくりテーブル事業」 で環境についても話し合いを 重ねたことにより、環境美化 の機運が高まり地域清掃の 参加者が増加しました。また、 今年秋には校区住民すべての 居宅が一斉に花を咲かせる「花 いっぱい運動」も予定しており、 現在は器材等の準備をしています。	・環境にやさしいまち
		44きれいなま ち八尾の実 現	地域での清掃活動などの 美化推進の取り組みを促 進します。	地域での清掃活動などの美化 推進の取り組みを支援しまし た。	地域での清掃活動をより 活発になるような取り組み を考察する必要があります。	○		○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成 果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組ん だこと・成果	わがまち推進計画の目標
①子どもたちが健やかに育つまち	山本小学校区では、青少年育成に特に力を注いでおり、「夢ネットさくら」のふれ愛フェスティバルなど各種団体がさまざまな事業を行っています。 少子化が進む中、今後も地域ぐるみで子どもたちを育む取り組みは重要です。子どもたちが生き生きと過ごし、保護者が安心して子育てできるように、子育て施策についての情報提供を充実するとともに、地域と行政が連携して子どもたちの安全確保や健全育成の取り組みを進め、子どもたちが健やかに育つまちをめざします。	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			まちづくり協議会が取り組んでいる防犯カメラの設置支援、防犯灯およびカーブミラーの不具合、空家の状態による危険箇所など、その他各種相談に対して担当課と協力して、地域の安全・安心なまちづくりに寄与することができました。	地域のまちづくり子育て	校区内に防犯カメラを設置し、地域の防犯対策の充実を行ないました。 登下校時の子どもの見守りについては、毎日(長期休暇を除く平日)取り組んでおり、隣接する北山本小学校区と共同実施する青色防犯パトロールも実施しました。 警察と連携し、住民懇談会時に啓発活動を依頼したり、青色防犯パトロールを警察と共同実施するなどして、地域の防犯意識の向上や安全安心なまちづくりに寄与できました。	②子どもが健やかに育つまち
		地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。				また交番の警察官と連携し、自治振興委員会の定例会等で、情報共有する機会を設け、地域の防犯意識の向上につなげることができました。			
		次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたいため、各活動に協力していただけの人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				
②いくつになっても住み慣れた地域で暮らせるまち	山本小学校区では、地域住民の地域福祉の取り組みとして、校区内で支援を必要とする高齢者などを対象に、交流と親睦を深めるため、地域住民が主体となって山本集会所や堤町集会所においてヨガ教室や折り紙教室などを行っています。また、町会(自治会)単位においても、お祭りや親睦行事を行っています。 今後、より一層高齢化が進むことから、高齢者が安心して歩行できる環境の整備や、集会所などに行くことが困難な高齢者の見守りなどを含めて、高齢者を支えあうしくみが必要です。今後、地域と行政が連携して福祉についての情報提供や見守り体制を充実し、いくつになっても住み慣れた地域で暮らせるまちをめざします。	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域の中で、住民どうしのさまざまなふれあい活動や交流の機会を充実するなど、地域福祉活動の充実のための取り組みを行います。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。 また、避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域にお渡ししており、平常時の見守り活動等に活用されている。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みのほか、避難行動要配慮者を意識した地域活動のより一層の充実が課題である。	○	○	○		地域のまちづくり相談子育て	ふれあい喫茶型サロンをちか所で開催しました。 地域の高齢者を激励する敬老祝寿式や出張所保健師の協力で、健康啓発活動を合わせて実施し、高齢者の健康や生きがいづくりに寄与できました。	①高齢者がいつまでもいきいき暮らせるまち
		高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークの整備など、高齢者の見守り体制を充実します。また、地域包括支援センターを中心とした高齢者やその家族に対する相談体制の充実を図ります。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。	○	○	○				
		生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						
		地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。またコミュニティ施設の充実を検討します。	校区まちづくり協議会への支援を通じて、地域とともにまちづくりに取り組んだ。 地域特性や課題に応じた事業をより主体的に展開するために出張所の機能再編を行い、これにより人員は減少したが、地域拠点職員の複数担当制をとるなど、地域に出向くための体制整備や、新たな事業を提案するなど、初期対応型総合相談等に対応できる仕組みを構築した。	地域に出向くための体制整備については、4月の人事異動で窓口担当がいなくなり、引き続き来られる市民への説明等に地域拠点職員がいたる必要があるため、出向きにくい状況にある。	○	○	○				
③誰もが安心して暮らせる災害に備えのあるまち	山本小学校区では、町会(自治会)単位で自主防災組織の結成を行うなど、地域住民による防災の取り組みを進めています。災害発生時への対応は、日ごろからの備えと近隣町会(自治会)との連携も大切です。市では、住民の自主的な防災活動が災害被害の軽減に果たす役割が重要であると位置づけ、自主防災組織の結成の促進・支援を行っています。地域と行政が連携して、若い世代の活動への参加を含め、地域での防災に対する取り組みの充実を進め、災害弱者への支援体制の確保や避難場所の周知など、誰もが安心して暮らせる災害に備えのあるまちをめざします。	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	出張所全体で防災マニュアルの策定を行い、災害時の対応力向上につなげることができました。避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域にお渡ししており、平常時の見守り活動等に活用されおり、安全・安心のまちづくりに寄与できました。	防災	消防署、出張所と連携して地域の自主防災訓練を実施、地域の防災力が向上しました。	④安全・安心なまち
		高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	災害時に備えた平常時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○						
		障がいのあった人の自立支援	障がいの(児)が住み慣れた地域で生き生きと生活するために、防災対策に取り組みます。	避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域にお渡ししており、平常時の見守り活動等に活用されている。	避難行動要配慮者を意識した地域活動のより一層の充実が課題である。	○	○	○			避難行動要支援者名簿同意者リストを地域で活用するため、地域を6班に分け取り組んでいる。災害時の対応策を確立するとともに、平常時における地域の支え合いにつなげていきます。	
		上水道の安定供給	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげます。	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげました。	大規模災害時には、各地域で水道局のみでの給水活動を行うことは極めて困難なため、今まで以上に自助の飲料水の備蓄の必要性を理解していただく必要があります。	○	○	○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括				地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点			
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み		実施した主な取り組み・成果		課題		拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
								施策担当課自身に対して					
④住民同士の絆をつむいでいくまち	山本小学校区では、人と人のつながりを大切にする取り組みが多数行われており、盆踊り大会や市民スポーツ祭などが開催されています。特に地区にあるほとんどの集会所でふれあい喫茶が開催されており、地域住民のふれあいの場所として、多くの方に親しまれています。	13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	（社福）八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みのほか、避難行動要配慮者を意識した地域活動のより一層の充実が課題である。	○	○	○	地域のまちづくり健康づくりその他	避難行動要支援者名簿同意者リストを地域で活用するため、地域を6班に分け取り組んでいる。災害時の対応策を確立するとともに、平常時における地域の支え合いにつなげていきます。	③住民同士の絆をつむいでいくまち	
	また、この校区内を流れる玉串川の桜並木は「大阪みどりの百選」にも選ばれ、市を代表する名所の一つで、市民の憩いの場である貴重な自然的資源です。毎年春には桜並木を活用した行事が開催されています。	25	八尾の魅力発見と発信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80”映画祭」に取り入れました。	地域に特化した魅力再発見・発掘の実施を行い、「八尾探」コースの設定及び提供を行うことで、各地域の魅力を認識していただき、地域の魅力を向上する必要があります。	○						情報誌「まげっば」を発行しました。若い世代にも、校区まちづくり協議会の活動を知ってもらうため、情報発信に取り組みました。
	今後も地域資源を活かしながら、住民どうしの絆を育む取り組みを進めます。	31	スポーツ・レクリエーションの取り組み	スポーツを通じた市民の親睦・健康増進に取り組みます。	山本地区住民の体力向上、地域の親睦を深めるため、市民スポーツ祭の開催を行い、例年1000人を超える住民が参加しました。	市民スポーツ祭の他、地域住民が主体的に開催するスポーツの振興と住民が参加しやすい教室の開催を地域拠点やスポーツ推進委員など関係団体と連携した取り組みが一層求められています。	○	○					地区住民の体力向上、地域の親睦を深めるため、市民スポーツ祭を開催し、毎年1000人を超える住民が参加しました。
		41	公園とまちの緑化による緑のある暮らし	玉串川の桜並木の良好な景観を市民の財産として永続的に保つよう、再生・保全に向けた取り組みを進めます。	さくらの植え替えを実施しました。	【1人あたり公園面積】八尾市全体：2.89㎡/人 山本小学校区：0.61㎡/人	○						山本出張所管内の6校区まちづくり協議会によるコミセンラウンドテーブルを実施。情報共有を図りました。
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	出張所管内のまちづくり協議会の会長が情報共有、意見交換を行うラウンドテーブルを開催した。	出された意見の調整や情報発信の方法について、出張所の関わり方を模索中。	○	○	○				過去に途絶えていた盆踊り大会を、まちづくり協議会発足時に復活させたことにより、地域における交流が深まりました。
⑤健康を促進するまち	山本小学校区では、地域の集会所を活用し、自主的に健康づくりを目標とした活動を行っている地域住民のグループが複数あり、健康ヨガ体操や、コーラスなどの活動を定期的に行っています。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	医療機関の協力を得ながら、保健師による講習および出張健診がんプラスを実施したことにより、健康意識を向上することができました。	健康づくり地域のまちづくり	医療機関の協力を得ながら、保健師による講習および出張健診がんプラスを実施しました。	
	しかし、小学校区内の一部地域に限られた活動であったり、町会単位で異なった活動を行っていることから、参加者や活動の広がりが限定されています。 今後は、地域の各種団体と行政が連携し、活動グループとの情報交換などを行いながら老若男女を問わず多くの方に活動に参加していただき、いつまでもこの地域で健康に暮らせるまちをめざします。	54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。またコミュニティ施設の充実を検討します。	校区まちづくり協議会への支援を通じて、地域とともにまちづくりに取り組んだ。地域特性や課題に応じた事業をより主体的に展開するために出張所の機能再編を行い、これにより人員は減少したが、地域拠点職員の複数担当制をとるなど、地域に出向くための体制整備や、新たな事業を提案するなど、初期対応型総合相談等に対応できる仕組みを構築した。	地域に出向くための体制整備については、4月の人事異動で窓口担当がいなくなり、引き続き来られる市民への説明等に地域拠点職員があたる必要があるため、出向きにくい状況にある。	○	○	○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成 果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組ん だこと・成果	わがまち推進計画の目 標
①子ども たちが健やか に育つまち	上之島小学校区では、青少年育成に特に力を注いでおり、「夢ネットさくら」のふれ愛フェスティバルなど各種団体がさまざまな事業を行っています。犯罪や交通事故から子どもたちを守る取り組みや子どもたちが安心して遊べる場づくりなども含めて、より多くの住民の参加・協力を得ながら、地域と行政が連携して子どもたちの健全育成の取り組みを進め、子どもたちが健やかに育つまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要がありますと考えています。	○			まちづくり協議会が取り組んでいる防犯カメラの設置支援、防犯灯およびカーブミラーの不具合、空家の状態による危険箇所など、その他各種相談に対して担当課と協力して、地域の安全・安心なまちづくりに寄与することができました。	地域のまちづくり子育て	八尾市安全・安心のまちづくり基金等を活用し、地域の見守り等を実施しました。 交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。 こどもの数が減少するなか、放課後こども教室、こども会連合会が、それぞれ校庭キャンプを実施しました(上之島小学校)。 啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図りました。 主任児童委員を中心として、子育て支援ひろば、「はとぼっぼ」を実施しました。	①いくつになっても安心・安全に暮らせるまち
		5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察・地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○	また警察と連携し、住民懇談会時に啓発活動を依頼したり、青色防犯バトロールを警察と共同実施するなどして、地域の防犯意識の向上や安全安心なまちづくりに寄与できました。			
		19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。				また放課後こども教室、こども会連合会が主催した、各校庭キャンプをに参加。市のブログに掲載することで、異学年が共に過ごし学び合う、こども会の魅力を伝えることができました。			
		22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたいため、各活動に協力していただけの人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				
②いくつになっても誰もが安心して暮らしやすいまち	上之島小学校区では、地域住民が主体となって高齢者の給食会などの活動を行っていますが、急速に高齢化が進む中で住み慣れた地域で健康に生活できるようにするには、今後も地域全体で高齢者を見守り支えあうしくみや、高齢者の交流の場づくり、健康づくりのための地域活動の拠点の充実が必要です。また、通学路を中心とした安全対策や歩道のバリアフリー化等、誰もが安心してまちに出られる歩行環境の整備も必要となっています。情報の共有をはじめ、地域と行政が連携して、いくつになっても誰もが安心して暮らしやすいまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	あなたのまちの健康相談を実施するとともに、敬老のつどい等地域イベントでの啓発活動を行うことで、健康に対する意識の向上に資することができた。	地域のまちづくり健康づくりその他	避難行動要支援者名簿(同意者リスト)を地域で活用するため、上之島地域支えあい会議を立ち上げました。実態を把握し、災害時の対応策を確立するとともに、平常時における地域の支え合いにつなげました。 八尾市安全・安心のまちづくり基金等を活用し、地域の見守り等を実施しました。 山本出張所管内の6校区まちづくり協議会によるコミセンラウンドテーブルを実施。情報共有を図りました。 「高齢者あんしんセンター」の職員を講師に招き、すい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進しました。	①いくつになっても安心・安全に暮らせるまち
		13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。 地域の中で住民どうのさまざまなふれあい活動や交流の機会を充実するなど、地域福祉活動の充実のための取り組みを行います。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。 また、避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域にお渡ししており、平常時の見守り活動等に活用されている。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みのほか、避難行動要配慮者を意識した地域活動のより一層の充実が課題である。	○	○	○	まちづくり協議会主催の各種行事に参加し、実施支援を行うことで、地域と地域拠点職員とのつながりが深まった。 また地域特性や課題に応じた事業をより主体的に展開するために出張所の機能再編を行い、これにより人員は減少したが、地域拠点職員の複数担当制をとるなど、地域に出向くための体制整備や、新たな事業を提案するなど、初期対応型総合相談等に対応できる仕組みを構築したことにより、地域のまちづくり活動の推進に寄与することができました。			
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークの整備など、高齢者の見守り体制を充実します。また、地域包括支援センターを中心とした高齢者やその家族に対する相談体制の充実を図ります。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。	○	○	○				
		40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施した。 日常的な道路や橋梁のバトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めた。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	校区まちづくり協議会への支援を通じて、地域とともにまちづくりに取り組んだ。 地域特性や課題に応じた事業をより主体的に展開するために出張所の機能再編を行い、これにより人員は減少したが、地域拠点職員の複数担当制をとるなど、地域に出向くための体制整備や、新たな事業を提案するなど、初期対応型総合相談等に対応できる仕組みを構築した。	地域に出向くための体制整備については、4月の人事異動で窓口担当がいなくなり、引き続き来られる市民への説明等に地域拠点職員があたる必要があるため、出向きにくい状況にある。	○	○	○				
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	出張所管内のまちづくり協議会の会長が情報共有、意見交換を行うラウンドテーブルを開催した。	出された意見の調整や情報発信の方法について、出張所の関わり方を模索中。	○	○	○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性	施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題				拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
						施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して				
③誰もが安心して暮らせる災害に備えのあるまち	上之島小学校区では、町会(自治会)単位で自主防災組織の結成を行うなど、地域住民による防災の取り組みを進めています。災害発生時への対応は、日ごろからの備えと近隣町会(自治会)との連携も大切です。市では、住民の自主的な防災活動が災害被害の軽減に果たす役割が重要であると位置づけ、自主防災組織の結成の促進・支援を行っています。地域と行政が連携して、若い世代の活動への参加を含め、地域での防災に対する取り組みの充実を進め、災害弱者への支援体制の確保や避難場所の周知など、誰もが安心して暮らせる災害に備えのあるまちをめざします。	2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	防災	避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを活用し、平常時の見守り活動等を行いました。	①いくつになっても安心・安全に暮らせるまち
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域に提供しており、平常時の見守り活動等に活用されている。	災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○			
		16	障がいのある人の自立支援	障がい者(児)が住み慣れた地域で生き生きと生活するために、防災対策に取り組みます。	避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域にお渡ししており、平常時の見守り活動等に活用されている。	避難行動要配慮者を意識した地域活動のより一層の充実が課題である。	○	○	○			
		48	上水道の安定供給	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげます。	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげました。また、当地区においては耐震性緊急貯水槽を用いて住民による給水活動が行えるよう訓練を行いました。	大規模災害時には、各地域で水道局のみでの給水活動を行うことは極めて困難なため、今まで以上に自助の飲料水の備蓄の必要性を理解していただく必要があります。	○	○	○			
④ものづくりによる活力のあるまち	上之島小学校区には、工業地域・準工業地域があり、市内でも有数の工業集積地が存在します。この市内有数の工業集積は、本市のものづくりの原動力であり、これからも地域と事業者、行政が連携し、良好な操業環境を進め、ものづくりによる活力のあるまちをめざします。		33	世界に誇るものづくりの振興と発信	工場立地支援制度を活用し、工場集積の維持・発展に取り組みます。 「ものづくりのまち・八尾」のブランドを戦略的に発信します。	小学校で小さなロボット博を実施し、地域住民にも開放することにより、子どもたちのものづくりに対する関心を喚起するとともに、地元企業に対する理解を深める取り組みを実施した。	引き続き地元企業に対する理解を深める取り組み(工場見学等)を進める必要がある。	○	○	その他		③産業・商業が活力あるまち

【行政】地域別計画のふりかえり

高美小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点	まち協	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
①誰もが安心・安全に暮らせるまち	高美小学校区には府道八尾道明寺線が南北に縦断し、府道大阪港八尾線が東西に横断しています。これらの道路は、交通利便性を高めている一方で、飲食店や量販店などの店舗の増加により、駐車場などからの車の出入りが増え、歩行者、自転車利用者の安全が脅かされることもあり、これらの道路が混雑する時間帯は、通学時間帯とも重なるので、子どもたちにとっては危険です。地域では、子どもたちが事故に巻き込まれないように見守る取り組みが行われています。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			・従前から行っている校区まちづくり協議会主催の防災訓練(防災備品の稼働確認や避難所体験、避難所運営ゲーム(HUG))の支援に加え、校区内の町会単位の自主防災組織が長年実施してきた防災訓練も校区まちづくり協議会の防災訓練として位置づけ、当該町会が長年培って来られた先進的なノウハウを、多くの校区住民に共有を図ることができました。	・地域のまちづくり ・防災	・防犯、防火パトロールを行いました。公園内で発生した不審火等、地域で課題となっているスポットに重点を置き、パトロールすることで地域の防犯力の向上が図られました。	①地域ぐるみで作る安全・安心のまち
	2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	・防犯カメラの設置を行いました。従前から課題が発生しているスポットに設置し、地域内における不法行為発生の抑止力向上を図りました。				
	また、大規模災害の発生に備えた取り組みとしては、高美小学校区まちづくり協議会が、防災倉庫の備品の状態確認や、避難所での宿泊体験を行う避難所体験訓練を実施しています。	5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○			・登校中の児童・生徒に対して声かけ・あいさつ運動と見守り活動を行いました。活動中は子どもたちが大きな事件・事故に巻き込まれることはありませんでした。	
②子どもたちが健やかに育つまち	高美小学校区では、地域の団体が連携して子育て支援のための教室を開くなどの活動や、青少年の健全育成のための住民懇談会の開催や子どもたちの安全確保の取り組みとして、通学時の声かけ運動など多面的な住民活動を展開しています。また、放課後子ども教室を運営するなど、地域ぐるみで子どもたちを育む活動を行っています。	19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。				・ふれあい喫茶が平成28年度、フェスタ高美が平成29年度からの新規事業であり、企画の段階から関係部局・機関との調整や、交付金を活用できる部分の検討などの支援を行い、無事実施することができました。	・地域のまちづくり	・「昔の遊び」交流会を行いました。地域高齢者と小学生1年生がこま回しなどの昔遊びを通じて交流を図り、お互いの顔が見える関係が築けました。	③世代間交流を広げ活気のあるまち ④地域の伝統や文化を生かした活動の輪 ⑤子どもや若者の活動を推進する
	22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたため、各活動に協力していただける人材の確保に課題があると認識している。	○	○	○	・世代間交流ニュースポーツの集いを行いました。ニュースポーツを通じて、子どもから高齢者までの幅広い層の住民が交流を図れました。				
	高美地区福祉委員会では、小学校1年生と世代間交流を行っており、交流会ではこま回しや昔遊びでのカルタ取りなどが行われています。子どもたちからはピアノの演奏のプレゼントが贈られます。今後も、地域と行政が連携し、子どもたちが健やかに育つまちをめざします。	40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策を施し、適正な維持管理につとめます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施した。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めた。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○					・フェスタ高美やふれあいまつり(中学校区で開催)を行い、地域の大人と子どもたちとの交流を図りました。	

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括				地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点	まち協	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
③誰もが住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けることができるまち	高美小学校区では、地区福祉委員会、高齢クラブ、一人暮らし高齢者の会などが一体となって、一人暮らし高齢者が孤立しないように、小地域ネットワーク活動に取り組み、給食サービスの実施やいきいきサロンの開催など高齢化の進む中でのまちづくりに努力しています。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	・校区まちづくり協議会が「健康・生きがい講座」を行うにあたり、人権コミセンの保健師が講師と地域との顔つなぎを行ったり、あるいは自身が講師となり、地域が円滑に事業を進めることができました。 ・健康相談について、人権コミセン内において「あなたのまちの健康相談」を行うとともに、「健康・生きがい講座」「ふれあい喫茶」等の行事に出向いて、健康に関する悩み事があれば気軽に人権コミセンに相談に来ていただきたい旨のPRをし、地域の皆様から身近な場所で相談を聞いてもらえるという安心感を感じてもらうことができました。	・ふれあい喫茶「高美」を行いました。フェスタ高美など他の行事の日に併せて開催したり、町会の集会所への出張やニュースポーツの併設、バルーンアート等のアトラクションも交えることにより、高齢者のみならず、親子の参加者も一定呼び込むことにより、世代間交流も図れました。 ・健康・生きがい講座を行いました。校区住民のニーズをとらえ、より多くの参加者の増加を図れる内容を企画することにより、地域高齢者の健康志向が上昇しました。	②高齢者や障がい者の自立を支援するまち
	今後、高齢化が進み、これまで以上に、身近な地域で支えあう地域活動は重要になってきます。特に、災害発生など緊急のときには、一人暮らしの高齢者などを地域で支えていく必要があり、日ごろから地域で見守っていくことが必要です。一方、町会加入率の低下や活動拠点の不足などの課題が見られ、地域住民どうしのつながりでの対応に限界もあります。	13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組めます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。 また、避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域で活用していただくよう、地域への説明を行った。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実につなげる取り組みのほか、平常時の見守り活動等を実施していただくよう、地域拠点と協力のうえ、説明会等を実施する必要がある。	○	○	○			
	また、この校区には、多くの外国人市民が暮らしており、外国人相談など行政によるサポートとともに、地域でも住民の相互理解やコミュニケーションを深め、多文化共生社会の実現をめざすとともに、地域と行政などが連携、情報共有することにより、誰もが地域で健康で生き生きと暮らし続けることができるまちをめざします。	14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組めます。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。 災害時に備えた平常時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○			
		16	障がいのある人の自立支援	障がい者(児)が住み慣れた地域で生き生きと生活するために、防災対策に取り組めます。	避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域で活用していただくよう、地域への説明を行った。	平常時の見守り活動等を実施していただくよう、地域拠点と協力のうえ、説明会等を実施する必要がある。	○	○	○			
		48	上水道の安定供給	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげます。	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげた。	大規模災害時には、各地域で水道局のみでの給水活動を行うことは極めて困難なため、今まで以上に自助の飲料水の備蓄の必要性を理解していただく必要があります。	○	○	○			
		52	多文化共生の推進	多言語による外国人市民への相談や情報提供などを行います。	安中人権コミュニティセンターにおいてベトナム語による相談窓口を開設。	医療通訳をはじめ、対応に困難を伴う内容が増える傾向にあります。	○					
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	新規事業(ふれあい喫茶等)の立ち上げに際し、無事開始できるよう、適切な支援を行った。	地域活動の参加者及び担い手(特に若い世代に向けた)を増やす取り組みを引き続き支援していく必要がある。	○	○	○			
	55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	地域がNPO団体の協力を得ながら、外国人住民との共生推進を図った。	他の活動分野のNPO団体等市民活動団体との連携強化のため、地域への積極的な情報提供や支援に取り組む必要がある。	○	○	○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標	
							施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て					まち協に関して
①子どもたちが健やかに育ち、地域での支えあいができるまち	高美南小学校区では、小学校前での「あいさつ運動」や子どもたちの安全の取り組みをはじめ、高美中学校区内の教育機関、PTAなどが参画した地域教育協議会が中心となって、ふれあい祭りや子育て支援講座、人権講座などを開催するなどして、地域ぐるみで子どもたちを育むさまざまな活動を活発に行っています。今後も、地域と行政が連携し、子どもたちが健やかに育つまち、のびのびと遊べるまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通して、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			校区まちづくり協議会が「健康・生きがい講座」を行うにあたり、人権コミセンの保健師が講師と地域との顔つなぎを行ったり、あるいは自身が講師となり、地域が円滑に事業を進めることができました。	・地域のまちづくり ・健康づくり ・相談	登校中の児童・生徒に対して声かけ・あいさつ運動と見守り活動を行いました。活動中は子どもたちが大きな事件・事故に巻き込まれることはありませんでした。	①誰もが「安心」して暮らせ、「住み続けたい」と思えるまち ②誰もが「いきがい」をもって暮らせるまち
	また、この小学校区では、一人暮らし高齢者の給食サービスなどの小地域ネットワーク活動を行っており、住民どうしの支えあいも自発的に行っており、地域と地域内施設、行政との連携による健康講座の実施などしており、誰もが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせ、支えあいができるまちをめざします。	5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促す必要があります。	○		○	健康相談について、人権コミセン内において「あなたのまちの健康相談」を行うとともに、「健康・生きがい講座」「高齢者給食サービス」等の行事に出向いて、健康に関する悩み事があれば気軽に人権コミセンに相談に来ていただきたい旨のPRをし、地域の皆様から身近な場所で相談を聞いてもらえるという安心感を感じてもらうことができました。		ふれあい農園を行いました。小学校敷地内の農園で地域の大人と児童が野菜の栽培をし、大人と児童のお互いの顔が見える関係が築けました。	
		10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○		○			防犯カメラの設置・維持管理を行いました。地域の課題が発生しているスポットに設置し、地域の犯罪抑止力の向上を図りました。	
		13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。 また、避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域で活用していただくよう、地域への説明を行った。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みのほか、平常時の見守り活動等を実施していただくよう、地域拠点と協力のうえ、説明会等を実施する必要があります。	○		○	避難行動要支援者名簿を活用して、本人権コミセンとしては情報提供同意者を対象に、日常生活において困難を抱えていないか、地域や社会から孤立していないか等を把握し、必要に応じて活用できるサービスや支援内容を個別に検討するための「つながり調査」を実施しました。		健康・生きがい講座を行いました。校区住民のニーズをとらえ、より多くの参加者の増加を図れる内容を企画することにより、地域高齢者の健康志向が上昇しました。	
		19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。							
		22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたいため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○		○	○			

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成 果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組ん だこと・成果	わがまち推進計画の目 標
②誰もが心豊かに安心して暮らせるまち	高美南小学校区には、安中人権コミュニティセンター、安中老人福祉センター、障害者総合福祉センター、安中青少年会館、青少年運動広場などのさまざまな施設があり、それらの施設を中心に各年齢階層が参加できる講座や催し、識字教室や日本語教室も開催されています。 また、地域と地域内施設、行政との連携により、災害時の避難弱者の方々への避難誘導を想定した防災訓練の実施や、校区に数多く暮らしている外国人市民のための相談体制の充実も進めています。 地域と行政が連携しながら、身近な公共施設や公園などの施設を活用して地域住民が生涯を通じた学習やスポーツ・レクリエーション活動、防災活動ができ、地域内施設の多くに相談体制があるなどの利点を活かした、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくりをめざします。	2 安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組めます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	校区まちづくり協議会で任命した高齢者見守り推進員との連携を行いました。高齢者見守り推進員が日常生活や地域行事等の中で課題を抱えた高齢者を発見された場合、人権コミセンに連絡してもらい、適切な支援に繋いだケースがありました。 人権コミセンにおいて一般教養・パソコン講座を開催しました。また、フィリピン舞踊や韓国料理などの多文化理解講座も実施しました。	・地域のまちづくり ・相談 ・生涯学習	校区まちづくり協議会で任命した高齢者見守り推進員が地域高齢者への見守り活動を行いました。日常生活や地域行事等の中で課題を抱えた高齢者を発見した場合、人権コミセンに連絡し、適切な支援に繋がったケースがありました。 やすなか卓球部を行いました。人権コミセンにおいて卓球台やニュースポーツのコーナーを開放し、校区住民の交流の場と居場所づくりを行いました。 従前から災害時の避難弱者の方々への避難誘導を想定した防災訓練をしてきたのに加え、平成28年度には校区内の外国人市民とともに防災訓練をし、有事の際にとるべき行動の意識共有を図りました。	②誰もが「いきがい」をもって暮らせるまち ③「子育て」「親育て」を見守り、支援できるまち ④人権感覚豊かなまち ⑤防災・減災を考えるまち
		14 高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	災害時要配慮者支援体制の構築に取り組めます。	災害時に備えた平時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○				
		16 障がいのある人の自立支援	障がい者(児)が住み慣れた地域で生き生きと生活するために、防災対策に取り組めます。	高美南小学校区まちづくり協議会主催の防災訓練に障害者総合福祉センターを運営する指定管理者が参画し、地域交流を深めた。また、避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域で活用していただくよう、地域への説明を行った。	平常時の見守り活動等を実施していただくよう、地域拠点と協力のうえ、説明会等を実施する必要がある。	○	○	○				
		28 生涯学習の取り組み	一人ひとりがニーズに応じて学べる環境を整えます。	地区生涯学習推進事業として、コミセン運営協議会に委託し、各コミセンで講座や現代的課題講座を開催しました。	各地区で開催される講座は、絵画や陶芸など趣味の分野での自己学習が中心ですが、今後は、地域や市民の日常生活における課題解決に寄与する学習の充実化にも努めるとともに、学んだことを地域社会に還元する機会の創出を一層図ることが必要です。	○	○	○				
		41 公園とまちの緑化による緑のある暮らし	公園や緑地を適正に管理し、安全に憩える空間を維持します。	公園の清掃や花苗の植え付け等の美化活動を地域で行っていただくため、制度のPRに努めました。	ボランティア団体の高齢化により、後継者の発掘が課題です。 【1人あたり公園面積】八尾市全体:2.89㎡/人 高美南小学校区:3.35㎡/人	○						
		52 多文化共生の推進	多言語による外国人市民への相談や情報提供などを行います。	安中人権コミュニティセンターにおいてベトナム語による相談窓口を開設。	医療通訳をはじめ、対応に困難を伴う内容が増える傾向にあります。	○						
		54 地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	地域の高齢者支援事業と地域拠点が連携し、課題を有する高齢者への適切な支援に繋がった。	地域活動の参加者及び担い手(特に若い世代に向けた)を増やす取り組みを引き続き支援していく必要がある。	○	○	○				
		55 市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	NPO団体と校区まちづくり協議会が協働して、多文化共生社会推進のための取り組みを検討し、実施した。	他の活動分野のNPO団体等市民活動団体との連携強化のため、地域への積極的な情報提供や支援に取り組む必要がある。	○	○	○				
③地域の歴史に学び魅力を発信するまち	高美南小学校区は、八尾街道、矢作神社などがあり、歴史のある地域です。 また、長く人権や平和に関する活動に取り組んできた歴史があります。かつては、マッチ製造や膠製造、またブラシに使う豚毛の精毛などの地場産業がありました。地域の伝統文化や暮らしを支えた産業など、地域の歴史に対する理解を深めることを目的に高美南小学校内に「歴史資料室」が設けられ、子どもたちの学習を通じて、また校区の内外の人たちに対して、地域の文化・歴史を継承・発信していくなど、地域のつながりや地域の歴史やあゆみを再発見・発信する取り組みを行っています。 地域の先人による足跡を風化させることなく、今後も地域の歴史・資源を継承し、一人ひとりの人権が尊重されるとともに、地域の歴史に学び魅力を発信するまちをめざします。	25 八尾の魅力発見と発信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80” 映画祭」に取り入れました。	地域に特化した魅力再発見・発掘の実施を行い、「八尾探」コースの設定及び提供を行うことで、各地域の魅力を認識していただき、地域の魅力を向上する必要があります。 地域を跨いだストーリーを見出し、より楽しんで頂けるプログラムの検討を実施します。	○			施設長連絡会主催で地域内施設の新転任職員を対象とした、地域の歴史等を学ぶ研修会を地域住民の協力のもと、実施したことや、市制施行70周年記念事業の一環として、「八尾の歴史を知る講演会」を実施し、地域の歴史を再発見・発信することができました。	・生涯学習	伝統・文化継承もちつき大会を行いました。もちつきのみならず、昔遊び等も通じて伝統・文化の継承と世代間交流を図りました。	③「子育て」「親育て」を見守り、支援できるまち

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身に対して			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協等）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							地域拠点に関して	まち協に関して					
①世代を越えた取り組みを推進し、住んでよかったと思えるふれあいの多いまち	曙川小学校区では、地域住民が主体となって、子育て支援の活動や高齢者の交流事業などの取り組みを活発に行っています。これらの活動を続けていくためには、より多くの地域住民が参画し、地域の各団体がさらに連携することや、新規事業のPRの充実など、活動をサポートするしくみづくりが検討課題としてあげられます。これからも、多くの世代が、この小学校区に「住んでみたい、住み続けたい」と思え、また、誰もが孤立せずに、支えあい、健康で生き生きと暮らせるよう、地域と行政が連携して、地域活動が活発で、住んでよかったと思えるふれあいのある住み続けたいまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	曙川コミセンでの健康づくり講座（ノルディック・ウォーク）を実施し、講座終了後も八尾木公園ノルディック・ウォーク自主グループを支援し、地域住民主体で実施できるようになりました。	子育て健康づくり 地域のまちづくり相談	地区福祉委員会とともに子供の作文など工夫した記事掲載した広報誌を発行したことにより、まちづくり協議会の活動等、地域の情報を広く広報することができた。 バッチマシンなどを購入したことにより、青少年に関するイベントを充実させることができた。	①世代を越えた取り組みを推進し、住んでよかったと思えるまち
		13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組めます。	（社福）八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○	また、曙川コミセンで「あなたのまちの健康相談」を実施し、地域の方の身近な相談の場をつくることができました。			
		19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。							
		55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	コミセンを中心とした生涯学習活動やコミュニティ醸成事業において、地域の福祉施設や大学等と連携した事業活動を積極的に推し進めることができた。	市民活動団体と地域が共にまちづくりの活動を取り組めるように支援していく必要がある。	○	○	○				
②みんなが集い、学び、活躍できるまち	曙川小学校区では、さまざまな活動や行事を通じて、地域でのつながりの大切さを実感できるよう、町会（自治会）への加入や地域活動への参画につながる取り組みを行っています。地域活動の情報を共有しながら、校区内の人と人とのつながりを広げ、地域と行政が連携し、みんなが集い、学び、活躍できるまちをめざします。	28	生涯学習の取り組み	身近な地域拠点であるコミュニティセンターにおいて生涯学習の場を提供します。	地区生涯学習推進事業として、コミセン運営協議会に委託し、各コミセンで講座や現代的課題講座を開催しました。	各地区で開催される講座は、絵画や陶芸など趣味の分野での自己学習が中心ですが、今後は、地域や市民の日常生活における課題解決に寄与する学習の充実化にも努めるとともに、学んだことを地域社会に還元する機会の創出を一層図ることが必要です。	○	○	○	地域ふれあい教室（防災訓練）開催の際に、地域住民の方と一緒に訓練などを体験し、出張所も地域と一体となって地域の住みよいまちづくり活動を支援しました。 また、曙川出張所にてブースを展開し、町会加入啓発を行い、地域の方に町会への理解を得ることができました。	防災 地域のまちづくり生涯学習 子育て	ラウンドゴルフ大会を実施。誰でも気軽に参加できるスポーツを通じた世代間交流によって、住民間の連帯強化を図ることができた。 クリスマスコンサートを実施。自宅に閉じこもりがちな寒い時期に実施することにより外出機会を増やすとともに、地域の方同士の交流を図ることが出来ました。	②みんなが集い、学び、活躍できるまち
		54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	コミュニティ推進スタッフ以外の地域拠点職員について、業務分担を見直すことによって、地域活動の支援体制を充実させた。	地域活動の参加者及び担い手（特に若い世代に向けた）を増やす取り組みを引き続き支援していく必要がある。	○	○	○	さらに、長期休暇中に、曙川出張所の学習室を自習室として開放することで、地域の中学生の生徒たちに学習の場を提供することができました。			

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身に対して			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協等）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							地域拠点に関して	まち協に関して					
③あらゆる世代で安全安心の取り組みを進めるまち	曙川小学校区では、子どもたちの安全確保のために地域ぐるみで「地域防犯マップ」の作成や、登下校時の児童の見守り活動など、防犯への取り組みを活発に行っています。また、自主防災組織や消防団などが連携し、防災の取り組みも行われています。今後も、住民主体の防犯・防災活動が活発に行われるように、地域と行政が連携していくことが大切です。			地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携、協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、助助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			主に小学校区の子どもを対象とした「地区放課後子ども教室事業」で、運営している方への後方支援を行い、スムーズな事業運営を支援しました。	子育て 地域のまちづくり 防災 その他	防犯カメラを設置した。設置にあたり、まち協で場所についての話し合いをしたことにより、防犯情報について共有することができた。	③あらゆる世代で安全安心の取り組みを進めるまち
	また、この校区では、住宅地内の道路は道幅が狭く、子どもたちの安全安心のためにも通学路の安全確保が課題になっています。今後、通学路における歩行環境が確保できるような通過交通対策を講じた安全安心のまちづくりについて、地域と行政が連携して推進するなど、世代を越えてみんなで安全安心の取り組みを進めるまちをめざします。			災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○		○	さらに、「地区放課後こども教室事業」に一緒に参加し、子どもたちと作品を作り上げ、活動の様子を地域活動ブログに掲載し、事業のPRができました。			
				消防団を中核とした地域防災力の充実強化に努めます。	消防団と自主防災組織などが連携し防災訓練を実施しました。	消防団と自主防災組織などの連携及び継続的な訓練等が必要です。	○		○	また、地域防災訓練（ふれあい教室）の際に、防災訓練を地域の方と一緒に体験し、地域の防災力の向上を図ることができた。			
				警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室及び合同パトロールを実施し啓発等を行いました。交通安全防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○		○	学校の夏・冬休み中の夜間パトロールについて、地域の方と一緒にパトロールを行い、安全意識の高揚につなげることができました。			
				子どもたちの安全確保の取り組みや、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○		○	曙川出張所管内3校区合同パトロールについて、地域と警察や行政の間に入って、連絡調整の役割を出張所が担ったことで、スムーズなパトロールの実施につながりました。			
				通学路の安全確保に努めます。	関係課・関係機関と連携して、通学路の安全対策に取り組みました。	新たに形成される住宅街での安全対策や、既存住宅街での対策の見直しや更新が必要です。	○		○	校区内の区画整理事業に伴う通学路の新設や、新しい町会の立ち上げの際に、地域と警察や行政の間に入って、また、助言や後方支援の役割を出張所が担ったことで、通学路の設置や新町会の立ち上げがスムーズに行われた。			
				地域の実情に応じた土地利用の推進に取り組みます。	地域の実情に応じた計画的な土地利用を図るべく曙川南土地区画整理事業において土地区画整理組合が設立され、事業が着実に進められています。					校区内の公園の新たな設置の際にワークショップ会議が開かれた際に、地域と行政の間に入って、連絡調整役を出張所が担ったことで、地域の方の会議への積極的な参加につながりました。			
④魅力ある地域の伝統文化を育み、次世代へ継承するまち	曙川小学校区は、八尾市内でも有数の歴史のあるまちであり、八尾木には地域の伝統文化である「八尾木民芸つくりもん」が現在も地域住民の力で伝えられています。この取り組みは家内安全とその年の農作物の農作を喜び、また、次年の豊作を願う伝統行事で、太平洋戦争後に途絶えてしまいましたが、昭和52年(1977年)に育成会や子ども会により復活、町会などの協力のもとで現在も継続されています。近年、後継者の育成が課題となってきましたが、保存会を中心としてさまざまな取り組みが続けられています。この歴史に根づいた伝統行事を後世に伝えるため、地域と行政が連携して、八尾市内外へ八尾の魅力として発信し、魅力ある伝統文化を育み、次世代へ継承するまちをめざします。			一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80”映画祭」に取り入れました。 河内音頭の実演。	地域に特化した魅力再発見・発掘の実施を行い、「八尾探」コースの設定及び提供を行うことで、各地域の魅力を認識していただき、地域の魅力を向上する必要があります。	○		曙川小学校区まちづくり協議会と連携し、つくりもんまつりの伝承を目的に、大阪教育大学の協力の元、つくりもん教室を開催し、幅広い世代へのつくりもんの理解を得ることができました。	地域のまちづくり その他	地域の伝統文化である「八尾木民芸つくりもんまつり」を支援した。作品のライトアップを行ったり、スタンプラリーを実施したことにより、子どもから大人まで楽しみながら伝統文化や地域の事を知っていただくことができた。	④魅力ある地域の伝統文化を育み、次世代へ継承するまち	
				日常生活的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。								

後期基本計画の内容					施策担当課による後期計画の総括				地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性	施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 （種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
						に対して						
①防災・減災対策を積極的に推進する災害に強いまち	2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	地域防災訓練に地域の方と一緒に減災体験を行い、地域の防災力の向上につながりました。 また、その活動内容を地域活動ブログで広報する事で、防災訓練のPRができ、参加者の増加につながりました。	防災	各種団体と連携し、防災訓練を実施。回を重ねるごとに、消防に頼らず地域が主体的に行うことを増やしていくことによって防災力の向上が図れた。	①防災・減災対策を積極的に推進する災害に強いまちづくり
			消防団を中核とした地域防災力の充実強化に努めます。	消防団と自主防災組織などが連携し防災訓練を実施しました。	消防団と自主防災組織などの連携及び継続的な訓練等が必要です。	○	○	○			備蓄倉庫を設置し、防災物品を備蓄することによって、防災力の向上が図れた。 2年に1度を目途に防災視察研修を実施したことにより、防災意識の向上が図れた。	
②交通事故・犯罪の少ない住みよいまち	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			刑部地区の地域活動広報誌「町会21」の発刊について、スムーズな広報活動が出来るよう発行を支援し、地域の防犯速報や危険情報などの迅速な情報発信や告知・啓発ができる体制を整備しました。 曙川出張所管内3校区合同パトロールについて、地域と警察や行政の間に入って、連絡調整の役割を出張所が担ったことで、スムーズなパトロールの実施につながりました。 曙川出張所管内施設連絡会を開催し、危険箇所の迅速な把握をするため、校区の施設関係者に対し道路などの危険箇所を簡潔に報告してもらう「ついでにパトロール」へ参加してもらい、通学路や道路環境の改善に貢献しました。	地域のまちづくり 防災 その他	青色防犯パトロール車で地域内を隈なく巡回したことによって、防犯意識と見守り効果を高めることができた。 防犯カメラを設置した。設置にあたり、まち協で場所についての話し合いをすることにより、防犯情報について共有することができた。 警察など関係機関と連携して防犯講習会を開催したことによって、地域の防犯力向上が図れた。	②交通事故・犯罪の少ない住みよいまちづくり
			交通事故をなくすための安全意識の高揚	交通安全教室及び合同パトロールを実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促す必要があります。	○	○	○				
			生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施した。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めた。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○					

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点											
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身に対して			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標									
							施策担当課自身に対して	地域拠点に関して	まち協に関して													
③美化活動の推進を図り、地域の魅力発信に向けた取り組みを進めるまち		25	八尾の魅力発見と発信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80”映画祭」に取り入れました。	地域に特化した魅力再発見・発掘の実施を行い、「八尾探」コースの設定及び提供を行うことで、各地域の魅力を認識していただき、地域の魅力を向上する必要があります。	○			主に小学校区の子どもを対象とした「地区放課後子ども教室事業」で、小学校内の花壇に花の苗を植え付けするなど、緑化推進事業をサポートし、地域活動ブログでその活動内容の広報を行い、事業のPRができました。地域の夏祭り「世代を超えたふれあいまつり」で、地区の八尾市路上喫煙マナー向上推進員の方たちと一緒に啓発活動をし、地域活動ブログでその活動内容の広報を行い、事業のPRができました。	子育て	地域情報等を発信する広報誌を年数回（5回程度）発行し、町会を通じて配布した。地震発生後に行った避難所等に関するアンケート結果の掲載や行事の事前告知記事を掲載するなどして参加者増を図るとともに、まち協の認知度アップも図れた。	③美化活動の推進を図り、地域の魅力発信に向けた取り組みを進めるまち									
				41	公園や緑地を適正に管理し、安全に憩える空間を維持します。 玉串川の桜並木の良好な景観を市民の財産として持続的に保つよう、再生・保全に向けた取り組みを進めます。	公園の清掃や花苗の植え付け等の美化活動を地域で行っていただくため、制度のPRに努めました。 倒木等の恐れがある危険木の伐採を行いました。								ボランティア団体の高齢化により、後継者の発掘が課題です。 【1人あたり公園面積】八尾市全体:2.89㎡/人 刑部小学校区:1.97㎡/人	○							
					44	きれいなまち八尾の実現								地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを促進します。				地域での清掃活動などの美化推進の取り組みを支援しました。	地域での清掃活動をより活発になるような取り組みを考察する必要があります。	○		
						47								治水対策と環境を意識した水環境の形成				玉串川沿道の護岸整備と沿道の桜との調和を図ります。	老朽化した玉串川の護岸を改修するにあたり、桜の保全を行うつつ景観に配慮した整備を行いました。			
④人と人とのつながりの輪を広げ、みんなが集い、学び、活躍できるまち		10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	地区集会所へ出向き、健康づくり講座（ノルディック・ウォーク）を実施しました。自主グループ化には至ってないが、個人でノルディック・ウォークを続けてますと声が聞かれ、地域へ貢献することができました。また、曙川コミセンで「あなたのまちの健康相談」を実施し、地域の方の身近な相談の場をつくることができました。長期休暇中に、曙川出張所の学習室を自習室として開放することで、地域の中学生の生徒たちに学習の場を提供することができました。	子育て健康づくり地域のまちづくり相談	世代を超えたふれあいまつりにおいて、河内音頭盆踊り大会の開催を支援するなど、地域住民のふれあい交流を促進した。 子どもから高齢者まで気軽に楽しめるグラウンドゴルフ大会を開催し、スポーツを通じて地域内の世代間交流を図った。 餅つき大会を開催した。高齢者から子ども達への餅つき指導を通じて、地域内の世代間交流を図るとともに、参加された多くの住民にまち協の存在をPRすることができた。	④人と人とのつながりの輪を広げ、みんなが集い、学び、活躍できるまち									
			13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組めます。	（社福）八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。								支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○					
				28	生涯学習の取り組み	一人ひとりがニーズに応じて学べる環境を整備します。								地区生涯学習推進事業として、コミセン運営協議会に委託し、各コミセンで講座や現代的課題講座を開催しました。				各地区で開催される講座は、絵画や陶芸など趣味の分野での自己学習が中心ですが、今後は、地域や市民の日常生活における課題解決に寄与する学習の充実化にも努めるとともに、学んだことを地域社会に還元する機会の創出を一層図ることが必要です。	○	○	○	
			54		地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。								コミュニティ推進スタッフ以外の地域拠点職員について、業務分担を見直すことによって、地域活動の支援体制を充実させた。	地域活動の参加者及び担い手（特に若い世代に向けた）を増やす取り組みを引き続き支援していく必要がある。	○	○	○				
					55	市民の社会貢献活動の促進								市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	コミセンを中心とした生涯学習活動やコミュニティ醸成事業において、地域の福祉施設等と連携した事業活動を積極的に推し進めることができた。							市民活動団体と地域が共にまちづくりの活動を取り組めるように支援していく必要がある。

【行政】地域別計画のふりかえり

曙川東小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身に対して			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割(種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							地域拠点に関して	まち協に関して					
①地域のふれあいと交流のあるまち	曙川東小学校区では、地域活性化のため、各種団体が協力し、地域住民が主体となって、子育て支援の活動や高齢者の交流事業など数多くの取り組みを活発に行っています。一方で、近年、町会(自治会)への加入率が低下しています。地域でのつながりの大切さを、さまざまな活動や行事を通じて実感できるよう、より多くの地域住民に町会への加入、地域活動への参画をしてもらうことが大切です。校区まちづくり協議会が中心となり、地域の各種団体と行政が連携し、地域内交流をさらに密にして、住民どうしの連携を深め、世代を越えて地域内のふれあいと地域住民どうしの交流があるまちをめざします。	13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○	月2回の地区集会所での相談事業に同席し、様々な行政相談の受付を行い、地域の方が気軽に相談に来れる場所づくりに貢献しました。また、地域の夏祭り「世代を超えたふれあい祭り」で曙川出張所ブースを出展し、地域の様々な世代の方々と交流し、行政と地域のつながりを再確認することができました。	相談 地域のまちづくり	地域をあげてのイベントである世代を越えたふれあいまつりにおいて河内音頭盆踊り大会を開催したことにより、地域住民間や世代間のふれあい交流が促進されるとともに、河内音頭の伝承に繋げることができた。 若年層から高齢層までを対象にIT講習会を開催したことにより、特に高齢者の外出機会の創出と情報化社会への対応に寄与することができた。	①地域の交流が盛んで、ふれあいにあふれるまち
	54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	コミュニティ推進スタッフ以外の地域拠点職員について、業務分担を見直すことによって、地域活動の支援体制を充実させた。	地域活動の参加者及び担い手(特に若い世代に向けた)を増やす取り組みを引き続き支援していく必要がある。	○	○	○					
	55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	コミセンを中心とした生涯学習活動やコミュニティ醸成事業において、地域の福祉施設等と連携した事業活動を積極的に推し進めることができた。	市民活動団体と地域が共にまちづくりの活動を取り組めるように支援していく必要がある。	○	○	○					
②子どもたちの健全育成と伝統文化の継承を推進するまち	曙川東小学校区では、地域住民が主体となって、さまざまな青少年健全育成の事業が進められています。また、平成16年(2004年)の大和川付け替え300周年を契機として、曙川東地域と関わりが深い講(願)念佛踊りを「講念仏踊り保存子ども教室」で復活させ、地域内で行われる「世代を越えたふれあい祭り」などの行事で披露するなど、地域の伝統芸能の継承活動も行っています。これらの事業を継続・発展させていくためには、活動の担い手の育成が課題となっています。今後このような取り組みを発展・継続し、地域と行政が連携して、子どもたちの健全育成や伝統文化の継承を推進するまちをめざします。	22	次代を担う青少年の健全育成	子どもたちの安全確保の取り組みや、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○	地域の夏祭り「世代を超えたふれあいまつり」で講念仏踊りの舞台を地域活動ブログで広報し、講念仏踊りのPRに努めました。また、コミセン事業の「文化センターまつり」で講念仏踊りの舞台発表を講念仏踊り保存子ども教室に依頼し、来場者に披露してもらうことで、講念仏踊りのPRに貢献しました。長期休暇中に曙川出張所の学習室を自習室として開放することで、地域の中学生の生徒たちに学習の場を提供することができました。曙川出張所事業「由義寺講演会」を開催し、地域の歴史文化について幅広い方たちに知ってもらうことで、地域の伝統文化に対する関心の土台形成につながりました。	子育て 地域のまちづくり その他	啓発用クリアファイルを作成し配布する等して、地域の伝統文化である「講念仏踊り」のPRや子ども会の加入促進を図った。	②子どもを対象とした健全育成のまちづくり
③高齢者が楽しんで暮らせるまち	曙川東小学校区では、地域住民が主体となり、曙川東地区集会所(小学校区集会所)を中心とした高齢者の方々が参加しやすいさまざまな活動を展開しています。一方で曙川東小学校区においても、今後高齢化が一層進むことが懸念されており、高齢者の方々の孤立化防止や生きがい支援がますます重要視されています。今後も地区集会所を中心として行われる、高齢者の方々が参加しやすい活動を継続・発展させるとともに、地域と行政や地域包括支援センター等との連携をさらに強化し、高齢者が楽しんで健康に暮らせるまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	月1回の地区集会所での健康相談、子育てサロンでの育児相談へ向向き、近くで気軽に相談できる場ができ安心できる、という声が聞かれ地域へ貢献できました。また、まち協主催で実施しているうんどう教室へ向向き、地域住民が段階的に自主的に活動できるよう支援しました。	子育て 健康づくり 地域のまちづくり 相談	高齢者祝寿式を実施したことによって、高齢者のいきがいづくりや交流の促進を図るとともに、高齢クラブや町会への加入PRを行うことができた。 高齢者あんしんセンター等と連携して「うんどう教室」を月2回開催したことにより、地域の健康づくりの向上が図れた。	③高齢者が楽しんで暮らせるまちづくり
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	高齢者が自らの生きがいを見い出し、社会参加を図ることができるように、生きがいづくりの支援および情報の提供などにより、地域で活躍する高齢者の活動を支援します。 地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図るとともに、災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	高齢クラブと連携した地区敬老祝寿事業を実施し、地域で活躍する高齢者の活動の支援を行った。 「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。	高齢クラブの加入率は減少傾向にあり、加入率向上に向けた取り組みが必要である。 より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。 災害時に備えた平常時からの地域での見守り体制をの充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○				

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身	地域拠点に関し	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							に対して	て					
④あらゆる世代が安心して暮らし出かけるまち	曙川東小学校区は、大阪外環状線(国道170号)が隣接していることや、JR線、近鉄線の最寄り駅までの距離もあるため、登校時の自動車や自転車の交通量が多くなっています。住宅地域の道路は、子どもたちの安全安心のためにも通学路の安全確保が課題になっており、登校時、地域住民による児童の通学路における声かけ運動が展開されています。今後、本格的に実施される土地区画整理事業も踏まえながら、交通利便性も考慮に入れた通過交通対策を講じ、地域と行政が連携して安全で安心なまちづくりを推進するなど、あらゆる世代の住民が安心して出かけられるまちをめざします。また、地域の防災についても自主防災組織や消防団などと連携を図り、安心して暮らせるまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			外環状線(国道170号線)周辺を含む曙川出張所管内施設連絡会を開催し、危険個所の迅速な把握をするため、施設関係者に対し道路などの危険箇所を簡潔に報告してもらう「ついでにパトロール」へ参加してもらい、通学路や道路環境の改善に貢献しました。 また、曙川出張所管内3校区合同パトロールについて、地域と警察や行政の間に入って、連絡調整の役割を出張所が担ったことで、スムーズなパトロールの実施につながりました。 さらに、校区内の区画整理事業に伴う通学路の新設の際に、地域と警察や行政の間に入って、また、助言や後方支援の役割を出張所が担ったことで、通学路の設置がスムーズに行われました。 その他、地域の地区防災訓練の際に、防災訓練を地域の方と一緒に体験し、地域の防災力の向上を図ることができました。	地域のまちづくり防災	防災訓練を開催した。その際、防災に関する啓発物品を配布し、防災意識の向上を図るとともに、まちづくり協議会の認知度アップを図った。 防災備蓄倉庫を設置し防災物品を備蓄することにより、防災力の向上を図ることができた。 防犯カメラを設置した。設置にあたりまち協で、場所についての話し合いをすることにより、防犯情報について共有することができた。	④あらゆる世代が安心して暮らせるまち
		2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○				
		3	災害に強い消防体制づくり	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に努めます。	消防団と自主防災組織などが連携し防災訓練を実施しました。	消防団と自主防災組織などの連携及び継続的な訓練等が必要です。	○	○	○				
		5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室及び合同パトロールを実施し啓発等を行いました、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○				
		24	教育機会の均等	通学路の安全確保に努めます。	関係課・関係機関と連携して、通学路の安全対策に取り組みました。	新たに形成される住宅街での安全対策や、既存住宅街での対策の見直しや更新が必要です。	○		○				
		37	土地の有効利用と都市景観の保全	地域の実情に応じた土地利用の推進に取り組みます。	地域の実情に応じた計画的な土地利用を図るべく曙川南土地区画整理事業において土地区画整理組合が設立され、事業が着実に進められています。								
		40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施した。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めた。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○						

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協等)で取り組んだこと・成 果	わがまち推進計画 の目標
①高齢者 がいきいき と暮らせる まち	東山本小学校区では、ひとり暮らし高齢者を 対象とした昼食会やふれあい喫茶など、地域 ぐるみで住民が集い、交流する機会を確保 し、高齢者を見守る活動を活発に行っていま す。今後、高齢化が進む中、地域での福祉活 動を通じた支えあいはより一層重要となりま す。地域と行政が連携して、身近な地域で支 えあい、誰もがいつまでも暮らしやすいまちを めざします。	13 ともに支え あう地域福祉 のしくみづくり	地域における団体や住民 の自主的な地域福祉活動 や見守り・支援体制の充 実の支援に取り組みま す。	(社福)八尾市社会福祉協議 会と連携し、地域の自主的な 福祉活動を支援した。 また、避難行動要支援者名簿 に基づく同意者リストを地域で 活用していただくよう、地域へ の説明を行った。	支援を必要とする人の把握、見 守り体制の充実について、住民 意識の醸成につながる取り組み のほか、平常時の見守り活動等 を実施していただくよう、地域拠 点と協力のうえ、説明会等を実施 する必要がある。	○	○	○	あなたのまちの健康相談を実施し、地域行 事での健康啓発活動を実施することで、健康 に対する意識の向上に資することができ ました。また、地域包括支援センターが地域 により密着した関係を築けるよう、地域主 催・共催の各種行事情報の提供を行うこと で、より密な相談体制の強化を図ることが でき、誰もがいつまでも暮らしやすいまちの 実現に資することができました。	健康づくり 地域のまちづくり	地域案件となっている、避難行動要支 援者名簿に基づく同意者リストを活用し た取組みができるよう、地域内各団体に 働きかけ、拠点、関連部局との調整を行 いました。	①高齢者がいきいき と暮らせるまち ④安全・安心に暮ら せるまち
		14 高齢者の 生きがいづ くりと高齢 者を支える しくみづくり	地域における見守りネット ワークと地域包括支援セ ンターを中心とした相談体 制の充実を図ります。	「高齢者あんしんセンター」を 愛称として、高齢者にわかりや すい相談支援体制の充実及び 地域のネットワーク構築を推進 した。	より地域に密着した相談窓口とし ての周知・啓発が必要である。	○	○	○			地域包括支援センターに地域行事へ参 加してもらうことで、地域の高齢者との見 守り・相談体制の充実が図れました。	①高齢者がいきいき と暮らせるまち ③住民同士の絆が 強いまち
②子どもた ちが健やか に育つまち	東山本小学校区では、子どもたちの居場所 づくりとして、コミュニティ運動広場を整備し、 地域住民によって管理されています。また、 少子化や核家族化、隣近所とのつながりの 希薄化など、子どもや家族を取り巻く環境が 大きく変化する中、今後も、家庭、学校、地域 が連携して地域ぐるみで子どもたちを育み、 子育てを支援する活動は重要です。 登下校時には、地域や関係団体が連携し、 地域ぐるみで通学路の子どもたちの安全確 保に努めておられる一方、校区内にある大阪 外環状線(国道170号)から近鉄八尾駅周辺 につながる道路は抜け道となっており、交通 量が多く、さらに、道路の幅が狭いところも多 いため、今後も地域と行政が連携し、子ども たちが健やかに育つまちをめざします。	5 交通事故を なくすため の安全意 識の高揚	警察、地域などの関係団 体と連携し、交通事故防 止に向けた各種啓発活動 や交通安全教育などに取 り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等 を行い、交通事故防止に努め ました。	保護者や高齢者等の参画を促す ことが必要です。	○	○	○	交通安全関連部局・団体等と連携し、交通 事故防止に向けた各種啓発活動や交通安 全教育等、地域における新たな事業展開を 提案・支援や、あなたのまちの健康相談や つどいの広場「てんでんてんとむし」、施設連 絡会等、定期的に相談できる場の提供を行 うことができました。 また、既事業における内容の固定化を打 破すべく、子どもが参加できる地域事業計画 立案や外部団体の方法、思考を取入れるこ と等、地域における新たな事業展開を提案・ 支援することができました。 加えて、道路、通学路、河川や橋梁等の都 市整備基盤の損傷や交通安全対策等につ いては、地域からの相談や見守り隊が巡回 し発見した不具合を関連部局に情報提供を 行い、課題解決に向けた繋ぎを行うなど、子 どもたちが健やかに育つ環境づくりを推し進 めることができました。	子育て その他	交通安全関連部局・団体等と連携し、 地域住民の力で交通事故防止に向けた 各種啓発活動や交通安全教育等を実施 することができました。	④安全・安心に暮ら せるまち
		19 地域での子 育て支援と 児童虐待 防止の取り 組み	地域で子育てに関する相談 や交流ができるように、 子育て支援拠点の運営 や、子育てサークルへの 支援、地域交流事業など を行います。	引き続き、定期的に親子でつ どい、交流・相談ができる場の 提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中 学校区に整い、市の取り組みは 充足しているとの認識である。地 域での子育てに係るまちづくり活 動における協力要請があれば、 とりうる支援策について、ご相談 に応じていく。							②子どもたちが健や かに育つまち ③住民同士の絆が 強いまち
		22 次代を担う 青少年の 健全育成	子どもたちの居場所づく りや安全確保の取り組みな ど、地域での青少年健全 育成の取り組みを進めま す。	啓発事業への参加、住民懇談 会の実施、放課後子ども教室 の実施等にかかる依頼を行 い、青少年健全育成の推進を 図った。	地域において、非常に多くの活 動を行っていただいているため、 各活動に協力していただける人 材の確保及び地域拠点との連携 や支援手法に課題があると認識 している。	○	○	○			当地区内にある子ども食堂に参加する 子供たちとまち協・学校園がコラボする等 の事業計画を行い、外部団体の方法、思 考を取入れることで、地域における新た な事業展開の流れを汲むことができまし た。	②子どもたちが健や かに育つまち ③住民同士の絆が 強いまち
		24 教育機会 の均等	通学路の安全確保に努め ます。	関係課・関係機関と連携して、 通学路の安全対策に取り組み ました。	新たに形成される住宅街での安 全対策や、既存住宅街での対策 の見直しや更新が必要です。	○		○			登下校見守り隊がPTA等地域団体と 日々連携し、児童の登下校時の安全確 保のため、巡回等で、通学路内でカーブ ミラーの不具合や道路陥没等施設の損 傷等を発見した場合については、地域拠 点及び部局へ相談・連絡し、早期解決に 向けての協力を行いました。	③住民同士の絆が 強いまち ④安全・安心に暮ら せるまち
		40 生活道路 の整備と維 持	通学路を中心とした生活 道路について安全対策と 適切な維持管理に努めま す。	警察、学校等と連携しながら、 交差点のカラー化や路側帯の カラー化等、通学路の安全対 策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパト ロールを実施し、損傷等の早 期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と 既に実施しているカラー化等の 老朽化に伴う対策が生じ、計画 的な維持管理と安全対策が必要 です。 限られた財源・人材のなかで膨 大な都市基盤施設の維持管理を 進めていく必要があります。	○					見守り隊巡回等で、カーブミラーの不具 合や道路陥没等施設の損傷等を発見し た場合については、地域拠点及び部局 へ相談・連絡し、早期解決に向けての協 力をを行いました。	④安全・安心に暮ら せるまち
③住民同 士の絆が 強いまち	東山本小学校区では、長年にわたり「東山本 まちづくりラウンドテーブル」を定期的に開催 し、地域住民が気軽に集まり、身近な課題や 話題について自由に意見交換する場になっ ているほか、校区まちづくり協議会ではホー ムページやブログを開設するなど、住民ど うしの情報の共有化をはかっています。今後も 身近な地域での人と人がつながり、地域での さまざまな活動を健康にみんなの力で続け ていけるように地域と行政が連携して取り組 みを進めます。 また、地区の中心を流れる一級河川恩智川 は、地域住民に憩いを感じられる水空間とし て親しまれ、地域や学校が連携し、恩智川ク リーンアップを実施しています。今後、恩智川 や沿道に関して安全対策や防災力の強化、 安心して散策できる環境の確保など、地域と 行政が連携して身近な水辺空間を守ります。	10 疾病予防と 健康づくり の推進	地域の健康づくり活動を 支援する中で、地域の健康 コミュニティの構築と健康 文化の醸成に取り組み ます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定 着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	あなたのまちの健康相談を実施し、地域行 事での健康啓発活動を実施することで、健康 に対する意識の向上に資することができ ました。 また環境関連部局・団体等と連携し、生活 環境保全に向けた各種啓発活動や環境教 育等、地域における事業展開への提案・支 援や、まちづくり協議会、大阪府、八尾市、 学校が協力し、恩智川の清掃や環境美化活 動の支援を行うことにより、恩智川周辺の環 境美化並びに地域の環境啓発に寄与するこ とができました。 まちづくり協議会主催の各種催しに参加 し、支援を行うことで地域と地域拠点職員と の繋がりができました。 加えて、地域における事業内容の固定化 を打破すべく、地域内の子ども食堂等を含め 各種団体とも協力・連携できるよう、NPO団 体等の事業実施手法、思考を取入れること で、地域における新たな事業展開を提案・支 援を行うなど、地域と行政との連携の促進に 寄与できました。	健康づくり 地域のまちづくり その他	地域で行われている「ほほえみサロン」 等に拠点や部局が連携し、健康啓発活 動を実施することで、健康に対する意識 の向上に寄与できました。	①高齢者がいきいき と暮らせるまち ③住民同士の絆が 強いまち
		43 快適な生活 環境づくり	市民、事業者とのパート ナーシップにより、環境問 題への取り組みを進め、 生活環境の保全を図りま す。	市民、事業者への啓発等を行 い、環境問題への取り組みを 進め、生活環境の保全を図り ました。	市民、事業者とのパートナーシ ップにより、環境問題への取 組みを進め、更なる生活環境 の保全を図る必要があります。	○		○			環境関連部局・団体等と連携し、地域 住民の力で生活環境保全に向けた各種 啓発活動や環境教育等を実施しました。	③住民同士の絆が 強いまち
		44 きれいなま ち八尾の実 現	地域での清掃活動などの 美化推進の取り組みを促 進します。	地域での清掃活動などの美化 推進の取り組みを支援しまし た。	地域での清掃活動をより活発に なるような取り組みを考察する必 要があります。	○		○			中学校土曜スクールを活用し、大阪府・ 八尾市の協力のもと、地域資源である恩 智川のクリーンアップ事業を行うことによ り、地域への愛着の向上、環境美化、魅 力発信にも寄与できました。	②子どもたちが健や かに育つまち ③住民同士の絆が 強いまち
		54 地域のまち づくり支援・ 地域拠点の 充実	地域のまちづくり活動を支 援する体制を充実しま す。	地域の実情に合わせた各種団 体の支援体制をとりながら、連 携強化に繋げられたと考える。	地域活動の参加者及び担い手 (特に若い世代に向けた)を増や す取組みを引続き支援していく必 要がある。	○	○	○			まちづくり協議会主催・共催事業に、地 域拠点職員とともに参加し地域のまちづ くり寄与することができました。	③住民同士の絆が 強いまち
		55 市民の社会貢 献活動の促進	市民活動団体等が地域と つながり、協働のまちづ くりの担い手となるよう支援 します。	地域間交流を目的として、NPO 団体や他市、他地域の方々と 情報共有を行えるよう、又地域 内の子ども食堂等各種団体と も協力・連携できるよう積極的 な支援を展開することができ た。	市民活動団体と地域が共にまち づくりの活動を取り組めるよう に支援していく必要がある。	○	○	○			当地区内にある子ども食堂に参加する 子供たちとまち協・学校園がコラボする等 の事業計画を行い、外部団体の方法、思 考を取入れることで、地域における新た な事業展開の流れを汲むことができまし た。	②子どもたちが健や かに育つまち ③住民同士の絆が 強いまち

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点				
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協等)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画 の目標		
							地域拠点に関し て	まち協に関して							
④安全・安心に暮らせるまち	東山本小学校区では、町会(自治会)単位で自主防災組織を結成しており、防災訓練なども積極的にを行っています。また、小学校でも子どもたちに防災教育を地域とともにを行っています。災害発生時への対応は、日ごろからの備えと近隣町会(自治会)との連携も大切です。市では、住民の自主的な防災活動が災害被害の軽減に果たす役割が重要であると位置づけ自主防災組織の結成の促進・支援を行っています。今後も地域と行政が連携して、災害時要配慮者等への支援体制の確保など、地域での防災に対する取り組みの充実を進め、誰もが安心して暮らせる災害に備えのあるまちをめざします。 また、大阪府、八尾警察署、地域が一体となり、地域内で防犯活動に取り組む拠点として東山本地区集会所(小学校区集会所)に「地域安全センター」が設置されています。地域での防犯活動が有機的に機能し、さらに向上するよう地域と行政が連携し、安全・安心のまちをめざします。			1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			まちづくり協議会が、防犯カメラの設置支援、地域からの防犯灯・カーブミラーの不具合等、各相談に対し関連部局と協力して、地域の安全安心なまちづくりに寄与できました。 また防災訓練の内容の固定化を打破すべく、NPO団体等外部事業者の事業実施手法、思考を取り入れることで、地域における新たな事業展開を提案・支援することができた。また避難所運営ゲーム(HUG)等訓練のあり方を再認識することで今後自主防災組織結成の基礎にすることができました。	防災 その他	防犯カメラ設置、防犯灯・カーブミラー等は、過去の犯罪・事故案件場所を勘察し、地域内でまとめた上、関連部局と協議し決定していくことで、より効率的・効果的な地域内の安全安心における事業展開に寄与できました。	④安全・安心に暮らせるまち
				2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	また地域に避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを活用した取組みができるよう、地域に働きかけ、関連部局への調整を行うなど、安全・安心のまちづくりの推進に寄与できました。	訓練内容の固定化を打破し、NPO団体等外部事業者の方法、思考を取り入れることで、地域における新たな事業展開の流れを汲むことができた。又避難所運営ゲーム(HUG)で避難所のあり方を再認識することで自主防災組織結成のきっかけにすることができました。	④安全・安心に暮らせるまち	
				14	高齢者の生きがいくくりと高齢者を支えるしくみづくり	災害時要配慮者支援体制の構築に取り組みます。	災害時に備えた平常時からの地域での見守り体制の構築に向けた説明会、検討会を実施し地域活動の支援を行った。	災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○			地域案件となっている、避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを活用した取組みができるよう、地域内各団体に働きかけ、拠点、関連部局との協議を行いました。	④安全・安心に暮らせるまち
				16	障がいのある人の自立支援	障がい者(児)が住み慣れた地域で生き生きと生活するために、防災対策に取り組みます。	避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域で活用していただくよう、地域への説明を行った。	平常時の見守り活動等を実施していただくよう、地域拠点と協力のうえ、説明会等を実施する必要がある。	○	○	○			地域案件となっている、避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを活用した取組みができるよう、地域内各団体に働きかけ、拠点、関連部局との協議を行いました。	④安全・安心に暮らせるまち

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだ こと・成果	わがまち推進計画 の目標
①人と人の つながり・ 絆を深めて いくまち	西山本小学校区では、人と人のつながりや 支えあい、絆を深めることで、身近な地域で 誰もが安心して暮らすことができるようにする ために、校区まちづくり協議会や福祉委員会 をはじめ、町会(自治会)や女性会、青少年 育成連合会、高齢クラブなど各種団体が活 発に活動を行っています。また、校区の玉串 川沿道には「さくら」や「八尾」を紹介する写 真・モニュメントがあり、地域住民はもとより 多くの人が集う名所になっています。これから も地域でのつながりの大切さを、さまざまな 活動や行事を通じて実感できるようにするこ とが重要であり、地域に根ざしたさまざまな活 動を健康にみんなの力で続けていけるよう に、地域と行政が連携して、地域活動の情報 を共有しながら、地域資源を守るとともに、人 と人のつながり・絆を深めていくまちをめざし ます。	10	疾病予防と 健康づくり の推進	地域の健康づくり活動を支援する 中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組ま す。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	あなたのまちの健康相談を実 施し、地域行事での健康啓発活 動を実施することで、健康に対 する意識の向上に資することが できました。	相談 地域のまちづくり 健康づくり その他	地域で行われている「サロン さくら」等に拠点や部局、高齢 者安心センター等が連携し、 健康啓発活動を実施すること で、健康に対する意識の向上 に寄与できました。	①人と人のつながり・ 絆を深めていくまち ②高齢者がいつまで も心豊かに暮らせる まち
		25	八尾の魅 力発見と発 信	一般社団法人八尾市観光協会と 連携し、八尾の地域資源を「八尾 の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八 尾探」及び「やお80” 映画祭」に取り入 れました。	地域に特化した魅力再発見・発掘の 実施を行い、「八尾探」コースの設定 及び提供を行うことで、各地域の魅力 を認識していただき、地域の魅力を向 上する必要があります。	○		また玉串川桜再生事業等につ いて、関連機関及び部局との繋 ぎを行い連携を図れました。 まちづくり協議会主催の各種催 しに参加し、支援体制を行うこと で地域と地域拠点職員との繋が りができました。		①人と人のつながり・ 絆を深めていくまち		
		41	公園とまち の緑化によ る緑のある 暮らし	玉串川の桜並木の良好な景観を 市民の財産として永続的に保つよ う、再生・保全に向けた取り組みを 進めます。	さくらの植え替えを実施しました。	【1人あたり公園面積】 八尾市全体:2.89㎡/人 西山本小学 校区:0.50㎡/人	○		加えて、地域における事業内 容の固定化を打破すべく、地域 内の子ども食堂等含め各種団 体とも協力・連携できるよう、 NPO団体等の事業実施手法、 思考を取り入れることで、地域に おける新たな事業展開を提案・ 支援を行うなど、地域と行政と の連携の促進に寄与できまし た。ことができました。	玉串川桜再生事業等につい て、関連機関及び部局と連携 して対応できました。	①人と人のつながり・ 絆を深めていくまち		
		54	地域のまち づくり支援・ 地域拠点 の充実	地域のまちづくり活動を支援する 体制を充実します。	地域内における各種団体の会議体を 含めた活動に支援体制をとりながら、 更なる事業展開への提案等行ってい くことで、連携強化に繋がれたと考 える。	地域活動の参加者及び担い手(特に 若い世代に向けた)を増やす取組みを 引き続き支援していく必要がある。	○	○	○	まちづくり協議会主催・共催 事業に、地域拠点職員とともに 参加し地域のまちづくりに寄与 することができました。	①人と人のつながり・ 絆を深めていくまち		
		55	市民の社会 貢献活動の 促進	市民活動団体等が地域とつなが り、協働のまちづくりの担い手とな るよう支援します。	NPO団体、学校、各種団体と協働・連 携して、地域の最重要事業である安全 安心における新たな事業展開としての 繋ぎによる支援を行う事ができた。	NPO団体等市民活動団体との連携 強化のため、地域への積極的な情報 提供や支援に取り組む必要がある。	○	○	○	事業における内容の固定化 を打破し、NPO団体等外部事 業者の方法、思考を取り入れる ことで、地域における新たな事 業展開の流れを汲むことがで きました。	①人と人のつながり・ 絆を深めていくまち		
②高齢者 がいつまで も心豊かに 暮らせるまち	西山本小学校区では、ひとり暮らし高齢者を 対象とした昼食会や友愛訪問、敬老祝寿会 やいきいきサロンなど、地域ぐるみで住民が 集い、交流する機会を確保し、高齢者を見守 る活動を活発に行っています。今後、高齢化 が進む中、地域での福祉活動を通じた支え あいにより一層重要となります。地域と行政 が連携して、身近な地域で支えあい、高齢者 がいつまでも暮らしやすいまちをめざします。	13	ともに支え あう地域福祉 のしくみ づくり	地域における団体や住民の自主 的な地域福祉活動や見守り・支援 体制の充実の支援に取り組ま す。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携 し、地域の自主的な福祉活動を支援し た。 また、避難行動要支援者名簿に基づく 同意者リストを地域にお渡ししており、 平常時の見守り活動等に活用されてい る。	支援を必要とする人の把握、見守り 体制の充実について、住民意識の醸 成につながる取り組みのほか、避難 行動要配慮者を意識した地域活動の より一層の充実が課題である。	○	○	○	あなたのまちの健康相談を実 施し、地域行事での健康啓発活 動を実施することで、健康に対 する意識の向上に資することが できました。 また支援者を必要とする方々へ の見守り体制における現状を抽出 することで、更なる住民意識 の醸成に努めました。	その他	地域案件である、支援者を必要と する方々への見守り体制 における地域内の実状を把握 することで、効果的な方法を等 検討を行いました。	②高齢者がいつまで も心豊かに暮らせる まち ④安全で誰もが安心 して暮らせるまち
		14	高齢者の 生きがいづ くりと高齢 者を支える しくみづく り	地域における見守りネットワークと 地域包括支援センターを中心とし た相談体制の充実を図ります。	「高齢者あんしんセンター」を愛称とし て、高齢者にわかりやすい相談支援体制 の充実及び地域のネットワーク構築 を推進した。	より地域に密着した相談窓口としての 周知・啓発が必要である。	○	○	○			地域包括支援センターに地 域行事へ参加してもらうこと で、地域の高齢者との見守り・ 相談体制の充実が図れまし た。	①人と人のつながり・ 絆を深めていくまち ②高齢者がいつまで も心豊かに暮らせる まち
③子どもた ちが健やか に育つまち	西山本小学校区では、登校時の声かけ運動 や世代間交流事業など地域ぐるみで子ども たちを育む活動を活発に行っています。また 、すくすく子ども地域活動支援事業でサ マーフェスティバルを開催し、子どもたちの自主 性を育てる取り組みも実施しています。少 子化が進む中、今後も地域ぐるみで子どもの 育ちを見守る取り組みは重要です。子どもた ちがいいいきと過ごし、保護者が安心して子 育てできるように、子育て施策についての情 報提供を充実するとともに、地域と行政が連 携して子どもたちの安全確保や健全育成の 取り組みを進め、子どもたちが健やかに育つ まちをめざします。	19	地域での子 育て支援と 児童虐待 防止の取 組み	地域で子育てに関する相談や交流 ができるように、子育て支援拠点 の運営や、子育てサークルへの支 援、地域交流事業などを行いま す。	引き続き、定期的に親子でつどい、交 流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学 校区に整い、市の取り組みは充足し ているとの認識である。地域での子育 てに係るまちづくり活動における協力 要請があれば、とりうる支援策につ いて、ご相談に応じていく。	○		あなたのまちの健康相談やつ どいの広場「てんでんてんとむ し」、施設連絡会等、定期的に 相談できる場の提供を行うと ともに、子どもが参加できる事業 のプランニングや既事業における 内容の固定化を打破すべく、 NPO団体等外部団体の事業実 施手法、思考を取り入れること で、地域における新たな事業展 開を提案・支援を行うなど、地域 と行政との連携の促進に寄与で きました。	子育て		①人と人のつながり・ 絆を深めていくまち ③子どもたちが健や かに育つまち	
		22	次代を担う 青少年の 健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全 確保の取り組みなど、地域での青 少年健全育成の取り組みを進めま す。	啓発事業への参加、住民懇談会の実 施、放課後子ども教室の実施等にか かる依頼を行い、青少年健全育成の推進 を図った。	地域において、非常に多くの活動 を行っていただいているため、各活動に 協力していただける人材の確保に課 題があると認識している。	○	○	○		子どもが参加できる事業のプ ランニングや既事業における内 容の固定化を打破すべく、 NPO団体等外部団体の方法、 思考を取り入れることで、地域に おける新たな事業展開の流れ を汲むことができました。	①人と人のつながり・ 絆を深めていくまち ③子どもたちが健や かに育つまち	

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							に対して	地域拠点に関して	まち協に関して				
④安全で誰もが安心して暮らせるまち	西山本小学校区では、校区全体としての自主防災組織が結成され、防災訓練や防災対策マップの作成などの自主防災活動や災害時要配慮者支援体制づくり、青色防犯パトロール車による校区内巡回や交通安全対策の確認など、安全安心に関わる活動を活発に行っています。今後も、地域での防災・防犯活動がさらに向上するよう地域と行政が連携し、安全安心のまちをめざします。	1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			まちづくり協議会が、防犯カメラの設置支援、青色防犯パトロール、地域からの防犯灯・カーブミラーの不具合等、各相談に対し関連部局と協力して、地域の安全安心なまちづくりに寄与できました。	地域のまちづくり 防災 その他	防犯カメラ設置、青パト範囲、防犯灯・カーブミラー等は、過去の犯罪・事故案件場所を勘案し、地域内でまとめた上、関連部局と協議し決定していくことで、より効率的・効果的な地域内の安全安心における事業展開に寄与できました。	④安全で誰もが安心して暮らせるまち
	また、近鉄河内山本駅周辺をはじめ、玉串川沿道などでは、自転車の通行も多く、交通マナーを守ることが必要です。これからも地域、警察および行政が連携して各種啓発活動等を行うとともに、近鉄河内山本駅周辺を安全で安心して利用できるよう、地域、関係機関および行政が連携して整備を進めていきます。	2	安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組めます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	また防災訓練の内容の固定化を打破すべく、NPO団体等外部事業者の事業実施手法、思考を取り入れることで、地域における新たな事業展開を提案・支援することができました。また避難所運営ゲーム(HUG)等訓練のあり方を再認識することで今後自主防災組織結成の基礎にすることができました。		訓練内容の固定化を打破し、NPO団体等外部事業者の方法、思考を取り入れることで、地域における新たな事業展開の流れを汲むことができた。又避難所運営ゲーム(HUG)で避難所のあり方を再認識することでマニュアル策定の基礎にすることができました。	④安全で誰もが安心して暮らせるまち
		5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組めます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○	加えて、交通安全関連部局・団体等と連携し、外部事業者の事業実施手法、思考を取り入れることで、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育等、地域における新たな事業展開を提案・支援することができました。		交通安全関連部局・団体等と連携し、外部事業者の方法、思考を取り入れ、地域住民の力で交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育等を新たな事業展開として実施することができました。	①人と人のつながり・絆を深めていくまち
		14	高齢者の生きがいづくりと高齢者を支えるしくみづくり	災害時要配慮者支援体制の構築に取り組めます。	避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域に提供しており、平常時の見守り活動等に活用されている。	災害時に備えた、継続的した取り組みが必要である。	○	○	○	さらに、支援者を必要とする方々への見守り体制における現状を抽出することで、更なる住民意識の醸成に努めるとともに、道路、通学路、河川や橋梁等の都市整備基盤の損傷等については、地域からの相談や青パト巡回中に発見した不具合を関連部局に情報提供を行い、課題解決に向けた繋ぎを行うなど、安全・安心のまちづくりの推進に寄与することができました。		課題である、支援者を必要とする方々への見守り体制における地域内の実状を把握することで、効果的な方法を等検討を行いました。	②高齢者がいつまでも心豊かに暮らせるまち ④安全で誰もが安心して暮らせるまち
		16	障がいのある人の自立支援	障がい者(児)が住み慣れた地域で生き生きと生活するために、防災対策に取り組めます。	避難行動要支援者名簿に基づく同意者リストを地域にお渡ししており、平常時の見守り活動等に活用されている。	避難行動要配慮者を意識した地域活動のより一層の充実が課題である。	○	○	○	課題である、支援者を必要とする方々への見守り体制における地域内の実状を把握することで、効果的な方法を等検討を行いました。		④安全で誰もが安心して暮らせるまち	
		38	魅力ある都市核などの充実	市民生活の安全性向上のため、交通結節点である近鉄河内山本駅周辺の整備に取り組めます。	特に大きな地域課題となっている狭小な踏切歩道部について、安全で快適な通行を確保する事を優先的に進めるため、近畿日本鉄道㈱を含めた関係機関との協議を進めました。また、調査や測量・設計業務を実施しました。	玉串川や桜並木等、地域資源が豊かな近鉄河内山本駅周辺は、地域生活拠点となる副次核であることから、今後も関係機関と引き続き連携し、駅周辺を核とした交通結節点機能等の充実を図ることで、市民生活の安全性、利便性の向上を図る必要があります。	○					地域課題である、近鉄河内山本駅周辺整備については、随時関連部局と協議していきます。	④安全で誰もが安心して暮らせるまち
		40	生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○					青パト巡回中等で、カーブミラーの不具合や道路陥没等施設の損傷等を発見した場合については、地域拠点及び部局へ相談・連絡し、早期解決に向けての協力をを行いました。	④安全で誰もが安心して暮らせるまち

【行政】地域別計画のふりかえり

竹淵小学校区

後期基本計画の内容			施策担当課による後期計画の総括						地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点	
まちづくりの方向性		施策名	主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成 果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組ん だこと・成果	わがまち推進計画の目 標
①安全安 心でふれあ いのあるま ち	竹淵小学校区では、地域ぐるみで地域安全マップの作成や子どもへの声かけ運動、安全見守り活動や青色防犯灯パトロールカーによる校区内巡回、自主防災組織の活動など、安全安心に関わる活動を継続的に展開しています。今後も、登下校時の見守り活動を含めた子どもたちの健全育成の取り組みや子どもたちの居場所づくりを進め、未来を担う子どもたちが健やかに育つまちをめざすとともに、地域での防犯活動が有機的に機能し、さらに向上するよう地域と行政が連携し、安全安心でふれあいのあるまちをめざします。	1 安全なまち をつくる防 犯の取り組 み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、当助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			地域での防犯意識が高く、まち協が積極的に実施する青色防犯パトロールの活動が円滑に行えるよう支援しました。	・相談	防犯カメラの設置を行った。まち協の役員会で設置場所を検討し、防犯状況について意思の疎通を図った。	①「安心安全で」ふれあいのあるまち
		19 地域での子 育て支援と 児童虐待 防止の取り 組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。						平成29年度に防災訓練を行った。今後も継続的に地域の防災を考えるのであれば、大人だけで防災訓練をするのではなく、次世代の育成も必要であることから、小学校の土曜スクールと協賛した。そうすることにより、子どもの参加者が増え、世代間交流と次世代育成につながった。	
		22 次代を担う 青少年の 健全育成	子どもたちの居場所づくりや安全確保の取り組みなど、地域での青少年健全育成の取り組みを進めます。	啓発事業への参加、住民懇談会の実施、放課後子ども教室の実施等にかかる依頼を行い、青少年健全育成の推進を図った。	地域において、非常に多くの活動を行っていたいため、各活動に協力していただける人材の確保及び地域拠点との連携や支援手法に課題があると認識している。	○	○	○				
		40 生活道路 の整備と維 持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。	新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。	○						
②交通問 題に取り組 むまち	竹淵小学校区は、市の最西端に位置し、主な公共交通機関の駅などからも離れています。地域では、市役所や市立病院への通院、また市内のイベントに参加するときなど、独自に自動車で送迎するなどの工夫をされていましたが、市の中央部へ移動する際など、地域の交通利便性は低く、特に自動車や自転車などの交通手段を持たない高齢者・障がい者・妊婦、また乳幼児を育てている方などが移動するのが困難な状況です。今後とも地域の交通利便性を向上させるため、地域と行政が連携し、誰もが移動しやすいまちをめざします。	42 公共交通 網の充実	地域と行政が交通について考える取り組みを進め、地域の交通利便性を向上させる移動手段などの具体化、持続性の向上をめざします。	地域の交通問題の共有を図りました。	交通問題の共有をはかるだけでなく、交通まちづくりの輪をひろげ、地域版まちづくり懇話会の開催につなげていく必要があります。	○	○	○	竹淵地区で運行しているバスの利用促進のため、コミセンだよりにバスの運行時間表を掲載し、地域住民に利用促進に向けた啓発活動を実施しました。	地域のまちづくり	地域で継続的に運行経路や時間の意見交換を行い、まち協の会議や地域団体の活動での利用促進や地域住民への利用促進の啓発を行っている。	「交通問題委取り組む」ふれあいのあるまち
③誰もがいくつになっ ても暮らせる まち	竹淵小学校区では、地域ぐるみでふれあい給食サービスやいきいきサロン、ふれあい喫茶など高齢者の支援に取り組んできました。また、地域包括支援センターを中心に高齢者の総合的な支援を進めています。いくつになっても安心して健康に暮らせるように、地域での見守り活動や、身近な所で高齢者福祉や介護に関する情報を得ることができ、いつでも相談ができる体制づくりを進めます。また、この校区には、多くの外国人市民が暮らししており、高齢化が進んでいます。外国人相談など行政によるサポートとともに、地域でも住民の相互理解やコミュニケーションを深め、多文化共生社会の実現をめざします。さらに、地震発生時における避難体制や避難経路の確保など地域における防災対策を充実し、誰もがいくつになっても暮らしやすいまちをめざします。	2 安心を高 める防災 力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組めます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。	避難所運営に関するマニュアル策定が必要と考えています。	○	○	○	高齢者給食サービスやふれあい喫茶でボランティア募集の啓発活動の支援を行いました。また、高齢者給食サービスやふれあい喫茶に合わせて健康相談を設けることにより相談を行いやすい環境を整え、地域住民の健康に対する意識向上の啓発や健康状態などの把握することができました。	防災	ふれあい喫茶で地域住民が集まるので、地域住民同士の情報共有の場になっている。まち協の事業なども啓発を行い情報発信を行っている。ふれあい喫茶で健康相談を行い、同日に介護予防教室を行うことで、来場者の増加に努め、地域住民の健康増進につなげている。	「誰もがいくつになっても暮らせる」ふれあいのあるまち
		13 ともに支 えあう地 域福祉の しくみづ くり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組めます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○				
		14 高齢者の 生きがい づくりと 高齢者 を支える しくみづ くり	地域における見守りネットワークと地域包括支援センターを中心とした相談体制の充実を図ります。	「高齢者あんしんセンター」を愛称として、高齢者にわかりやすい相談支援体制の充実及び地域のネットワーク構築を推進した。	より地域に密着した相談窓口としての周知・啓発が必要である。	○	○	○				
		52 多文化 共生の 推進	多言語による外国人市民への相談や情報提供などを行います。	市内各地で多文化共生研修を行っており、平成24年度には、竹淵校区集会所において「多文化共生に対する理解を深めてもらう研修会」を実施したが後期計画期間中は、実施出来ませんでした。	継続的に多文化共生意識の向上につながる取組を進めて行く必要があります。	○						

【行政】地域別計画のふりかえり

竹渚小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点									
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身			拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標							
							に対して	地域拠点に関し	て					まち協に関して						
④竹渚コミュニティセンターを拠点に様々な世代が集えるまち	竹渚小学校区では、竹渚コミュニティセンターと竹渚地区集会所（校区集会所）を地域の活動拠点として、世代間交流のてづくり教室やふれあい喫茶などが活発に行われています。また、地域の健康づくりのために講座等も行われています。 給食サービスによる高齢者のふれあいの場や、校区まちづくり協議会・福祉委員会など各種団体の会議や会合など情報交換の場であり、コミセンまつりやコミセンふれあいまつりの会場として、芸術文化活動などさまざまな目的で活動を行っています。 しかし、現在のコミュニティセンターは狭くてエレベーターがなく、広く市民が利用しやすい施設へと転換するため、耐震基準を満たしていない竹渚地区集会所（校区集会所）を除却し、バリアフリー化した新コミュニティセンターを建設する予定です。今後、さらに活動を発展させ、さまざまな世代が集える地域活動の拠点となるよう地域と行政が連携して取り組みます。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組みます。	健康相談、健康教育の実施。 地域主催健康増進事業の定着。	健康まちづくり宣言の普及促進。	○	○	○	身近な地域拠点として、地域団体や関係機関と連携・協働し、地域の特性に応じた地域住民主体の健康コミュニティづくりに取り組みを行いました。また、地域により近い出張所等への保健師の配置により、地域の健康に関する意識・取り組みが高まりました。 今後もさらに地域での世代間交流が活発に活動できるように集会室や地域活動支援室の増床や相談室やキッズルーム、エレベーターを新設しました。 てづくり教室の開催に対する情報発信や活動に対しての支援を行っている。	子育て	てづくり教室を開催し、大人から子どもまで出来る作品を、一緒に作成することで、世代を超えた交流ができた。	「竹渚コミュニティセンターを拠点に様ような世代が集える」ふれあいのあるまち							
		13	ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	（社福）八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。	支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○											
		28	生涯学習の取り組み	身近な地域拠点施設であるコミュニティセンターにおいて生涯学習の場を提供します。	地区生涯学習推進事業として、コミセン運営協議会に委託し、各コミセンで講座や現代的課題講座を開催しました。	各地区で開催される講座は、絵画や陶芸など趣味の分野での自己学習が中心ですが、今後は、地域や市民の日常生活における課題解決に寄与する学習の充実化にも努めるとともに、学んだことを地域社会に還元する機会の創出を一層図ることが必要です。	○	○	○											
														54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。また、地域の活動拠点となる竹渚コミュニティセンターを移転建替えます。	地域拠点施設職員が積極的に地域に出向くことにより、地域のまちづくり活動を下支えできた。また、地域拠点のコミセンの新築に伴い、相談室等を整備したことにより、体制も含め、整えることができた。	○	○	○
														55	市民の社会貢献活動の促進	市民活動団体等が地域とつながり、協働のまちづくりの担い手となるよう支援します。	世代をこえたスポーツでふれあいのあるまちづくり事業であるニュースポーツであるカラーリングや地域の安心安全の取り組みの一環で行っている防災訓練で学校等との協力・連携を進めることができた。	○	○	○
⑤スポーツを通じてみんながあいさつのできるまち	竹渚小学校区では、総合型地域スポーツクラブ「竹渚キリンキッズクラブ」を設立しており、健康づくりをはじめ体力の保持・増進、世代間の交流、地域の教育力の向上などが図られています。 市民スポーツ祭をはじめ、体力測定会やニュースポーツ等を開催するほか、平野川沿いをウォーキングしている人も多くいます。 今後も、この活動が充実し、年代・世代を越えて身近なところで多くの人々がなごやかに声をかけあいスポーツに親しむことができるまちをめざします。	31	スポーツ・レクリエーションの取り組み	スポーツを通じた市民の親睦・健康増進に取り組みます。	竹渚地区住民の体力向上、地域の親睦を深めるため、市民スポーツ祭の開催を行い、例年1000人近い住民が参加しました。	市民スポーツ祭の他、地域住民が主体的に開催するスポーツの振興と住民が参加しやすい教室の開催を地域拠点やスポーツ推進委員など関係団体と連携した取組みが一層求められている。また、地域においてスポーツを気軽に入る場所の確保が課題となっています。	○	○	地域の健康増進や世代間の交流のために、ニュースポーツをまち協を主体として行うに当たり、事前の啓発や当日の活動の支援を行い、円滑にニュースポーツを行った。	健康づくり	地域の健康増進や世代間交流のために、ニュースポーツをまち協を主体として行うに当たり、高齢クラブや学校の児童と月2回程度を目標に、ニュースポーツを行い、子どもから大人まで無理なく楽しみ、健康増進と世代間交流を行えた。	「スポーツを通じてみんながあいさつのできる」ふれあいのあるまち								
⑥工場と住まいが良好な関係であるまち	竹渚小学校区には準工業地域が広がっており、中小企業のまち八尾の活力となっています。近年は転出した工場の跡地に宅地開発が進み、ますます住宅と工場が混在したまちとなっています。まちぐるみで交通ルールの遵守およびマナー向上や、防犯対策、さらに緑化への協力などにより、住まいと工場が良好な関係で共存できるまちづくりを進めます。 また、ものづくりを身近に感じるとともに、子どもたちへものづくりの素晴らしさを伝えるよう、地域、事業者、行政が連携して、活力があり暮らしやすいまちをめざします。	5	交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。	保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○	自転車の交通安全教室を実施するに当たり、警察や行政などの関係機関との調整や啓発活動を支援しました。 小学校で小さなロボット博を開催するに当たり、産業政策課や企業との調整の支援を行いました。	生涯学習	自転車の交通安全教室を実施するに当たり、警察や行政などに協力してもらい、子どもから大人まで安全教室で交通安全に対する意識の向上ができた。 小学校で小さなロボット博を開催し、産業政策課や企業に協力してもらいロボットを通じて、子どもたちが地域のものづくりの大切さを学べ、良い経験をさせることができた。	「工場と住まいが良好な関係である」ふれあいのあるまち							
		33	世界に誇るものづくりの振興と発信	工場立地支援制度を活用し、工場集積の維持・発展に取り組みます。 「ものづくりのまち・八尾」のブランドを戦略的に発信します。 子どもたちへものづくりの素晴らしさを伝えるため、工場見学など地域と企業との橋渡しに取り組みます。	小学校で小さなロボット博を実施し、地域住民にも開放することにより、子どもたちのものづくりに対する関心を喚起するとともに、地元企業に対する理解を深める取り組みを実施した。	（平成28年度の小さなロボット博開催後、）地域が地元企業と相互理解を深める取り組みについて検討していく必要がある。	○	○												
									37					土地の有効利用と都市景観の保全	地域の実情に応じた土地利用の推進に取り組みます。					
									41					公園とまちの緑化による緑のある暮らし	市民・地域・事業者などとの協働により緑化を推進します。	緑化基金を活用し、公共施設等の緑化に対する支援を行いました。	【1人あたり公園面積】 八尾市全体：2.89㎡/人 竹渚小学校区：1.18㎡/人	○		

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点						
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題	施策担当課自身 に対して	地域拠点に関し て	まち協に関して	拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割 (種類)	地域(まち協)で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標				
①JR久宝寺駅南側を中心とした新しいまちと歴史のあるまちをたいせつにするまち	亀井小学校区の北側には、JR久宝寺駅があり、この駅の周辺は市の新都市核として位置づけられています。JRおおさか東線による交通便利性の向上や駅前の大規模マンションや商業施設の建設などにより人口の増加が見込まれるため、子どもたちの通学路や防犯など住環境の整備、駅周辺地域の利便性向上などを推進します。		25	八尾の魅力発見と発信	一般社団法人八尾市観光協会と連携し、八尾の地域資源を「八尾の魅力」として発信します。	地域の魅力を季刊誌「Yaomania」、「八尾探」及び「やお80」映画祭」に取り入れました。	○			亀井小学校区内には、多くの遺跡や史跡があり、地域の大切な財産が豊富にあるという特色を生かし、従前から住んでいる住民に地区の歴史を再認識してもらうだけでなく、近年、高層住宅が多数新築され、亀井地区の人口が急増した。この新たな住民に対しても、この地区の歴史を知ってもらい、今後愛着を持って、恒久的に住んでもらうために、まち協が主体となって、歴史マップの作成や講演会を行いました。また、事業に関する情報収集や関係機関との調整を実施し、取り組みがが円滑に進むよう支援を実施しました。	相談	亀井小学校区内には、多くの遺跡や史跡があり、地域の大切な財産が豊富にあるという特色を生かし、従前から住んでいる住民の地区に対する歴史の再認識してもらう。また近年、高層住宅が多数新築され、亀井地区の人口が急増した。この新たな住民に対し、この地区の歴史を知ってもらい、今後愛着を持って、恒久的に住んでもらうために、まち協が主体となって、歴史マップの作成や講演会を行った。講演会の中では、「昔を思い出して懐かしい」との声が聴けた。地域以外にも配布したところ、亀井地区に興味を持ってもらったり、他地区で歴史マップに興味をもたれ、作成のきっかけにもなった。	「JR久宝寺駅南側を中心とした新しいまち」と「歴史のあるまち」を再確認して大切に する、いつまでも住み続けた いまち				
	駅の南西側には、「竜華水みらいセンター」があり、その上部空間は有効に活用され、公益・文化地区として整備され、さらに西側には、市内でも有数の工業集積地域もあります。	33			世界に誇るものづくりの振興と発信	工場立地支援制度を活用し、工場集積の維持・発展に取り組みます。								中小企業サポートセンターの新規訪問企業開拓のため、地域企業の飛び込み訪問を実施。新規での支援企業を発掘する。	JR久宝寺駅南側で工場跡地の宅地化が進んでいる。	○	
	また、校区を東西に旧奈良街道が通っており、その周辺には多くの遺跡や史跡も点在しています。	38	魅力ある都市核などの充実	JR久宝寺駅周辺の都市核としての機能を高めます。	おおさか東線について、新大阪まで延伸が決定され、活気あふれる街づくりが促進され、都市機能の拡充が図られました。	また、竜華水みらいセンターから供給される下水処理水を高度処理した再生水を八尾市立病院においても本格的に活用し、都市環境やまちの賑わいの向上が図られました。											
②みんなが安全安心にくらせるまち	亀井小学校区では、地域住民が主体になって、防災や防犯、地域福祉などさまざまな活動を行っています。特に、防災については、自主防災活動が盛んな地域であり、防災訓練等校区全体で防災意識が高まるようにしています。		1	安全なまちをつくる防犯の取り組み	地域における防犯活動の支援や、地域、事業者、関係団体、警察、関係機関との連携・協力による防犯への取り組みを進めます。	防犯灯の整備費補助や電気使用量補助を通じて、地域における防犯の取り組みを支援したほか、出前講座や各種啓発活動を実施しました。また、八尾市安全・安心のまちづくり基金を活用し、地域で活動する団体に助成金を交付しました。	助成金の対象事業について、校区まちづくり交付金を活用して実施してもらうべき事業か、助成金を活用してもらうべき事業かを整理する必要があると考えています。	○			防災	亀井小学校区では、防犯・防災の意識が非常に高く、災害時を想定し、地区別に防災訓練を行い、安全安心のまちづくり基金の申請を行っており、申請について関係各課との調整・支援を行いました。 また、八尾市内で、いち早く、避難所マニュアルを作成し、そのマニュアルに沿って、講習会や訓練を行うための、関係各課の調整・支援を行いました。 加えて、通学路を中心とした、生活用道路の安全対策として、地域からの情報を収集し、損傷の復旧に向けた、調整を行いました。 その他、近年子どもが巻き込まれる事件事故が増えてきており、地域の防犯活動の一環として、青色防犯パトロールカーの巡回による啓発活動の支援を行いました。	みんなが安全安心にくらせる まち				
	また、亀井小学校区は国道25号をはじめ、竜華東西線や府道住吉八尾線(久宝寺太田線)などにより幹線道路の割合が大きい一方で、奈良街道など昔からのまちなみが残っており狭い道路も多い新旧混在した地域です。	2			安心を高める防災力の強化	災害発生時を想定した行動訓練や自主防災組織の活動支援などに取り組みます。	防災訓練の実施や自主防災組織の活動支援を行いました。							避難所運営に関するマニュアルに基づく避難訓練が必要と考えています。	○	○	○
	国道25号からの抜け道などとして、狭い道路に多くの車両が進入しています。	5			交通事故をなくすための安全意識の高揚	警察、地域などの関係団体と連携し、交通事故防止に向けた各種啓発活動や交通安全教育などに取り組みます。	交通安全教室を実施し啓発等を行い、交通事故防止に努めました。							保護者や高齢者等の参画を促すことが必要です。	○	○	○
	今後、子どもたちをはじめ地域住民が安全に、また安心して通学・通行できるよう、地域と行政が連携し取り組みます。地域活動が活発で、防犯や災害に備えのあるみんなが安全安心に暮らせるまちをめざします。	13			ともに支えあう地域福祉のしくみづくり	地域における団体や住民の自主的な地域福祉活動や見守り・支援体制の充実の支援に取り組みます。	(社福)八尾市社会福祉協議会と連携し、地域の自主的な福祉活動を支援した。							支援を必要とする人の把握、見守り体制の充実について、住民意識の醸成につながる取り組みが課題である。	○	○	○
		24			教育機会の均等	通学路の安全確保に努めます。	関係課・関係機関と連携して、通学路の安全対策に取り組みました。							新たに形成される住宅街での安全対策や、既存住宅街での対策の見直しや更新が必要です。	○		○
		40			生活道路の整備と維持	通学路を中心とした生活道路について安全対策と適切な維持管理に努めます。	警察、学校等と連携しながら、交差点のカラー化や路側帯のカラー化等、通学路の安全対策を実施しました。 日常的な道路や橋梁のパトロールを実施し、損傷等の早期発見に努めました。							新たな通学路指定に伴う対策と既に実施しているカラー化等の老朽化に伴う対策が生じ、計画的な維持管理と安全対策が必要です。 限られた財源・人材のなかで膨大な都市基盤施設の維持管理を進めていく必要があります。	○		
		48			上水道の安定供給	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげます。	防災訓練での応急給水訓練活動などを通して、災害時の地域住民による給水活動や、備蓄水の必要性を呼びかけ、地域の防災力強化につなげました。また、当地区においては耐震性緊急貯水槽を用いて住民による給水活動が行えるよう訓練を行いました。							大規模災害時には、各地域で水道局のみでの給水活動を行うことは極めて困難なため、今まで以上に自助の飲料水の備蓄の必要性を理解していただく必要があります。	○	○	○

【行政】地域別計画のふりかえり

亀井小学校区

後期基本計画の内容				施策担当課による後期計画の総括					地域拠点の視点		まちづくり協議会の視点		
まちづくりの方向性		施策名		主な取り組み	実施した主な取り組み・成果	課題				拠点で取り組んだこと・成果	拠点の役割（種類）	地域（まち協）で取り組んだこと・成果	わがまち推進計画の目標
							施策担当課自身に対して	地域拠点に関して	まち協に関して				
③地域資源を有効活用し、水と緑のある憩えるまち	亀井小学校区には、一級河川平野川が流れており、沿道は散策道として市民に親しまれています。また、植栽の手入れなど日常的な維持管理については、地域による取り組みが行われています。 また、JR久宝寺駅南側の竜華東西線の沿道には、緑地やせせらぎ、公園があり、地域の憩いの場・散策の場として親しまれています。 今後とも地域と行政が協働し、地域資源を活かし、水と緑のある憩えるまちをめざします。	41	公園とまちの緑化による暮らし	公園や緑地を適正に管理し、安全に憩える空間を維持します。	公園の清掃や花苗の植え付け等の美化活動を地域で行っていただくため、制度のPRに努めました。	ボランティア団体の高齢化により、後継者の発掘が課題です。 【1人あたり公園面積】八尾市全体:2.89㎡/人 亀井小学校区:1.27㎡/人	○			地域の公園の清掃や維持管理を定期的に行い、亀井小学校区の集会所や周辺に花苗の植え付けを行うことの、情報提供や活動支援を行いました。	地域のまちづくり	地域の公園の清掃や維持管理を定期的に行い、亀井小学校区の集会所や周辺に花苗の植え付けを行うことで、緑豊かなきれいな街となり、地域住民の美観に対する意識が向上した。	地域資源を有効活用し、水と緑のある憩えるまち
④子どもたちの笑顔があふれ、健やかに育つまち	亀井小学校区では、校区まちづくり協議会、福祉委員会、自治振興委員会、子ども会などが連携し、地域ぐるみで子どもたちを育むさまざまな活動が行われています。 また、亀井小学校において農業体験・昔遊びなど地域の方々との交流活動も実施されています。 登下校時における子どもたちへの声かけと見守り活動が行なわれ、地域全体で子どもたちの安全を守る取り組みが進められています。 子どもたちは次世代のまちづくりの担い手でもあり、これらの活動を今後も継続していけるように、地域と行政が連携して、子どもたちがのびのびと遊べ、子どもの笑顔があふれ、健やかに育つまちをめざします。	19	地域での子育て支援と児童虐待防止の取り組み	地域で子育てに関する相談や交流ができるように、子育て支援拠点の運営や、子育てサークルへの支援、地域交流事業などを行います。	引き続き、定期的に親子でつどい、交流・相談ができる場の提供ができた。	地域子育て支援拠点が全ての中学校区に整い、市の取り組みは充足しているとの認識である。地域での子育てに係るまちづくり活動における協力要請があれば、とりうる支援策について、ご相談に応じていく。	○			まち協の事業で校区集会所の親子で遊べる子育てひろばを開催しており、講師との調整及び啓発活動や運営の支援を行いました。 また、亀井小学校で子どもと大人のふれあいや農業の大変さ、楽しさを知ってもらうために、農業体験を行っており、マスメディアとの調整や活動の支援を行いました。 さらに、亀井小学校区で世代間が交流できる1000人規模の地域フェスタを行い、啓発や活動の支援を行い、拠点でブースを出店しました。	子育て	まち協の事業で校区集会所において親子で遊べる子育てひろばを開催し、たくさんの乳幼児が集まり、読み聞かせやボール遊びや工作などを保護者と一緒に楽しみにぎわった。 亀井小学校で子どもと大人のふれあいや農業の大変さ、楽しさを知ってもらうために、農業体験を行い、たくさんの子どもたちが泥まみれになり、楽しみながら経験できた。 亀井小学校区で世代間が交流できる1000人規模の地域フェスタを行い、マジックショーやバナナのたたき売りなどでたくさんの人でにぎわい開催できた。	こどもたちの笑顔があふれ、健やかに育つまち
⑤校区集会所を拠点として、世代間交流ができる地域活動が活発なまち	亀井小学校区集会所が地域の活動の拠点として、校区まちづくり協議会など各種団体の会議や会合などが行なわれています。また、さまざまな世代が集える場として、ふれあい喫茶や世代間交流イベントの開催などが活発に行われています。また、地域の健康づくりのための講座等も行われています。 今後にもさらに、活動を発展させるよう、地域と行政が連携して取り組み、亀井小学校区集会所を拠点として、世代間交流ができる地域活動が活発なまちをめざします。	10	疾病予防と健康づくりの推進	地域の健康づくり活動を支援する中で、地域の健康コミュニティの構築と健康文化の醸成に取り組めます。	健康相談、健康教育の実施 地域主催健康増進事業の定着	健康まちづくり宣言の普及促進	○		○	・身近な地域拠点として、地域団体や関係機関と連携・協働し、地域の特性に応じた地域住民主体の健康コミュニティづくりの取り組みを行いました。また、地域により近い出張所等への保健師の配置により、地域の健康に関する意識・取り組みが高まりました。 まち協主催で、様々な世代が集える場として、毎月、校区集会所でふれあい喫茶を開催しており、啓発や活動支援を行うとともに、健康相談のブースを併設しました。	地域のまちづくり	校区集会所を活用し、これからの地域のさらなる発展のために、毎月、まち協の役員会議や各種講習会、実行委員会などの会議を頻繁に行っている。 まち協主催で、様々な世代が集える場として、毎月、校区集会所でふれあい喫茶を開催しており、世代間交流が活発に行われた。	校区集会所を拠点として、世代間交流ができる地域活動が活発なまち
⑥町会加入を促進し、将来の地域の担い手をはぐくむまち	亀井小学校区では、JR久宝寺駅前の開発などにより、さらに人口が増加することが予測されるため、新たにこの校区に居住する人たちの地域コミュニティ活動への参加を促進していくことが必要です。また、自治振興委員会などの地域活動の区域の一部は、校区と異なるところがあり、今後の地域活動のあり方について、地域と行政で検討していく必要があります。 地域と行政が連携し、町会加入を促進し、地域活動が活発で将来の担い手を育むまちをめざします。	54	地域のまちづくり支援・地域拠点の充実	地域のまちづくり活動を支援する体制を充実します。	コミュニティ推進スタッフ以外の地域拠点職員について、課内での担当者を明確化することにより、地域活動の支援体制を充実させた。	町会加入率が減少する中、さらなる啓発活動を行い、地域活動の参加者及び担い手（特に若い世代に向けた）を増やす取り組みを引き続き支援していく必要がある。	○		○	地域内で転入の情報を共有し、町会長が随時丁寧に説明を行い、今後の担い手でもある新しい住民に、町会加入の促進を行っており、拠点と連携して、公的関係機関などとの調整支援を行いました。	生涯学習	地域内で転入の情報を共有し、町会長が随時丁寧に説明を行い、今後の担い手でもある新しい住民に、町会加入の促進を行っており、加入促進の一定の効果が出ている。	町会加入を促進し、将来の地域の担い手をはぐくむまち